

Annual Report of

THE YAMANASHI  
PREFECTURAL  
INDUSTRIAL  
TECHNOLOGY  
CENTER



山梨県産業技術センター 年報

令和元年度

2020

山梨県産業技術センター





# はじめに

新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るい、我が国の経済活動にかつて経験のないほど深刻な影響を与えています。感染拡大により生産活動に影響を受けている県内中小企業の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

さて、本年報は、令和元年度における山梨県産業技術センターの業務成果をまとめたものです。当センターをよりご理解いただくための基礎資料として、ご高覧いただけると幸いに存じます。

研究開発では、伝統的な織物を活用した新商品開発、ニホンジカ皮革の有効活用と産地ブランド創成、県産農産物を用いた加工品開発などの地場産業に関するテーマや、IoT、医療、燃料電池等の成長産業分野に関するテーマなど、社会情勢や技術動向を見据え、各業界の要望に即した多様な研究に取り組みました。

人材育成では、高度技術者の育成を目的とした「ものづくり人材育成研修」、商品開発の総合的な実務能力を養成する「やまなしモノづくりデザイン塾」のほか、現場ニーズに合わせた種々の講習会・研修会を開催し、中小企業の発展を担う人材の育成に努めて参りました。

一方、県内企業の新製品開発や技術革新等の促進を目的に、国立研究開発法人である産業技術総合研究所の技術シーズを紹介する「技術セミナー」を開催し、国の研究機関と県内中小企業との間の技術の橋渡しにも取り組んで参りました。

さらに、国の地方創生関係の交付金を活用して、県内で開発・生産される電子機器の信頼性と品質保証体制の向上を図り、IoT関連機器分野への進出を支援する「IoT製品関連分野進出支援事業」及び日本酒産業の品質強化に関する「日本酒等品質強化支援事業」にも取り組み、関連機器の整備と技術者の育成を図っています。

また、平成30年度に新たに研究開発支援棟を整備した富士技術支援センターや、昨年度リニューアルオープンしたワイン技術部（ワインセンター）では、地域企業への支援を強化し、織物産業の振興やワイン産地山梨全体の競争力等を強化したところでもあります。

IoT、AI、ビッグデータなど情報技術を基盤とした第四次産業革命により、産業や社会の構造が大きく変わるとともに、新型コロナウイルス感染症収束までの間は、持続可能で、感染拡大防止策と調和のとれた新たなビジネススタイルや多様な働き方などへの対応も求められています。

こうした時代の大きな潮流の変化を捉え、県内企業による付加価値の高い製品づくりと、自ら製品開発・設計から製造までを行うODM型企业への転換等を目指し、職員一丸となって皆様に必要とされる技術支援を展開して参りますので、なお一層のご理解とご協力、ご活用をお願い申し上げます。

令和2年6月吉日

山梨県産業技術センター  
所長 初鹿野 晋一

# 目次

山梨県産業技術センターの概要	1
1. 沿革	1
2. 土地・建物	1
3. 組織と業務（令和2年3月31日現在）	3
4. 職員名簿（令和2年3月31日現在）	4
5. 職員配置（令和2年3月31日現在）	5
6. 令和元年度決算	6
7. 新設機器・設備	7
8. 令和元年度業務体系	9
9. 令和元年度業務実績一覧表	12
運営	13
1. 運営協議会	13
(1) 会議の概要	13
(2) 委員名簿	13
2. 試験・研究課題等の外部評価委員会	14
(1) 評価に対する考え方	14
(2) 評価対象課題	14
(3) 評価結果	15
(4) 委員名簿	15
3. 業界との意見交換会	16
技術支援業務	17
1. 技術相談、巡回技術支援の担当別実績	17
2. 県内中小企業重点支援事業	17
(1) テーマ一覧	17
(2) 担当別実績	17
3. 客員研究員による支援	18
4. 依頼試験・設備利用等	18
(1) 実績一覧	18
(2) 依頼試験の内訳	18
(3) 依頼加工等の内訳	19
(4) 設備使用の内訳	19
(5) 試験成績証明書交付の内訳	19
(6) その他（酒母）	19
(7) 設備利用研修会	19

(8) 設備利用研修 .....	19
5. 研究会への支援 .....	20
6. やまなし地場産品ブランド化支援事業 .....	21
(1) ブランド力向上サポートプロジェクトの実施 .....	21
(2) 外部講師による勉強会の開催 .....	21
(3) 交流・マッチングプログラム .....	22
研究業務 .....	23
1. 産学官連携研究の促進 .....	23
(1) 研究の形態 .....	23
(2) 研究テーマ .....	23
2. 産業財産権の取得状況 .....	31
(1) 産業財産権（県単独） .....	31
(2) 産業財産権（共同出願） .....	31
(3) 産業財産権（国際特許） .....	32
(4) 産業財産権出願中（県単独） .....	32
(5) 産業財産権出願中（共同出願） .....	33
(6) 産業財産権出願中（国際特許） .....	33
3. 課題対応受託研究 .....	34
4. 業績発表 .....	34
(1) 口頭発表（学会等） .....	34
(2) 口頭発表（その他） .....	35
(3) ポスター発表（学会等） .....	35
(4) ポスター発表（その他） .....	36
(5) 研究論文掲載 .....	36
(6) その他記事掲載 .....	37
人材育成業務 .....	38
1. 出前技術講座 .....	38
(1) 講座一覧 .....	38
(2) 担当別実績 .....	39
2. ものづくり人材育成研修 .....	39
(1) 前期 .....	39
(2) 後期 .....	40
(3) 担当別実績 .....	41
3. やまなしモノづくりデザイン塾 .....	41
(1) 講座一覧 .....	41
(2) コース別実績 .....	41
4. IoT 製品関連分野進出支援事業 .....	41

5. 日本酒等品質強化支援事業 .....	42
6. 講習会・研修会 .....	42
(1) 講座一覧 .....	42
(2) 担当別実績 .....	45
7. 技術者研修 .....	46
(1) テーマ一覧 .....	46
(2) 担当別実績 .....	46
8. 夏休み親子ものづくり体験 .....	46
9. その他 .....	46
情報提供業務 .....	47
1. 研究成果発表会 .....	47
2. 展示会への出展 .....	47
3. 刊行物の発行 .....	47
4. センター利用の手引きおよびメールマガジンの発行 .....	48
5. その他 .....	48
技術交流 .....	49
1. 研究機関連絡会議 .....	49
2. 学会等の会議 .....	50
3. 職員派遣 .....	51
4. その他会議 .....	56
報道関係 .....	60
職員の資質向上 .....	61
1. 派遣研修 .....	61
2. その他研修 .....	62
学会・協会等からの表彰 .....	64
加入学会・協会等 .....	67
付録 .....	68
1. 組織と業務（令和2年4月1日現在） .....	68
2. 職員名簿（令和2年4月1日現在） .....	69
3. 職員配置（令和2年4月1日現在） .....	70
4. 令和2年度予算 .....	71

# 山梨県産業技術センターの概要

## 1. 沿革

明治38年12月	山梨県工業試験場開設
大正12年 4月	山梨県工業試験場上野原分場開設
昭和 4年12月	山梨県醸造研究所開設
昭和10年 4月	山梨県工業試験場吉田分場開設
昭和14年11月	山梨県工業試験場吉田分場を本場とし、旧本場は谷村試験工場に変更
昭和25年12月	山梨県繊維工業試験場開設（条例改正による山梨県工業試験場の名称変更）
昭和26年 8月	山梨県立研磨工業指導所開設
昭和28年 5月	山梨県繊維工業試験場大月分場開設
昭和30年 7月	山梨県立メリヤス工業指導所開設
昭和42年 9月	山梨県機械金属工業指導所開設
昭和43年 4月	山梨県食品工業指導所開設（山梨県醸造研究所の整備による名称変更）
昭和43年 4月	山梨県繊維工業試験場上野原、大月分場廃止
昭和43年 4月	山梨県木工指導所開設
昭和46年 4月	山梨県繊維工業試験場新庁舎開設
昭和49年10月	ワインセンターを山梨県食品工業指導所に併設
昭和61年 4月	山梨県工業技術センター開設（工業関係研究機関再編整備による5所統合）
昭和61年 4月	山梨県富士工業技術センター開設 （工業関係研究機関再編整備による山梨県繊維工業試験場の名称変更）
平成 4年 4月	山梨県工業技術センター新庁舎開設
平成12年 4月	山梨県高度技術開発センター新庁舎開設
平成29年 4月	山梨県産業技術センター開設（両センターの統合）
平成30年 4月	富士技術支援センター研究開発支援棟開設

## 2. 土地・建物

### [甲府技術支援センター]

所在地 山梨県甲府市大津町2094

敷地面積	16,893 m <sup>2</sup>
建物延面積	14,375 m <sup>2</sup>
研究管理棟（鉄骨鉄筋コンクリート造り6階建）	7,008 m <sup>2</sup>
デザイン棟（鉄筋コンクリート造り2階建）	2,243 m <sup>2</sup>
実験棟（鉄骨造り2階建）	3,189 m <sup>2</sup>
高度技術開発センター（鉄骨造り2階建）	1,599 m <sup>2</sup>
附属施設	336 m <sup>2</sup>

### [ワインセンター]

所在地	山梨県甲州市勝沼町勝沼2517	
敷地面積		4,280 m <sup>2</sup>
建物延面積		914 m <sup>2</sup>
ワイン試験棟（鉄筋コンクリート平屋・地下1階）		868 m <sup>2</sup>
付属施設		46 m <sup>2</sup>

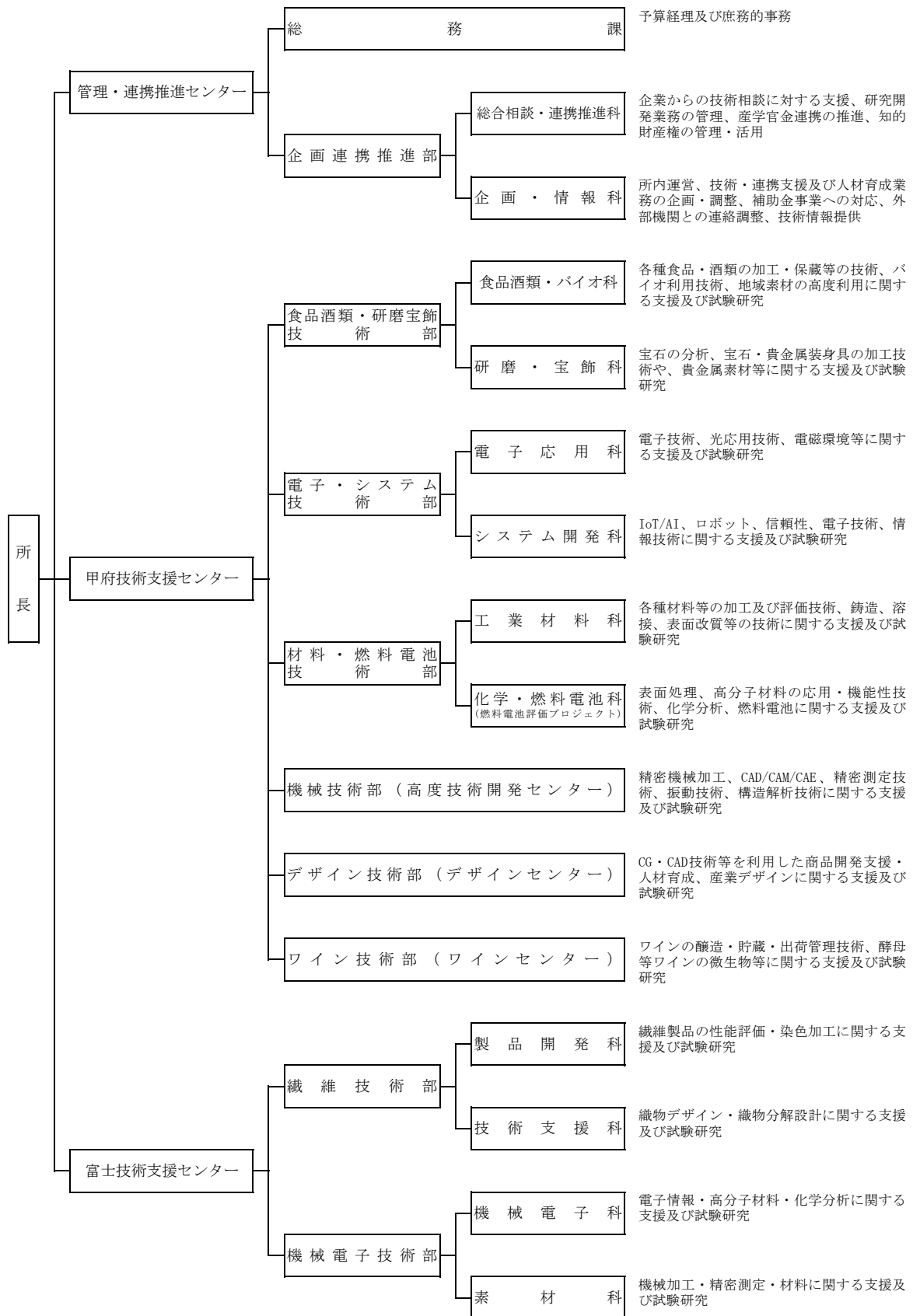
### [富士技術支援センター]

所在地	山梨県富士吉田市下吉田6-16-2	
敷地面積		10,117 m <sup>2</sup>
建物延面積		3,583 m <sup>2</sup>
管理棟（鉄筋コンクリート造り2階建）		1,177 m <sup>2</sup>
試験棟（鉄骨造り平屋）		1,339 m <sup>2</sup>
開放試験棟（鉄骨造り1階建）		222 m <sup>2</sup>
研究開発支援棟（鉄骨造り平屋）		598 m <sup>2</sup>
付属施設		247 m <sup>2</sup>



### 3. 組織と業務

(令和2年3月31日現在)



4. 職員名簿

(令和2年3月31日現在)

所 長	手塚 伸	[研磨・宝飾科]		デザイン技術部	
管理・連携推進センター		主任研究員	宮川和博	部 長	金丸勝彦
センター長(兼2)	内藤裕利	主任研究員	小松利安	主任研究員	串田賢一
研究管理幹	萩原茂	研究員	林善永	研究員	秋本梨恵
研究管理幹	吉村千秋	非常勤嘱託	山本季彦	研究員	佐藤博紀
研究管理幹(兼1)	河西伸一	臨時職員	鶴田裕太	非常勤嘱託	数野真裕美
客員研究員	大丸明正	電子・システム技術部		臨時職員	岡治美
客員研究員	小谷信司	部 長	河野 裕		
客員研究員	神藤典一			ワイン技術部	
客員研究員	中村哲夫	[電子応用科]		主幹研究員・部長	恩田 匠
客員研究員	家安 香	主任研究員	平川寛之	主任研究員	小松正和
総務課		主任研究員	清水章良	研究員	佐藤憲亮
課長(事務取扱)	内藤裕利	研究員	中村卓	非常勤嘱託	渡辺雅樹
主幹(兼1)	武藤完	臨時職員	和光順子	臨時職員	三科浩仁
副主査	長田弘毅	[システム開発科]			
主任	植村幸弘	主任研究員	宮本博永	富士技術支援センター	
主事	志村和哉	主任研究員	布施嘉裕	センター長	一瀬富房
非常勤嘱託	宮下郁美	研究員	永田靖貴	副センター長	佐野照雄
臨時職員	井上清美	研究員	中込広幸		
臨時職員	中込真美	材料・燃料電池技術部		繊維技術部	
企画連携推進部		主幹研究員・部長	宮川和幸	主幹研究員・部長	渡辺 誠
主幹研究員・部長	高尾清利	[工業材料科]		[製品開発科]	
[総合相談・連携推進科]		主幹研究員	佐野正明	主幹研究員	中村聖名
主任研究員	望月威夫	主任研究員	阿部 治	主任研究員	上垣良信
主任研究員(兼2)	木村英生	研究員	石田正文	技 師	宮澤航平
研究員(兼2)	佐藤貴裕	研究員	深澤郷平	主任研究員(兼2)	木村英生
[企画・情報科]		[化学・燃料電池科]		主任(兼2)	植村幸弘
主幹研究員	山田博之	主任研究員	三井由香里	非常勤嘱託	渡邊直子
主任研究員	木村英生	主任研究員	三神武文	非常勤嘱託(兼2)	宮下郁美
主任研究員	宮川理恵	研究員	芦澤里樹	[技術支援科]	
研究員	佐藤貴裕	研究員	塩澤佑一朗	主幹研究員	五十嵐 哲也
臨時職員	中田恵美	(燃料電池評価プロジェクト)		主任研究員	鈴木文晃
甲府技術支援センター		非常勤嘱託	荻野敏一	非常勤嘱託	勝俣久美
センター長	内藤裕利	非常勤嘱託	藤巻利幸	非常勤嘱託	高山美和
副センター長	阿部正人	非常勤嘱託	加賀爪 広	機械電子技術部	
食品酒類・研磨宝飾技術部		非常勤嘱託	芦澤淳子	主幹研究員・部長	八代浩二
主幹研究員・部長	有泉直子	機械技術部		[機械電子科]	
[食品酒類・バイオ科]		部長(事務取扱)	吉村千秋	主任研究員	勝又信行
主任研究員	長沼孝多	主任研究員	萩原義人	研究員	尾形正岐
主任研究員	尾形美貴	主任研究員	西村通喜	研究員	古屋雅章
研究員	橋本卓也	主任研究員	米山 陽	[素材料]	
研究員	小嶋匡人	研究員	鈴木大介	主任研究員	石黒輝雄
研究員	樋口かよ	研究員	寺澤章裕	主任研究員	早川 亮
		研究員	坂本智明	研究員	望月陽介
		非常勤嘱託	神澤隆彦		

(兼1)：総合理工学研究機構と兼務

(兼2)：所内兼務(事務取扱を含む)

5. 職員配置

(令和2年3月31日現在)

	行政職							研究職							客員 研究員	非常 勤嘱 託	臨 時 職 員	合 計	
	所 長	セ ン タ ー 長	課 長	主 幹	副 主 査	主 任	主 事	副 セ ン タ ー 長	研 究 管 理 幹 事	主 幹 研 究 員・ 部長	部 長	主 幹 研 究 員	主 任 研 究 員	研 究 員					技 師
所 長	1																1		
管理・連携推進センター		(1) <sup>2</sup>						2(1) <sup>1</sup>								5	7 (2)		
総 務 課			(1) <sup>2</sup>	(1) <sup>1</sup>	1	1	1									1	2	6 (2)	
企 画 連 携 推 進 部									1									1	
総合相談・連携推進科												1(1) <sup>2</sup>	(1) <sup>2</sup>					1 (2)	
企 画 ・ 情 報 科											1	2	1				1	5	
甲府技術支援センター		1						1										2	
食品酒類・研磨宝飾技術部									1									1	
食 品 酒 類 ・ バ イ オ 科												2	3					5	
研 磨 ・ 宝 飾 科												2	1			1	1	5	
電 子 ・ シ ス テ ム 技 術 部										1								1	
電 子 応 用 科												2	1				1	4	
シ ス テ ム 開 発 科												2	2					4	
材 料 ・ 燃 料 電 池 技 術 部									1									1	
工 業 材 料 科											1	1	2					4	
化 学 ・ 燃 料 電 池 科												2(1) <sup>2</sup>	2					4 (1)	
(燃料電池評価プロジェクト)																4		4	
機 械 技 術 部										(1) <sup>2</sup>		3	3			1		7 (1)	
デ ザ イ ン 技 術 部										1		1	2			1	1	6	
ワ イ ン 技 術 部									1			1	1			1	1	5	
富士技術支援センター		1						1										2	
織 維 技 術 部									1									1	
製 品 開 発 科						(1) <sup>2</sup>					1	1(1) <sup>2</sup>		1		1(1) <sup>2</sup>		4 (3)	
技 術 支 援 科											1	1				2		4	
機 械 電 子 技 術 部									1									1	
機 械 電 子 科												1	2					3	
素 材 科												2	1					3	
合 計	1	2 (1) <sup>2</sup>	(1) <sup>2</sup>	(1) <sup>1</sup>	1	1 (1) <sup>2</sup>	1	2	2 (1) <sup>1</sup>	6	2 (1) <sup>2</sup>	4	24 (3) <sup>2</sup>	21 (1) <sup>2</sup>	1	5	12 (1) <sup>2</sup>	7	92 (11)

(括弧)<sup>1</sup> : 総合理工学研究機構と兼職

(括弧)<sup>2</sup> : 所内兼務 (事務取扱を含む)

## 6. 令和元年度決算

## (1) 歳入

(単位：円)

区分	収入済額
依頼試験等証紙収入	11,217,020
行政財産使用料	357,889
機械使用料	33,896,950
生産物売払収入	825,140
受託事業収入	2,608,085
雑入	4,920,732
計	53,825,816

## (2) 歳出

(単位：円)

区分	支出済額
<b>技術支援</b> ・機器整備（(公財)JKAによる補助事業） ・保有機器の保守・校正・修繕 ・やまなし地場産品ブランド化支援事業	60,158,205
<b>研究開発</b> ・経常研究                      ・重点化研究 ・総理研究                      ・最重点化研究 ・競争的資金研究              ・受託研究 ・客員研究員事業費          ・技術情報取得	62,207,734
<b>人材育成</b> ・ものづくり人材育成研修 ・やまなしモノづくりデザイン塾 ・講習会、研修会              ・親子ものづくり体験	2,168,183
<b>情報提供</b> ・研究報告、研究成果速報、年報、業務報告、 センターニュース、デザイン情報誌の発行	928,558
<b>技術移転・事業化支援</b> ・フォローアップ、企業ニーズ対応試作開発	202,400
<b>職員職務発明特許出願費</b> ・特許等出願費、維持管理費	1,057,000
<b>地方創生推進交付金事業</b> ・IoT製品関連分野進出支援事業費 ・日本酒等品質強化支援事業	46,948,636
<b>燃料電池評価プロジェクト推進事業</b>	44,849,877
<b>その他 管理費等（臨時職員等人件費、庁舎管理費等）</b>	195,210,120
計	413,730,713

## 7. 新設機器・設備

### (1) 甲府技術支援センター

区分	機器名	メーカー名・型式	用途
競輪の補助金(JKA)	蛍光エックス線膜厚計	(株) 日立ハイテクサイエンス EA6000VX	金属薄膜の厚み計測
競輪の補助金(JKA)	自動フォーカス微小硬さ試験機	(株) ミットヨ HM-220D	圧痕面積から硬さを測定
地方創生推進交付金	電源品質・ノイズ評価システム	菊水電子工業(株) PCR6000LE2 他	電源ラインに変動を与える装置
地方創生推進交付金	空間電磁界可視化システム	(株) ノイズ研究所 ESP-02Ev3 他	ノイズ対策用
地方創生推進交付金	インパルス試験機	(株) ノイズ研究所 INS-AX2-450TH	JEM など国内規格に準拠した試験に対応
地方創生推進交付金	ファスト トランジェント/バースト 試験機	(株) ノイズ研究所 FNS-AX4-B63	電源線等に高周波ノイズを加える装置
地方創生推進交付金	日本酒製造装置	新洋技研工業(株) 他 特殊サーマルUSタンク4基他	日本酒の試作試験
地方創生推進交付金	製麺装置	(株) 日東工業所	麺の製造
県単独	分光蛍光光度計	(株) 島津製作所 RF-6000	サンプルの蛍光スペクトルの測定
県単独	赤外線水分計	(株) 島津製作所 MOC-120H	試料の水分測定
県単独	超純水製造装置	アドバンテック東洋(株) RFU666HA	超純水の製造
県単独	酸素・二酸化炭素測定器	MOCON Europe A/S MOCON Check Point3	酸素・二酸化炭素量の測定
県単独	カンピーサー	MOCON Europe A/S MOCON Check Point3 用	サンプリング装置(缶およびPET用)
県単独	真空定温乾燥器	東京理化器械(株) VOC-310C	減圧下における食品の乾燥
県単独	レトルト殺菌器	(株) 平山製作所 HLM-36LBC	レトルト加工
県単独	オープンレンジ	バルミューダ(株) K04A-WH	調理機器
県単独	投込式恒温装置サーモメイト	ヤマト科学(株) BF401	恒温装置
県単独	3D スキャナ(非接触)	steinbichler COMET L3D	工業製品・美術・工芸品などのスキャン
県単独	宝飾用 3D プリンタ	Phrozen Shuffle 4K	宝飾品モデルなどの造形
県単独	ワークステーション	Hewlett Packard Z4 G4 Workstation	画像処理、製品設計
県単独	デジタルカメラ	富士フイルム(株) X-T3	写真・動画撮影
県単独	100KN 用くさび形ジョウ丸棒フェイス	(株) エー・アンド・デイ J-FBMB2-100KN	丸棒の引張試験用

(2) 富士技術支援センター

区分	機器名	メーカー名・型式	用途
県単独	インピーダンスアナライザー	日置電機 (株) IM3570	磁歪材料の力学特性評価
県単独	高感度高速カメラ	(株) フォトロン FASTCAM Mini AX50	事象のスローモーション画像解析用
県単独	ワークステーション	Hewlett Packard Z8 G4 Workstation	CAD・CAE 用
県単独	工業用内視鏡	UMAREX Video Flex G3	配管等の点検
県単独	軟水装置	三浦工業 (株) MS-35F	ボイラー用水の処理
県単独	大型ポット	(株) テクサム技研 3000cc	染色試験

## 8. 令和元年度業務体系

山梨県産業技術センターでは、県内中小企業と地域経済の発展・振興を図るため、「技術支援」「研究開発」「人材育成」「情報提供」「技術移転・事業化支援」を柱に据えた令和元年度の事業計画を策定し、中小企業が抱える技術課題の解決や新技术・新製品開発の支援、次世代の産業展開に向けた技術開発及び事業化支援等を実施した。

### ●基本方針：「信頼される産業技術センター」

### ●行動指針

1. 現場重視(企業現場での問題解決・技術支援の強化と地域に根ざした技術の創造を図る)
2. スピーディな対応(業界のニーズを的確に把握し、スピーディな対応を行う)
3. 産学官金連携研究の推進  
(新技术・新製品の開発や新産業の創出を目指した共同研究、及びやまなし産業支援機構や商工支援団体、金融機関等と連携した経営から技術まで総合的な企業支援を実施する)
4. イノベーションの創出  
(新たな価値を生み出すために、大学等のシーズと企業ニーズを取り入れた研究開発へ取り組むとともに、産業技術総合研究所との連携を強化する)
5. 橋渡しの推進  
(知的財産の活用、研究シーズの早期事業化、要素技術の移転・提供などを推進するとともに、企業が保有する技術シーズの実用化・事業化に向けた取り組みを支援する)

### ●事業の具体的な取り組み

#### 【技術支援業務】

- 巡回技術支援事業：企業現場に直接出向いた技術支援
  - ・製造現場での技術支援
  - ・研究成果を活用した技術支援
  - ・未利用企業巡回
  - ・各種団体等の要請による職員派遣
- 技術相談・依頼試験・設備利用
  - ・丁寧な技術相談
  - ・迅速な依頼試験・加工
  - ・設備利用への対応
  - ・各部・各担当間で連携した技術支援
  - ・設備利用研修の実施
  - ・設備機器の予約状況発信による効率的・効果的な機器利用促進
- 総合相談窓口の体制強化
  - ・関係機関との連携強化(連携推進センター会議等)
  - ・甲府と富士の連携強化(TV会議システムの活用)
- 中小企業重点支援事業：職員を一定期間企業に派遣しての技術支援
  - ・研究員を派遣し、企業の直面する課題を解決
  - ・特に高度な知識、技術を要する課題等に対しては、客員研究員を派遣
- 成長産業への参入促進
  - ・やまなし産業支援機構など関係機関と連携し、クリーンエネルギー、燃料電池、医療関連機器などの成長分野の事業化に取り組む企業へ技術支援を実施
- 中小企業の海外展開支援事業
  - ・規格適合性評価試験サービス
  - ・海外規格情報の閲覧サービス
  - ・専門相談員による技術相談
  - ・JETROとの連携による支援

- IoT化による生産性向上の支援
  - ・産業技術総合研究所開発のIoTソフトウェア基盤「MZプラットフォーム」を活用し、中小企業のIoT化を支援
  - ・IoT、ロボットに関する研究開発に取り組み、技術やノウハウを蓄積
  - ・AI/IoT技術導入に関する相談窓口を開設
- 地域産業の個別課題を地域内で解決する取り組み
  - ・「ものづくりプラットフォーム」を構築し、ニーズの把握から販路開拓等を一元的に支援
- 公設試験研究機関との連携強化を図る中で機器整備や支援事業を実施
  - ・IoT産業への参入支援のための機器整備
  - ・医療産業などの成長分野関連技術の支援
- やまなし地場産品ブランド化支援事業
  - ・新商品の企画や開発に関する総合的な支援を実施
- 技術研究会
  - ・技術を核とした研究会活動を支援

#### 【研究開発業務】

- 産学官連携研究の促進
  - ・研究テーマ34課題を実施。このうち24課題を企業、大学および総合理工学研究機構等と連携して実施
  - ・国の委託事業（戦略的基盤技術高度化支援事業等）の積極的な取り組み
  - ・早期事業化に向けた研究の推進
- 競争的資金の積極的な獲得と活用支援
  - ・競争的研究資金の導入支援
- 特許取得と有効活用促進
  - ・特許等の取得を意識しながら研究開発業務を実施
- 課題対応受託研究への対応
  - ・企業で対応が困難な研究開発課題をセンターが実施
- 燃料電池評価プロジェクト推進事業
  - ・燃料電池セルの特性評価を行える機能を確立し、技術支援体制を強化
- オープンイノベーションの推進
  - ・企業ニーズを把握して大学等の技術シーズを探索し、国・県・産業支援機関等の補助制度を活用できるように支援
  - ・信州大学繊維学部との連携推進
  - ・産業技術総合研究所との連携推進（産総研IC事業の推進）
  - ・橋渡し研究機関（NEDO）に登録し、産学官共同研究開発を支援
- 研究成果の普及啓発および情報発信の促進
  - ・研究成果発表会、出前技術講座、企業巡回、ホームページなどにより周知

#### 【人材育成業務】

- オープンイノベーション推進のための人材育成
  - ・オープンイノベーションの理解度を高め、効果的にオープンイノベーションを推進
- 技術講習会・研修会
  - ・最新の技術情報や、事業化、経営支援に関する情報提供を行う講習会・研修会を開催
- 出前技術講座
  - ・センター職員を企業、組合等に直接派遣して講座を実施
- ものづくり人材育成研修
  - ・県内企業を対象に、製造技術、開発技術、評価技術等について、座学、実習形式で研修を開催
- やまなしモノづくりデザイン塾
  - ・商品の企画からデザイン、設計、マーケティングまで幅広い商品開発力の向上を目指した研修を開催



- IoT 製品関連分野進出支援事業
  - ・EMC 評価機器、信号品質評価機器、環境試験機器の整備
  - ・IoT 機器品質向上セミナー等の開催
- 日本酒等品質強化支援事業
  - ・日本酒製造装置、製麹装置の整備
  - ・セミナー等の開催
- 技術者研修
  - ・中小企業の従業員等を一定期間受け入れて行う研修を実施
- インターンシップ研修
  - ・技術系の大学生等を受け入れ、研修を実施
- 夏休み親子ものづくり体験・見学会
  - ・児童へのものづくりに対する関心を高め、併せてセンターを一般県民に PR する、ものづくり体験見学会を実施

#### 【情報提供業務】

- 研究成果発表会の開催および研究成果速報、研究報告の発行
- 山梨テクノ ICT メッセのプレゼン会場での研究成果や保有特許の紹介
- 刊行物（年報、センターニュースおよびデザイン情報紙）の発行
- Web（甲斐絹ミュージアム、フェイスブック、YAMANASHI DESIGN ARCHIVE）による情報発信
- やまなし産学官連携研究交流事業での研究成果発表
- プロポーザルページによる情報発信
- 産業技術総合研究所の研究シーズを紹介する「産総研セミナー」の開催
- センター利用の手引きおよびメールマガジンの提供

#### 【技術移転・事業化支援業務】

- 研究成果の技術移転促進
  - (a) 研究成果フォローアップ事業
    - ・終了した研究テーマの追試験や試作等を行うことで研究成果を発展させ、技術移転を促進
  - (b) 企業ニーズ対応試作開発事業
    - ・研究成果に対して、企業から技術移転や事業化の要望がある場合に、試作等による補完研究を実施
- 「ものづくりプラットフォーム」による事業化支援（再掲）
  - ・「ものづくりプラットフォーム」を構築し、ニーズの把握から研究開発の実施、販路開拓等を一元的に支援
- 「産学官金連携」の推進
  - ・県内金融機関や中小企業支援機関、大学などと連携して研究成果や技術シーズの効果的な活用を図る「山梨県試験研究産学官連携会議」を開催

#### 【その他の事業】

- センターの運営に関すること
  - ・運営協議会の開催
  - ・外部評価委員会の開催
  - ・業界との意見交換会の開催
  - ・センター利用者アンケートの実施
- 技術支援に資する機器の設置
  - ・計画的な設備機器の新規導入・更新等
- 技術交流
  - ・産業技術連携推進会議、学会等への参加・発表
  - ・各種会議・審査会等への派遣
- 職員の資質向上
  - ・職員のスキルアップのための計画的な研修派遣



# 運営

## 1. 運営協議会

### (1) 会議の概要

実施日	議題
令和元年7月24日 (会場: 甲府技術支援センター)	(1) 令和元年度産業技術センター事業計画 ①基本方針 ②行動指針 ③主な取り組み [1 技術支援業務 2 研究開発業務 3 技術移転・事業化支援業務 4 人材育成業務 5 情報提供業務 6 その他の事業] (2) 中期運営計画の策定について ①中期運営計画(骨子)案 (3) 総括的意見交換

### (2) 委員名簿

[学識経験者]		
氏名	所属	役職
早川正幸	国立大学法人 山梨大学	理事・副学長
清水一彦	公立大学法人 山梨県立大学	理事長・学長
藤井まさ子	学校法人 山梨学院 山梨学院大学 健康栄養学部	学部長

[業界関係者]		
氏名	所属	役職
北原兵庫	山梨県酒造組合	会長
齋藤 浩	山梨県ワイン酒造組合	会長
宮坂勇一郎	山梨県味噌醤油工業協同組合	理事長
内田長久	山梨県菓子工業組合	理事長
松本一雄	山梨県水晶宝飾協同組合	理事長
清水一彦	一般社団法人 山梨県鉄構溶接協会	会長
加藤正芳	一般社団法人 山梨県機械電子工業会	会長
中込 裕	一般社団法人 山梨県情報通信業協会	副会長
渡辺教一	山梨県絹人織織物工業組合	理事長

[関係機関]		
氏名	所属	役職
一瀬文昭	公益財団法人 やまなし産業支援機構	理事長

## 2. 試験・研究課題等の外部評価委員会

### (1) 評価に対する考え方

評価を受ける目的	「山梨県立試験研究機関における評価指針（H13.3策定）」に基づき、山梨県産業技術センターが計画・実施する試験研究が、効率的かつ効果的に実施されるよう、公平中立の立場から客観的な意見をいただくために実施する。		
評価を受ける課題	山梨県産業技術センターが実施する研究は、すべて評価対象研究課題とする。ただし、国や企業等からの受託研究は、評価対象研究から除く（※）。 （※）受託研究は国や企業等の目的に基づいて行うものであり、研究費も委託者が負担するものであるため。		
研究課題の評価方法	評価の種類は、「事前評価」「中間評価」「事後評価」の3種類とする。評価方法は、効果的・効率的な研究の推進と、研究員の意識啓発をねらいに、客観的判断が可能な5段階評価方式とする。		
	事前評価項目	中間評価項目	事後評価項目
	①研究の必要性 ②研究内容の新規性 ③研究目標、研究計画の妥当性 ④研究予算、研究体制の妥当性	①研究計画の進捗度	①研究目標の達成度
評価結果に対する対応	<p>事前評価、中間評価では、評価の平均点に対し、次のとおり対応する。</p> <p>評価の平均点が2点以下の課題は、原則不採用または中止とする。</p> <p>評価の平均点が2点を超え、3点未満の課題は、コメントを参考に実施について再検討する。</p> <p>評価の平均点が3点以上の課題は、評価コメントを参考に必要に応じて修正実施する。</p> <p>事後評価は、次の基準で採点される。</p> <p>5点：計画を上回る成果となった 4点：計画どおりの成果となった 3点：おおむね計画どおりの成果となった 2点：計画を下回る成果となった 1点：成果が得られていない</p> <p>それぞれの評価コメントを、技術移転や研究立案に役立てていく。また、評価点は、研究者が自らの研究を客観的に評価するための参考としていく。</p>		

### (2) 評価対象課題

実施日	対象課題	評価種別
(地場分野) 令和元年 6月 18日	(地場分野 5テーマ) ・分裂酵母を使用した高品質清酒製造法の開発 ・貴金属のバレル研磨条件の最適化に関する研究 ・銀合金の casting 欠陥の低減に関する研究 ・ワイン製造副産物による染色技術の確立 ・天然素材のバナジウム媒染による機能化 (基盤分野 6テーマ) ・県内の未利用バイオマスを利用した機能性材料の合成と評価 ・光触媒を利用した水素製造技術に関する研究 ・光を用いた微粒子計測に関する研究 ・身体動作シミュレーション技術を活用した製品設計手法の研究 ・製造現場における装置監視用IoTシステムの開発 ・市販ドローンを利活用した安価な搬送システムの開発	事後評価
(基盤分野) 令和元年 6月 19日 (会場：甲府技術支援センター)		

実施日	対象課題	評価種別
(地場分野) 令和元年9月24日  (基盤分野) 令和元年9月24日	(地場分野 3テーマ) ・県産日本酒の競争力向上のための新規日本酒酵母に関する研究 ・山梨県産ワインの多様化および品質安定に関する研究 ・郡内織物産地の組織部品に関する調査研究 (基盤分野 6テーマ) ・高強度ステンレス鋼線の新しい伸線加工技術に関する研究 ・金属3Dプリンタを活用した高付加価値製品創出に関する研究 ・放射EMI試験における可視化システムの効率的な適用に関する研究 ・AIを用いた製品検査の効率化と製造現場への適用に関する研究 ・PLCと安価な組み込みコンピュータを用いた生産性向上IoTシステムの開発 ・3Dプリンティングで作製した樹脂型の射出成形への適用について	事前評価
(会場：甲府技術支援センター)	(地場分野 2テーマ) ・県内各地域の農産物の加工適性の把握と加工品開発 ・富士北麓・東部地域の伝統的な織物を活用した新商品開発 (基盤分野 2テーマ) ・不整地対応3次元地図作成・自律移動制御システムの開発 ・プラスチック材料の耐光性評価に関する研究	中間評価

### (3) 評価結果

#### ①平成30年度に実施した研究課題の事後評価について

平成30年度に研究が完了した11研究課題の事後評価の評点は、地場分野では3.0～5.0の範囲で、平均点は3.6、基盤分野では3.0～4.0の範囲で、平均点は3.5であった。これらについては、今後、評価委員のコメントを参考に技術移転等に努めていく。

#### ②令和2年度に実施する研究課題の事前評価及び令和元年度における中間評価について

事前評価対象9課題の評点は、地場分野では全てのテーマで3.5、基盤分野では3.0～4.0の範囲で、平均点は3.5であった。中間評価対象4課題の評点は、3.0～4.0の範囲で、平均点は3.7であった。平均点が3点以上の課題については、外部評価委員からのコメントを参考に研究を実施・継続することとした。

### (4) 委員名簿

#### 基盤分野

氏名	所属	役職
副委員長 郷健太郎	国立大学法人 山梨大学	教授
宮嶋尚哉	国立大学法人 山梨大学	准教授
青木一樹	キャノンアネルパ株式会社	富士事業所長
三浦幸徳	三浦化成工業株式会社	取締役副会長

その他1名（民間企業）

### 地場分野

氏名	所属	役職
委員長 柳田藤寿	国立大学法人 山梨大学	教授
茅 暁陽	国立大学法人 山梨大学	教授
前田市郎	株式会社前田源商店	代表取締役社長
斉藤 武	株式会社アセラ食品部食品理化センター	センター長
井上陽介	メタルスタジオ・ストリームライン	主宰

### 3. 業界との意見交換会

業種	実施日	議題	参加団体
食品・酒類	令和元年10月2日 (会場: 甲府技術支援センター)	(1) 業界への支援について (2) 各業界関連の研究業務について (3) 中期運営計画(案)について (4) 意見交換会	山梨県酒造組合 山梨県ワイン酒造組合 山梨県味噌醤油工業協同組合 山梨県菓子工業組合 山梨県パン協同組合 山梨県漬物協同組合
研磨・宝飾	令和元年10月1日 (会場: 甲府技術支援センター)		山梨県水晶宝飾協同組合
機械電子	令和元年10月30日 (会場: 甲府技術支援センター)		山梨県機械電子工業会 山梨県鉄構溶接協会 山梨県情報通信業協会 山梨青年工業会
繊維	令和元年10月16日 (会場: 富士技術支援センター)		山梨県絹人織物工業組合 山梨県織物整理工業組合

# 技術支援業務

## 1. 技術相談、巡回技術支援の担当別実績

部	担当	技術相談 (件)	巡回 (企業数)	見学者 (名)
企画連携推進部		44	182	316
食品酒類・研磨宝飾技術部	食品酒類・バイオ科	458	113	125
	研磨・宝飾科	362	63	
電子・システム技術部	電子応用科	278	33	0
	システム開発科	162	105	
材料・燃料電池技術部	工業材料科	737	120	0
	化学・燃料電池科	636	124	
機械技術部		924	97	5
デザイン技術部		138	176	6
ワイン技術部		109	80	54
繊維技術部	製品開発科	373	66	12
	技術支援科	69	89	
機械電子技術部	機械電子科	793	75	0
	素材科	87	74	
合計		5,170	1,397	518

## 2. 中小企業重点支援事業

### (1) テーマ一覧

テーマ	担当	期間
幾何公差方式の基礎習得と図面演習	機械技術部	H31/4/15～R1/6/21
「和」テイストを織り込んだバイオエタノールストープの研究開発	デザイン技術部	R1/5/13～6/28
めっきに係わる基礎知識の習得	化学・燃料電池科	R1/5/16～6/6
新製品開発における電子回路設計について	システム開発科	R1/5/21～R2/1/23
精麦機(サタケ VTA-10AW)における砥石の摩耗調査に関する支援について	デザイン技術部	R1/5/26～9/29
生産設備のIoT化による各種データの取得方法について	電子応用科	R1/6/3～R2/2/28
めっき技術に関連した基礎的な知識の習得	化学・燃料電池科	R1/7/1～8/27
湯道切断部に発生する引け巣の改善	研磨・宝飾科	R1/7/23～R2/2/15
林務運搬車の自動走行化に関するシステムの開発について	システム開発科	R1/7/29～R2/2/28
紙製品開発における技術的課題の解決	化学・燃料電池科	R1/10/15～R2/3/5
ワイン醸造における亜硫酸管理技術について	ワイン技術部	R1/11/1～R2/3/11
大豆発酵食品の試作について	食品酒類・バイオ科	R1/11/21～R2/2/14

### (2) 担当別実績

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
件数	2	3	3	1	2	1	0	0	12

### 3. 客員研究員による支援

中小企業の技術及びデザインの高度化を図るとともに、産業技術センターの研究開発力を促進するため、特定分野で専門的な知識を持ち、高度な見識を有する人材を国内外から客員研究員として招聘する。

○ロストワックス精密鑄造（研磨・宝飾科）

氏名 神藤 典一（しんどう のりかず）  
 所属 神藤技術事務所 所長  
 （公社）日本技術士会 科学技術振興支援委員会 委員長  
 支援概要 宝飾業界における品質管理およびコスト低減に係る技術支援  
 支援実績  
 ・ものづくり人材育成研修での講演  
 ・中小企業重点支援事業による技術支援  
 ・山梨県水晶宝飾協同組合青年部勉強会での講演  
 ・センター職員への研究および技術指導

○幾何公差（機械技術部）

氏名 中村 哲夫（なかむら てつお）  
 所属 CDT研究所 代表  
 支援概要 幾何公差方式に関する技術支援  
 支援実績  
 ・中小企業重点支援事業による技術支援  
 ・県内企業への技術支援  
 ・技術講習会・ものづくり人材育成研修・出前技術講座での講演  
 ・センター職員への技術指導

○画像処理関連・ロボット制御技術（電子・システム技術部）

氏名 小谷 信司（こたに しんじ）  
 所属 国立大学法人山梨大学 教授  
 支援概要 画像処理関連技術・ロボット制御技術等についての専門知識の提供  
 支援実績  
 ・出前技術講座での講演  
 ・中小企業重点支援事業に関する技術支援  
 ・県内企業への技術支援  
 ・センター職員への研究および技術指導  
 ・論文指導

○デザイン（繊維技術部）

氏名 家安 香（いえやす かおり）  
 所属 Edelkoort East(株)/トレンドユニオン日本支社 代表  
 支援概要 織物産業におけるブランド力の向上  
 支援実績  
 ・やまなし地場産品ブランド化支援事業による総合プロデュース  
 ・個別相談支援、合同勉強会等

### 4. 依頼試験・設備利用等

#### (1) 実績一覧

項目	依頼試験	依頼加工	設備使用	証明書等交付	合計
件数	5,863	1,553	28,765	57	36,238

#### (2) 依頼試験の内訳

##### ①項目別

項目	機械金属	精密測定	環境試験	電気電子	化学分析	貴金属・宝飾石	食品・酒類・微生物	ニット・縫製	設計解析	繊維	合計
件数	1,063	414	1,428	0	380	4	731	106	0	1,737	5,863

##### ②担当別

部	食品酒類・研磨宝飾技術部	電子・システム技術部	材料・燃料電池技術部	機械技術部	デザイン技術部	ワイン技術部	繊維技術部	機械電子技術部	合計
件数	801	0	2,547	519	106	153	1,016	721	5,863



## (3) 依頼加工等の内訳

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
件数	1,324	0	190	0	0	0	0	39	1,553

## (4) 設備使用の内訳

## ①項目別

項目	機械 設計	工作 機械等	電気 電子	化学 分析	研磨 宝飾	食品 加工機	繊維	その他	合計
件数	22,943	388	1,876	2,079	848	0	625	6	28,765

## ②担当別

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
件数	1,527	9,448	9,381	2,573	454	495	652	4,235	28,765

## (5) 試験成績証明書交付の内訳

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
件数	0	0	13	0	44	0	0	0	57

## (6) その他 (酒母)

項目	件数	担当
酒母	6	ワイン技術部

## (7) 設備利用研修会

## ①一覧

設備	実施日	担当	参加者数
振動式密度比重測定	R1/7/10	ワイン技術部	18
自動フォーカス微小硬さ試験機	R1/11/19	工業材料科	15
蛍光 X 線膜厚計によるめっき膜厚測定	R1/11/21	化学・燃料電池科	13
蛍光 X 線分析装置によるマッピング測定	R2/2/28	研磨・宝飾科	中止
合計			46

## ②担当別実績

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
人数	0 (0設備)	0 (0設備)	28 (2設備)	0 (0設備)	0 (0設備)	18 (1設備)	0 (0設備)	0 (0設備)	46 (3設備)

## (8) 設備利用研修

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
人数	57	33	97	24	17	25	15	83	351

## 5. 研究会への支援

### 食品酒類・研磨宝飾技術部

担当	研究会名	会員数	期日	事業内容	会場	参加人数
食品酒類 ・ バイオ科	山梨県食品技術研究会	132	R1/7/22	総会・特別講演会	ホテルクラウンパレス甲府	52
			R1/9/17	技術講座	甲府技術支援センター	25
			R1/12/20	技術講演会	甲府技術支援センター	45
合計						122

### 材料・燃料電池技術部

担当	研究会名	会員数	期日	事業内容	会場	参加人数
化学 ・ 燃料電池科	山梨県表面処理研究会	16	H31/4/18	総会	甲府技術支援センター	9
			R1/8/27	勉強会	甲府技術支援センター	15
			R1/9/6	先進企業見学会	パシフィコ横浜	6
			R1/10/11 ～12	企業見学会	ニシハラ理工(株) (株)梅田製作所	8
			R1/12/19	第32回研究発表会	甲府技術支援センター	15
			R2/1/27	講習会・技術交流会	ホテル談露館	9
合計						62

### 機械技術部

研究会名	会員数	期日	事業内容	会場	参加人数
山梨県型技術研究会	15	R1/6/3	総会・前期講習会	サロン・ド・エクラン	12
		R1/9/6	先進企業見学会	パシフィコ横浜	7
		R2/1/27	後期講習会	ホテル談露館	12
合計					31

### デザイン技術部

研究会名	会員数	期日	事業内容	会場	参加人数
山梨県ニット研究会	20	R1/5/27	役員会	(株)協和繊維	6
		R1/7/9	定期総会	甲府技術支援センター	12
合計					18

## 機械電子技術部

研究会名	会員数	期日	事業内容	会場	参加人数
テクノネット「ふじざくら」	32	R1/5/14	幹事会	富士技術支援センター	7
		R1/7/23	総会	富士技術支援センター	14
		R1/7/23	講演会「ウェアラブルセンサの医療・ヘルスケア分野などへの展開について」	富士技術支援センター	24
		R1/7/23	講演会「非接触三次元座標測定機を用いた自動車製造分野に関する活用事例」	富士技術支援センター	24
		R1/7/23	研究成果発表会	富士技術支援センター	24
		R1/11/7～9	山梨テクノ ICT メッセ 2019 出展	アイメッセ山梨	23
		R1/11/27～28	視察研修	ツインリンクもてぎ ビッグバレットふくしま ふくしま医療機器開発支援センター	12
		R2/2/13	見学会	東京ビッグサイト	12
合計					140

## 6. やまなし地場産品ブランド化支援事業

産地認知度向上や新規販路の開拓、デザイン力の向上に向けた取り組みを推し進めるとともに、オリジナルブランドに取り組む企業に対して総合的なプロデュースを行った。

### (1) ブランド力向上サポートプロジェクトの実施

新市場開拓・自社ブランド立ち上げ・海外進出など、事業のステップアップを目指したチャレンジ戦略に取り組む織物企業及びグループに対して、個別のアドバイスや合同での勉強会を開催

内容	講師	期日	企業数
個別指導	客員研究員 家安 香	R1/5/7～R2/2/25	47
合同勉強会		R1/5/7～R2/1/31	39

### (2) 外部講師による勉強会の開催

織物製造業、燃糸業、染色業、整理加工業など織物に関わる異業種の若手後継者等による合同勉強会を開催

テーマ	講師	期日	会場	参加者数
特別セミナー 「オープントーク ナガオカケンメイ×鈴木マサル」	ナガオカケンメイ、鈴木マサル	R1/11/8	富士技術支援センター	62

### (3) 交流・マッチングプログラム

小売、流通、企画デザイン等様々なジャンルから専門家を招待し、生産現場でのディスカッション、情報交換と交流を通じたネットワークの構築のためのマッチング事業を実施

回	内容	期日	参加者数
第1回	山梨ハタオリ産地バスツアー D&DEPARTMENT MEETS YAMANASHI HATAORI REGION	R1/7/10	20
第2回	山梨ハタオリ産地バスツアー MEET WEAVERS SHOW 2019	R1/9/27	17
第3回	山梨ハタオリ産地バスツアー MEET WEAVERS SHOW 2020	R2/3/3	中止

# 研究業務

## 1. 産学官連携研究の促進

### (1) 研究の形態

区分	テーマ数	概要
重点化研究	8	やまなし科学技術基本計画に規定される重点投資分野に沿った研究
総理研研究	4	山梨県総合理工学研究機構※がコーディネートする産学官連携研究
最重点化研究	4	「攻めのやまなし」成長戦略を実現するために、産業界等のニーズに的確に対応した研究
経常研究	16	技術支援や企業の課題解決等のうえで必要となる研究
競争的資金研究	2	国や特殊法人が公募する競争的資金研究に採択された研究

※山梨県総合理工学研究機構は、県立試験研究機関の人的資源や設備、研究ノウハウを横断的、有機的に連携させ、新しい技術や、新しい産業創出につながる研究開発を行うとともに、産学官の連携を積極的に推進している県の組織です。

### (2) 研究テーマ

#### ①重点化研究

##### 県産農産物を用いた加工品の品質向上と開発 (H29～R1)

尾形美貴・橋本卓也・小嶋匡人・樋口かよ・長沼孝多 (食品酒類・バイオ科)  
小松正和 (ワイン技術部)・木村英生 (企画・情報科)

##### ①梅漬けの保存試験

・塩分濃度が10%と13%の梅漬けを4℃で240日間保存し、30日毎に理化学試験(水分活性、塩分、pHおよび色彩値)、微生物試験(カビ数、酵母菌数)および官能試験を実施した。その結果、保存240日後も商品としての品質は保たれていることを確認した。供試料の梅漬けの賞味期限は240日に安全係数0.8を乗じた192日間と設定した。

##### ②ブドウ加工品における酒石の低減化

・生食用ブドウをピューレ状にし、5℃または20℃で保存して酒石析出の評価を行った。甲州とデラウェアにおいては、酒石の析出量が多く、短時間で析出する傾向が認められた。また20℃の方が5℃で保存した場合より、酒石の析出は少なかった。

・低減化方法について甲州を用いて検討した。その結果、「急速冷凍による酒石の強制析出および除去」、「糖添加」、および「早熟果の使用」に効果があることがわかった。

##### マグネシウム合金部品の耐食性向上に関する研究 (H29～R1)

三井由香里 (化学・燃料電池科)・佐野正明 (工業材料科)・八代浩二 (機械電子技術部)  
石黒輝雄 (素材科)

マグネシウム(Mg)は、自動車業界を中心に、軽量化部材としての利用拡大に期待が大きい。しかしながら燃えやすく、錆びやすいという欠点のため、実用性に乏しいのが実態である。本研究では、水熱処理(水蒸気を利用した表面処理)によりMgの耐食性向上に取り組んだ。110～160℃の処理温度(飽和水蒸気圧)の条件で水熱処理(水蒸気を用いた表面処理)をしたMg合金試験片について種々の分析や評価試験を行い、表面への水酸化マグネシウムの形成(X線回折、SEM観察)および耐食性の向上(塩水噴霧試験、電気化学測定)を確認した。

また水熱処理による材料強度への影響は見られないことも示唆された。さらにこれらの結果を基に大型部材(ステアリング)を用いた水熱処理試作品を作製した。

##### 金属3Dプリンタ造形物の高品質化に関する研究 (H29～R1)

寺澤章裕・鈴木大介・萩原義人・米山陽・坂本智明 (機械技術部)・古屋雅章 (機械電子科)  
八代浩二 (機械電子技術部)・緑川哲史・田中隆三・岩尾翔太・市村誠 (松浦機械製作所)

金属3Dプリンタは、金型・航空・医療などの分野においてさらなる活用が期待されているが、アンダーカット面の表面粗さの悪化や、造形物の変形が課題となっている。本研究では、これらの課題を解決して、金属3Dプリンタ造形物の高品質化を達成するために、造形実験、造形物の評価を行った。その結果、アンダーカット面下部

の余剰硬化が、表面粗さを悪化させている要因であることが判明し、この低減方法として、アンダーカット面近傍のみレーザーエネルギーを抑制させて造形する手法を提案した。これによりアンダーカット面の表面粗さは改善され、内部は空隙のない造形が可能となることが確認できた。また、変形量の抑制については、変形の原因となる残留応力に着目し、その評価手法を考案し、造形エネルギーを抑制した条件において、造形物の応力が低減されることを確認した。

#### プラスチック射出成形金型の洗浄に関する研究 (H29~R1)

早川亮・石黒輝雄(素材科)・勝又信行・尾形正岐・古屋雅章(機械電子科)・西村通喜(機械技術部)  
阿部治(工業材料科)・八代浩二(機械電子技術部)・近藤英一(山梨大学)

プラスチック射出成形加工では、成形を繰り返すことで射出成形時に気化した原材料や添加剤が汚れとして金型表面に付着・堆積する。これにより、不良などの様々な問題が生じる。そのため、溶剤を用いた拭き取りにより金型を定期的に洗浄する必要がある。しかし、金型の複雑化に伴い、拭き取りによる洗浄が困難となってきた。そこで本研究では、複雑な金型の洗浄方法として超音波洗浄、プラズマ洗浄および超臨界CO<sub>2</sub>流体中洗浄に注目した。これらの洗浄方法について洗浄効果を評価することで、複雑化した金型に対する最適な洗浄方法および条件を見出すことを目的とした。

超音波洗浄、プラズマ洗浄および超臨界CO<sub>2</sub>流体中洗浄について、模擬金型を用いた洗浄試験を行い、洗浄効果が確認された。そこで、射出成形により実際に汚れが付着した金型を用いて、超臨界CO<sub>2</sub>流体中洗浄を行い、洗浄効果の評価を行った。

#### 不整地対応3次元地図作成・自律移動制御システムの開発 (H30~R2)

中込広幸・布施嘉裕・永田靖貴・宮本博永(システム開発科)・渡辺寛望・丹沢勉・小谷信司(山梨大学)  
横塚将志・神村明哉(産業技術総合研究所)

県内企業では、新たな市場開拓及び事業化のため、自律移動ロボットの開発に取り組む企業が増えつつある。これら企業の自律移動ロボット分野への進出を技術面から支援するため、共通の課題となる自律移動システムの研究開発を行うこととしている。本システムは、ロボット活用分野のニーズが高い屋外不整地における自己位置の推定及び自律移動の実現を目標としている。

令和元年度は、3次元地図情報を利用した自己位置推定、路面や障害物の検知結果に基づく速度・角速度指令値の出力を行うシステムを開発した。本システムを3次元地図作成・自律移動制御モジュールとして移動ロボットに搭載し、屋内にて自律移動時の目標経路に対する位置制御誤差について検証を行った。今後、屋外不整地において性能の検証を行う。

#### 金属粉末積層造形金型の寿命評価および表面処理の適用について (H30~R1)

深澤郷平・佐野正明・石田正文(工業材料科)・萩原義人(機械技術部)  
若尾博明・村松翼((有)丸眞熱処理工業)

金属粉末積層造形技術(以下、金属AM)は金型分野において、リードタイム短縮などのメリットがあるため、樹脂成形用金型に普及しつつある。一方、ダイカスト金型への適用はほとんどない。ダイカスト金型は過酷な熱サイクル環境下で使用されるため、熱疲労に起因したクラックにより金型寿命を低下させる。また、金属AM素材の機械的性質は従来材と異なる傾向にあり、金型寿命への影響が懸念される。金属AMをダイカスト金型へ適用するためには操業時を想定した環境下における寿命評価が必要であるが、これに関する報告はない。そこで、本研究では金属AMにより作製した試験片の熱疲労試験を行い、寿命評価および窒化処理の効果を検討した。

AM及びYAGはいずれも500サイクル後にクラックが観察された。また、同サイクル数におけるクラックはAMの方がYAGよりも劣っていた。一方、窒化を施した場合は2000サイクル後でもクラックが発生しておらず、窒化による長寿命化の効果が確認できた。

#### 色石評価のための機器分析データベースの構築とその利用に関する研究 (R1~R2)

宮川和博・林善永・小松利安(研磨・宝飾科)・有泉直子(食品酒類・研磨宝飾技術部)  
笠原茂樹・小泉一人(一般社団法人宝石貴金属協会)・高橋泰(宝石美術専門学校)  
松本一雄(山梨県水晶宝飾協同組合)

宝石の処理は年々高度になってきており、宝石鑑別において各種機器分析は必要不可欠なものとなっている。本研究では鑑別精度向上のため各種色石に対しては利用例の少ない蛍光分光分析を行うと共に、従来の分析機器のデータを併せたデータベースの構築を行った。今年度は取り扱いの多いルビー、サファイア、エメラルドについてデータベースの構築を行った。また蛍光分光分析では、同じ宝石でもサンプル毎に蛍光強度や分布状態が異なることが確認でき、本分析法の有効性が確認できた。

#### CNF技術を活用した素材開発 (R1~R3)

芦澤里樹(化学・燃料電池科)・上垣良信・宮澤航平(製品開発科)・小嶋匡人(食品酒類・バイオ科)  
森長久豊(山梨大学)・一瀬清治(市川和紙工業協同組合)

セルロースナノファイバー（CNF）は、植物の主成分であるセルロースをナノサイズまで解繊した新素材であり、軽量・高強度、チキソ性、高い金属担持性などの特徴を有する新規材料である。本研究では、CNFとその作製技術を活用して和紙産業へ応用可能な素材開発を行うことを目的としている。CNFを和紙へ塗工してCNF塗工和紙を作製し、その強度試験を行ったところ未塗工和紙の1.3倍の強度が得られることが分かった。また、赤ワイン搾りかすからのCNF作製について検討したところ、機械解繊によるナノファイバー化を用いることで、ブドウ由来成分を残したままCNF作製できることが分かった。

## ②総理研究

### 宝飾品における三次元データのデフォルメに関する研究（H29～R1）

佐藤博紀・串田賢一・鈴木文晃（デザイン技術部）・宮田なつき（産業技術総合研究所）

高付加価値化やオリジナルブランド開発の支援が必要とされる宝飾業界において、独自形状が取得できる3Dスキャナの活用が有効と考えられる。しかし、3Dスキャンデータをデフォルメする特殊技術が必要となり、こうした技術は体系化されておらず人材育成に時間がかかる。そこでデフォルメ技術のガイドラインを作成し、産地の活性化を目指す。

今年度はデフォルメを行うためのガイドラインを作成した。特にデフォルメの考え方から重要となる「どこを」「どのように」「どれくらい」変形させるかについて重点を置いて解説している。また、その他の表現手法についても言及した。

### 斜面崩壊による災害観測を可能とするIoT観測機器の開発（H30～R2）

宮本博永・永田靖貴・布施嘉裕・中込広幸（システム開発科）

本多亮・吉本充宏（山梨県富士山科学研究所）

日本工営（株）・（株）コズモウェイ・テクノナレッジシステム（有）

豊富な森林環境と密接に関わりを持つ本県においては、雪崩や土砂災害等の斜面崩壊による災害に備えることが重要な課題となっている。しかし、危険を伴い、事前に被災することが予想されるこのような観測分野においては、周囲情報を効果的・効率的に収集できる観測装置はまだ開発されていない。

本研究では、過去の総理研究で得た技術シーズ「投下回収型雪崩検知装置」をもとに、被災しても損壊せずに繰り返しの利用が可能で、遠隔地から映像等様々なデータの取得が期待できるIoT観測装置の開発に取り組むこととしている。

研究2年目では、周辺状況の変化を把握するためのクラウドを活用した画像によるリアルタイム観測機能をIoT観測装置に搭載した。また、実際に土砂災害の発生が見込まれる傾斜地（七面山東側春來川沿い斜面等）に本装置を設置し、実証試験を行った。その結果、本装置の活用が災害観測に有用であることを確認した。

### 新しい肉質のモモの多様な流通・販売に向けた加工・貯蔵方法の開発（R1～R3）

樋口かよ・尾形美貴・長沼孝多（食品酒類・バイオ科）

秋山友了・新谷勝広・手塚誉裕・加藤治（果樹試験場）

山梨県におけるモモ栽培は、果樹面積、収穫量および出荷量が全国一位（令和元年産）となっており、モモは県の特産物となっている。近年、県果樹試験場において、軟化しにくい新しい肉質のモモ“甲斐トウ果17”および“実生A”が開発された。この新しい肉質のモモは、果肉の褐変や果汁の溶出が少ないことから、高品質な生果実のカットフルーツ商品やカットフルーツを使った二次加工品等の商品開発への活用が期待されている。

今年度は普通モモの“あかつき”と比較した際の褐変反応の差とその要因（ポリフェノール含有量およびポリフェノールオキシダーゼ活性）について検討した結果、“甲斐トウ果17”および“実生A”は、ポリフェノール含有量が少ないことにより褐変反応が起こりにくい可能性が示唆された。

### 磁歪性振動発電材料を用いた無電源IoTデバイスの研究・開発（R1～R2）

八代浩二（機械電子技術部）・勝又信行・尾形正岐・古屋雅章（機械電子科）・石黒輝雄・早川亮・望

月陽介（素材科）・坂本智明（機械技術部）・五十嵐哲也（技術支援科）・鈴木茂（東北大学）・上野

敏幸（金沢大学）

振動エネルギーを利用して自ら発電する新磁歪材料を用い、内蔵電池等による電力供給が不要であり、検出した信号のネットワーク上への無線送信が可能で安価なIoTデバイスを開発・普及し、県内企業のIoT活用による生産性向上に寄与する目的で研究を行った。本年度の主な成果は次のとおりである。1. 機械的、熱的物性値等の基礎データ収集：超音波法とひずみゲージ法により機械的物性値を測定した。結晶の異方性と磁歪効果の影響で機械的物性値の測定が不安定であった。線膨張係数や熱伝導率などの熱的物性値は安定的に測定が可能であった。2. 加工影響層の評価方法の確立：X線回折による極点図測定により加工影響層の評価ができた。3. デバイスの試作技術確立：ユニモルフ型振動発電デバイスを試作し、振動試験機で連続的に発電させたところ、最大-最小で約6.4Vの出力を得ることができた。4. 発電特性、評価方法の確立：デバイスに装着する形状に加工した磁歪材料の性能を、インピーダンスカーブから評価することが可能となった。

### ③最重点化研究

#### 本県ニホンジカ由来の皮・角を素材とした高付加価値製品の開発 (H29～R1)

申田賢一・秋本梨恵 (デザイン技術部)

獣害対策として捕獲されるニホンジカの有効活用の促進と産業振興とを結びつけ、県及び本県産業を広く PR するとともに、新たな市場を獲得することを目的として実施した。具体的には、ニホンジカ由来の皮や角を甲州印伝や宝飾品製造技術によって高付加価値製品として仕立て、新たな製品ブランドを確立すべく取組を行った。R1 年度は、①鹿なめし革 (白色) 表面の防汚性能の向上 ②新たな印伝柄及び試作品の作製 ③試作品を用いての受容性評価を実施し、次の成果を得た。①JISL1919 に基づく試験において油性汚染物質で 4 級評価、水性汚染物質では汚染なし ②印伝柄 6 種 13 点、鹿革製品 7 種 20 点、鹿角製品 1 種 3 点を開発 ③バイヤー等からの評価ポイントのまとめ

#### 東京オリンピック2020各種イベントにおける祝杯酒としての山梨スパークリングワインの開発 (H29～R1)

恩田匠・佐藤憲亮・小松正和 (ワイン技術部)

ロゼのスパークリングワインの開発が望まれた。そこで、瓶内二次発酵法によるスパークリングワイン製造方法の確立のため、各種原料ブドウや、各種の原酒ワイン製成方法による製造実証試験を行った。主に「マスカット・ベリーA」を原料ブドウとした実証試験を行い、各種のロゼスパークリングワインを製成した。特に、「マスカット・ベリーA」の場合、白ワイン製造と同じ「直接圧搾法」による簡便な原酒ワイン製成によって、良好なロゼ原酒ワインが製成でき、ロゼ原酒ワインからスパークリングワインが製成できることがわかった。また、製造工程における成分や色調の推移などの技術的な知見を明らかにした。得られたロゼスパークリングワインは、良好なロゼ色を呈し、官能評価の結果、一定の品質以上の製品が得られたことを確認した。

#### 県内各地域の農産物の加工適性の把握と加工品開発 (H30～R2)

長沼孝多・小嶋匡人・樋口かよ・橋本卓也 (食品酒類・バイオ科) ・小松正和 (ワイン技術部)

木村英生 (企画・情報科) ・有泉直子 (食品酒類・研磨宝飾技術部) ・望月五夫 (ゆば工房五大)

##### 1) 新しい大豆発酵食品の開発

①製造条件の検討：乳酸発酵の条件として、25～35℃では24時間で凝固物が得られることを確認した。添加する塩化カルシウム量は、得られる凝固物量に影響しなかったが、作業性の向上が期待できた。②製造技術の普及：技術普及講習会を開催し、県内企業向けに大豆発酵食品の技術普及を行った。

##### 2) 県産小麦を使用したパスタ麺などの麺製品開発

①小麦試料の評価：タンパク質含有量の異なる県産ゆめかおり粉4種 (農技セ粉)、市販ゆめかおり2種、外国産デュラム小麦粉について、水分、タンパク質、灰分、損傷でんぷん量、粒度分布、ファリノグラフ、アミログラフ等を測定した。農技セ粉は、タンパク質含有量が多いものほど損傷でんぷん量が少なく、吸水率が高い傾向を示した。アミログラフでは、市販ゆめかおり粉 (1等粉) と比較して、ブレイクダウンが低い値となった。②製麺条件の検討：製麺試験を行い、麺の幅や加水量を検討した。

#### 富士北麓・東部地域の伝統的な織物を活用した新商品開発 (H30～R2)

五十嵐哲也・鈴木文晃 (技術支援科) ・秋本梨恵 (デザイン技術部) ・家安香 (客員研究員)

茅暁陽・豊浦正広 (山梨大学)

技術シーズであるジャカードデータ生成技術を、織物製造業の企画・デザイン業務に導入するためのツールとして、アプリケーションソフトのプロトタイプを作成し、産地企業での研修をとおして操作性を含めた機能向上のための評価を行った。また、技術シーズを生かした新商品の市場投入に向けて産地企業6社の企画・デザイン担当者とともに新規織物の企画及び試作開発を行った。試作品の一部については2019年7月にイタリア (ミラノ) で開催された衣料ブランドバイヤー向け生地展示会「ミラノウニカ」に出展した産地企業2社の合同ブース内において展示し市場調査を行った。その結果海外ブランドバイヤーからは視覚的な効果だけでなく2種の素材による質感の違いをグラデーションにした試作品に対して評価を得るなど、技術の応用可能性を確認できた。また市場化支援をとおし誕生した商品「やまなし縄文シルクスカーフ」が市販されるに至った。

### ④経常研究

#### プラスチック射出成形におけるガス対策に関する研究

##### ～プラスチック射出成形金型におけるガスベント効率の数値化～ (H29～R1)

西村通喜 (機械技術部) ・古屋雅章 (機械電子科) ・阿部治 (工業材料科) ・早川亮 (素材科)

射出成形金型には、金型内の空気や樹脂から発生するガスを金型外に排出するガスベントという隙間を設けている。しかし、ガスベントを設けても、成形回数を重ねるごとにガスベントが樹脂から発生したガスで汚れ、詰まってくる。このガスベント詰まりは、成形不良を引き起こす原因となるため、定期的な金型洗浄が必須となっ



ている。

本研究では、金型のガスベントの詰まりを数値化する技術の開発を行い、今まで勘と経験で見極めていた洗浄時期を適切に把握し、効率的な金型管理を行うことを目的とする。

令和元年度は、実際に射出成形用金型を用いて、連続して成形を行った際にガスベントが詰まる状況を計測することができた。また、金型内に内圧を測定することができるセンサを設置し、ガスベントが詰まる状況と計測システムの相関関係が明らかとなった。

#### プラスチック射出成形におけるガス対策に関する研究

##### ～ガス対策用エジェクタピンの最適化～ (H29～R1)

阿部治 (工業材料科)・山田博之 (企画・情報科)・西村通喜 (機械技術部)・古屋雅章 (機械電子科)  
水越彦衛 ((株)道志化学工業所)

プラスチック射出成形加工におけるガス対策として、エジェクタピンを活用したガス排出方法(ガス対策用エジェクタピン、以下「ガス抜きピン」と記す)を共同研究企業が考案した。これはエジェクタピンにスリットを入れ、射出成形時に樹脂が到達する直前までエジェクタピンを突出(前進)させることにより、スリットからガスを排出する新技术である。実際の射出成形機でガス汚れの低減効果は確認しているが、金型内部でのガスの流れや最適なスリット形状や配置等について理論的に解明されていない。本研究では、流体解析や流体可視化実験等により理論的な裏付けを行い、効果的にガスを排出するための条件を明らかにする。今年度はガス抜きピンと圧力センサを組み込んだ金型を試作し、実際の射出成形機においてガス抜きピンの排出効果を検証した。ガス抜きピンを前進させている間は型内圧がほとんど上昇せず、ガスが排出できていることを実機において確認できた。

#### 燃料電池評価装置の測定信頼性の向上に関する研究 (H30～R1)

清水章良・平川寛之・中村卓 (電子応用科)

当センターではNEDOの委託事業として燃料電池の発電性能評価に取り組んでいるが、発電性能評価装置は、複数の計測機器と制御機器により構成されているが、装置によって計測機器が異なっていたり、同じ計測機器を使用しても評価に用いるデータの取得方法が異なっていたりする。それぞれの装置についてどの程度信頼性の高い測定が行えているかどうか、装置毎の内部構成を調査し検討を行うと共に、計測の不確かさの考え方を適用して測定のばらつき度合いについても調査を行った。

装置によっては計測機器の内部で共通化されている配線を独立しているものとしてシャント抵抗を接続して測定を行っているため、誤差を生じていることが分かった。また、高精度の測定を目的としてシャント抵抗を用いて電流値測定を実施した場合、電子負荷装置の値を用いる場合よりも13倍以上の精度で測定が実施可能であることが分かった。

#### 非接触3次元スキャナの測定誤差の把握と高精度測定手法の確立 (H30～R1)

萩原義人・米山陽・鈴木大介・寺澤章裕 (機械技術部)・佐藤博紀 (デザイン技術部)  
古屋雅章 (機械電子科)・望月陽介 (素材科)・中村哲夫 (客員研究員)

近年の製品の多様化・複雑形状化に伴い従来の高精度測定手法である接触式三次元座標測定で対応できない案件が年々増加傾向にある。そこで、県内企業等への迅速・適確な技術支援対応強化へ繋げることを目的として、各種依頼測定物を対象として、当センターで保有している3台の非接触3次元スキャナごとの測定誤差の把握ならびに高精度な測定手法を確立するために各種検討を行った。

その結果、得られた各種測定データを用いて各材料・測定条件ごとの測定誤差表を作成し、その表をもとに各材料に適した非接触3次元スキャナならびに測定条件を適用することで1/100mm単位での高精度な測定を実施することが可能となった。

#### 微細工具によるガラス基板加工技術に関する研究 (H30～R1)

米山陽・萩原義人・坂本智明 (機械技術部)・佐野正明 (工業材料科)  
石黒輝雄 (素材科)・清水毅・石井孝明 (山梨大学)

電子基板には配線用のスルーホール(貫通穴)や電極用の溝部が必要となるが、ガラス材料では従来のエッチングプロセスが使用できず、新たな加工方法が求められている。環境負荷が低く、広く普及している機械加工技術にて対応が可能となれば、既存機械加工において新たな高付加価値加工となり得る。そこで本研究では、ガラス材料に対して汎用的な既存加工機によるφ0.1mm以下の高品位な穴加工技術の開発を目標として研究を実施した。

既報では超音波振動を付与することでφ0.1mmの穴加工は可能であることを示したが、穴壁面はドリル加工による表面粗さが残る状態であった。本年度は、加工した穴壁面の表面性状を向上させるため、超音波振動と遊離砥粒を組み合わせた研磨手法を考案した。加工実験の結果、本手法が小径穴壁面の仕上げ加工に有効であることがわかった。

### 甲州ワイン高品質化のための各種醸造技術の検証 (H30～R1)

小松正和・佐藤憲亮・恩田匠 (ワイン技術部)

甲州ワインに対して、従来から行われている各種醸造技術の検証や、新規技術の適用について4種類の検討を行い、甲州ワインの更なる高品質化に向けた技術開発を行った。「シュール・リー中の甲州ワインの成分変化」では、本工程による多糖類の増加が確認され、これを指標とした辛口甲州ワインの呈味改善が期待できた。「醸造方法と熟成の関係調査」では、長期熟成の観点においては、ワイン中のフェノール含量と、瓶詰時の亜硫酸量が品質に影響を与える可能性が示唆された。「Non-Saccharomyces属酵母がワインの酒質に与える影響」では、県産ぶどうから複数の同属酵母の分離を確認するとともに、同属酵母を用いて特徴的な風味を有する甲州ワインを製成できた。「オークチップを用いた甲州ワイン製造」では、チップの添加による色調や香り成分の変化を確認し、チップの選択により樽風味を酒質に合わせて調整できることを確認した。

### 骨折用インプラントの設計開発手段に関する研究 (H30～R1)

古屋雅章 (機械電子科)・山田博之 (企画・情報科)・石黒輝雄 (素材科)  
阿部治 (工業材料科)・佐藤博紀 (デザイン技術部)・勝又信行 (機械電子科)  
望月直樹・白井和仁 (株式会社スワ)・木村太郎 (木村動物病院)  
江口和 (独立行政法人国立病院機構下志津病院)

医療機器の骨折用インプラントの設計開発では、経験等をもとに設計することも多く、また、外科医の主観と経験に依存する部分が多く、骨の物性や骨折の仕方も様々であるため、インプラント形状の最適化が難しいなどの課題がある。一方、医療現場では骨に適度な負荷を与えることが必要であり、また、骨にインプラントを固定した状態での応力状態等を知りたいという医師要望があるが、現状の開発手段では対応できていない。そのためメーカーから、骨を含めたインプラントの強度に対する設計・評価や、擬似骨を用いた評価試験方法を提案してほしいという要望がある。令和元年度は実骨及び樹脂製擬似骨にインプラントを施術した場合において、その強度等の予測と評価可能な設計開発手段の向上を図る検討を行った。その結果、実骨と擬似骨の3点曲げ試験を実施し、同じ傾向が得られることを確認した。また、応用として新規開発製品や人用への適用についても検討した。

### プラスチック材料の耐光性評価に関する研究 (H30～R2)

尾形正岐 (機械電子科)・望月陽介 (素材科)・阿部治 (工業材料科)・勝又信行 (機械電子科)  
石黒輝雄 (素材科)・山田博之 (企画・情報科)・八代浩二 (機械電子技術部)

屋外暴露試験を基準としたときの、キセノンランプ式耐光性試験機およびメタルハライドランプ式耐光性試験による試験の促進倍率、プラスチックの変色や劣化の機構に関する基礎的なデータを蓄積することを目的に研究を行った。1年間の屋外暴露を行った場合のABS (アクリロニトリルブタジエンスチレンコポリマー)、PP (ポリプロピレン)、PC (ポリカーボネート) の試験片の表面観察結果、色差測定結果、衝撃強度測定結果、カルボニルインデックス計算結果をキセノンランプ式耐光性試験機およびメタルハライドランプ式耐光性試験により試験を行った場合の結果と比較した。その結果、劣化や変色の機構はプラスチックの材質により異なり、1年間の屋外暴露を基準とした場合、評価項目により促進倍率は異なることが分かった。

### 硬質材料を用いた装身具への磁気バレル研磨法に関する研究 (R1～R2)

林善永・宮川和博・小松利安 (研磨・宝飾科)・有泉直子 (食品酒類・研磨宝飾技術部)  
平晋一郎 (山梨大学)・山梨県水晶宝飾協同組合

※特許出願予定のため、本誌には掲載いたしません

### 生産現場におけるLPWA無線の活用に関する研究 (R1～R2)

平川寛之・清水章良・中村卓 (電子応用科)

近年、様々な産業において、センサネットワークを活用し、関連する多くのデータを収集し生産活動に利活用する動きが盛んになっている。これらの通信手段としては、配線が不要である利便性から無線通信が重要な位置を占めている。特に最近では、低出力のため消費電力が低く、数km～数十kmの長距離通信が可能なLPWA (Low Power Wide Area) 無線通信を用いて、センサネットワークを構築する方法が注目されている。この中で、近年、特に注目を集める通信規格であるLoRa/LoRaWANに着目し、センサネットワークの構成に必要なアプリケーションを小型ボードコンピュータであるRaspberryPi上に構築するとともに、実環境での通信実験をおこなった。当センター内部での簡易な試験では、同一フロア内での通信にはほぼ問題ないものの、3階以上をまたぐ垂直方向での通信には一部問題が生じた。今後、より詳細な検討を行う予定である。

### 固体酸化物形燃料電池用耐熱めっきの研究開発 (R1～R2)

三神武文・塩澤佑一朗 (化学・燃料電池科)  
花形保・神藤清美・北山玲 (株) ニステック)

酸化物形燃料電池 (SOFC) は高効率な燃料電池として注目されている。高温運転のため金属部品は容易に酸化してしまい、セラミックや特殊な合金が用いられている。本研究ではめっきプロセスを利用し、フェライト系ステンレスへ高い耐久性と導電性を示すMn系酸化物被膜形成法を開発、SOFC部品への適用を目指している。今年度はMn系合金 (Mn-Co) めっきを試作・評価し、課題を検討した。

Mn-Co系のめっきではアンモニウム塩を添加しためっき浴でMnが析出したがMn含有量は低かった。同時にMn酸化物と思われる不溶物が析出し、皮膜が低品質で浴寿命が短いことが判明した。これら課題に対して、添加剤やめっき方法を検討した。

また、めっき膜厚と膜組成を蛍光X線分析で評価した。素材であるフェライト系ステンレス中に含まれる元素の影響で正確な評価が困難であったが、試作した試験片を別手法で評価して標準片として利用、補正することで精度が向上した。

#### 耐摩耗試験に関する研究 (R1)

塩澤佑一朗・三神武文・三井由香里 (化学・燃料電池科)

表面処理皮膜の耐摩耗性を評価するために、日本工業規格において往復運動平面摩耗試験が定められている。当センターではその試験機を保有しており、表面処理関連企業からの技術相談に対応している。日本工業規格では、平滑な皮膜を有する平面試験片を用いて試験する旨が規定されている。しかし実際の製造現場では、試験の容易さや、製品使用時の摩耗条件に近い方法で試験を行う必要性、また試験機の保有状況などを考慮して、非平面試験片においても本試験を採用することがある。そこで本研究では、往復運動平面摩耗試験における非平面形状試験片の影響について調べ、技術相談に活用することを目的とした。実験結果から、円柱試験片を用いた場合でも再現性のある試験を行うことができることを確認した。円柱試験片では摩耗回数が多くなると摩耗粉の噛み込みによる深い線状の摩耗を生じて摩耗痕が不均一になるため、膜厚測定に注意が必要であることがわかった。

#### パッシブ型制振器による振動抑制技術に関する研究 (R1~R2)

坂本智明・西村通喜・寺澤章裕 (機械技術部)・中込広幸 (システム開発科)

様々な分野で製品の軽量化が行われており、最小限の剛性を確保している為、振動が発生し問題となっている。設計段階で振動防止のための制振材料や制振構造が検討されているが、製品の完成後に問題になるケースがある。このため付加的な制振器による制振方法は、大きな構造変更無く取り付け可能であることから、振動による問題発生後の対策として有効である。そこで本研究では、ここ数年で活用が進んでいる3Dプリンタを利用した制振器の設計開発を行い、非接触変位計における測定時の環境振動の低減化のための制振器の設計・製作を行った。金属3Dプリンタによりバネ形状を製造し、制振器として使用したところ制振性能を向上させ、より高精度な測定環境を得ることが可能となった。制振器を利用した振動抑制方法を広く企業へ普及可能な設計方法を提示する。

#### 山梨県郷土伝統工芸品に関する調査研究 (R1~R2)

秋本梨恵・串田賢一 (デザイン技術部)

本研究では、山梨県認定の郷土伝統工芸品12品目に関する歴史や技法等を、将来に残せるかたちで記録・保存することで文化的地域資源の伝承につなげること、またそれらの情報を効果的に発信することで、伝統産業の新たな発展につなげることを目的とする。

今年度は、郷土伝統工芸品の産地組合、生産者、関係者を対象にヒアリング調査を行い、結果について分析・考察した。また、山梨県を含む全国の20代~70代の一般消費者約1,000名を対象に、伝統工芸品の購買経験、山梨県郷土伝統工芸品の認知度等についてWEBアンケート調査を実施し、結果について分析を行った。4品目の歴史に関する調査、原料・道具・工程の写真記録および各工程の動画記録、作品の写真記録等を行った。

#### 光吸収発熱保温製品の熱移動特性 (R1~R2)

上垣良信・宮澤航平・中村聖名 (製品開発科)・安永秀計 (京都工芸繊維大学)

空気層含有衣料材モデルとした4重布帛試料を用いて、バナジウム (V) 処理したウール試料の熱移動特性について、従来品である炭化ジルコニウム (ZrC) 含有ポリエステル4重布帛試料を作製し、比較した。1枚布帛に吸着したVは、表面においてポリエステル中の無機粒子ZrCと同程度の高い光吸収発熱を生じた。この高い光吸収発熱作用は45-65%の湿度環境で高湿度安定性を示した。Vの光吸収発熱作用は、一般的な湿潤熱による熱作用よりも遥かに高いことがわかった。4重布帛の熱伝導率は、1枚布帛でのJIS法を多重布帛で準用して評価した。その結果、本研究で用いた天然素材製品モデルの熱伝導率は0.556、従来品モデルは0.797で、従来品モデルよりも1.4倍高い保温性が得られた。

#### バナジウム化合物の光吸収発熱機構に関する研究 (R1~R2)

渡辺誠 (繊維技術部)・上垣良信・宮澤航平・中村聖名 (製品開発科)・塩澤佑一朗 (化学・燃料電池科)・佐藤哲也 (山梨大学)

硫酸バナジルの光吸収発熱の詳細を得るため、硫酸バナジルとその他の化合物について錠剤を作成し、これに光を照射したときの錠剤温度及び透過率の測定を行って比較評価した。各種バナジウム化合物の光吸収発熱性について調べた結果、硫酸バナジル以外の化合物においても効果が認められたが、毒性やコストを考慮すると硫酸バナジルが最適であった。バナジウム以外の関連する金属化合物の光吸収発熱性を調べた結果、炭化ジルコニウムに高い効果が認められ、酢酸銅にも効果がみられた。また、羊毛粉末に硫酸バナジルを混ぜて蒸熱処理したものは、単に混ぜただけのものより高い光吸収発熱性を示した。光吸収発熱性と光の透過率には相関性が認められ、光の吸収が近赤外領域に広がっている化合物の発熱性が高かった。

## ⑤競争的資金研究

### 水素社会実現に向けた、高品質かつ合理的な高圧水素溶接一体構造部品製造技術の研究開発 (H29～R1)

宮川和幸 (材料・燃料電池技術部)・佐野正明・阿部治・石田正文・深澤郷平 (工業材料科)

早川亮 (素材科)・古屋雅章 (機械電子科)

新藤淳・中村博・榎本光司・込山匡・船木 C 祐二郎・瀬尾祝之・庄司友幸・坂本正 (藤精機 (株))

水素ステーションの普及には高品質かつ低価格な配管締結法が求められている。本研究開発では、高圧水素配管用自動溶接装置を開発し、溶接構造を採用した部品のサブモジュール化を進める。これにより、信頼性を低下させることなく水素ステーションの設置費用を低減可能とし、水素社会を実現するためのインフラ整備を加速することを目的とした。

本年度は、HRX19®を用いて高圧水素配管用溶接継手の作成を試みた。溶接速度の高速化は接合強度および裏波の生成に影響を与え、トレードオフの関係にあることが明らかとなった。最終的に、健全な裏波を有しつつ接合強度を確保することができる溶接速度の範囲をほぼ見いだした。

※HRX19®：新日鐵住金の登録商標です。

### 難燃性マグネシウム合金のダイカストによる自動車部材の量産プロセス技術開発 (R1～2)

佐野正明 (工業材料科)・三井由香里 (化学・燃料電池科)・鈴木大介 (機械技術部)

八代浩二 (機械電子技術部)

松本敏治 (戸畑製作所)・松本大毅 (戸畑ターレット工作所)・千野靖正 (産業技術総合研究所)

行武栄太郎 (茨城県産業技術イノベーションセンター)・山田隆一・杉山裕文 (山梨大学)

地球温暖化問題を解決するためにCO<sub>2</sub>等の温室効果ガスの排出量を抑制する必要がある。温室効果ガスを抑制するには、輸送機器の軽量化等による燃費向上が有効な手法の一つである。既存の鉄やアルミニウムホイールは成形技術が成熟しておりこれ以上の軽量化が困難とされており、解決するための有力技術としてマルチマテリアル化が提案されている。ホイールはマグネシウム、締結部材は既存の鉄やアルミニウム、カバーは樹脂を用いるなどの方策が期待されている。しかし、既存のマグネシウム合金では溶解時に燃えやすくダイカストが困難なため難燃性を付与する合金開発が必要である。本研究では、難燃性マグネシウム合金による自動車用ホイールのダイカスト製造プロセスを開発することを目的とし行った。

開発した難燃マグネシウム合金全15種類について、ダイカスト鑄造を行い、得られたテストピース(TP)について、それぞれの機関で評価を行った。開発合金では従来材と比べて良好な結果が得られた。

## 2. 産業財産権の取得状況

### (1) 産業財産権（県単独）

種別	登録番号 (登録日)	出願番号 (出願日)	名称	発明者
特許	4771479 (H23/7/1)	2006-290369 (H18/10/25)	モモビューレ又はモモ果汁の製造方法	斎藤美貴 恩田 匠
	4834891 (H23/10/7)	2006-220196 (H18/8/11)	金属材料の表面加工方法及びこの加工方法を用いた金属基材	勝又信行 石田正文 斎藤 修
	4963118 (H24/4/6)	2008-212725 (H20/8/21)	動物繊維における銀染色方法、2-メルカプトエタンスルホン酸塩水溶液を用いた銀染色の制御方法、及びこれらの方法を適用した動物繊維	上垣良信 渡辺 誠
	5311092 (H25/7/12)	2008-010855 (H20/1/21)	ジャカード織物の製造方法	五十嵐哲也 吉村千秋 中村聖名
	5435251 (H25/12/20)	2007-239060 (H19/9/14)	化成処理剤	三井由香里 三神武文
	5948551 (H28/6/17)	2014-022852 (H26/2/7)	装身具用合金	宮川和博 有泉直子 望月陽介 鈴木文晃 清水 進
商標	5421791 (H23/7/1)	2011-001192 (H23/1/12)		五十嵐哲也 上垣良信
	6138451 (H31/4/19)	2018-165529 (H30/12/21)	URUSHINASHIKA	串田賢一
	6138452 (H31/4/19)	2018-165530 (H30/12/21)		串田賢一
意匠	1578913 (H29/5/19)	2013-023371 (H25/10/4)	塗り絵用紙	串田賢一

### (2) 産業財産権（共同出願）

種別	登録番号 (登録日)	出願番号 (出願日)	名称	発明者	共有権者
特許	4444162 (H22/1/22)	2005-149471 (H17/5/23)	鋼材の熱処理方法および熱処理装置	八代浩二 清水誠司 鈴木大介	浅川熱処理(株) (有)丸真熱処理工業
	5217049 (H25/3/15)	2011-283032 (H23/12/26)	装飾的なニードルパンチ加工装置	吉村千秋 五十嵐哲也 古屋雅章	富士吉田商工会議所 山崎織物(株) (株)昭栄技研 山梨県織物整理(株) (有)富士ウィーブ


種別	登録番号 (登録日)	出願番号 (出願日)	名称	発明者	共有権者
特許	5396579 (H25/11/1)	2007-530913 (H18/3/16)	酸化亜鉛薄膜の製造方法及び製造装置	今津千竹 萩原 茂 木島一広 阿部 治	山梨大学 (株)中家製作所
	6152520 (H29/6/9)	2014-094992 (H26/5/2)	ジャカード織物パターンの生成方法、装置およびプログラム	五十嵐哲也 秋本梨恵	山梨大学
	6302696 (H30/3/9)	2014-025174 (H26/2/13)	マグネシウム合金の表面処理方法	八代浩二 佐野正明 三井由香里 坂本智明	権田金属工業(株)
	6306437 (H30/3/16)	2014-113615 (H26/5/31)	縦型成膜装置	萩原 茂 河野 裕 早川 亮 星野昌子	山梨大学 (株)中家製作所
意匠	1611314 (H30/7/27)	2017-008220 (H29/3/30)	ブリーフケース	串田賢一 佐藤博紀 藤川明子	やまなし森の紙推進 協議会

### (3) 産業財産権 (国際特許)

種別	登録番号 (登録日)	登録国	名称	発明者	共有権者
特許	US7744965B2 (H22/6/29)	米国	酸化亜鉛薄膜の製造方法及び製造装置	今津千竹 萩原 茂 木島一広 阿部 治	山梨大学 (株)中家製作所
	1755154 (H23/2/16)	欧州			

### (4) 産業財産権出願中 (県単独)

種別	出願番号 (出願日)	公開番号 (公開日)	名称	発明者
特許	2015-232550 (H27/11/29)	2017-96901 (H29/6/1)	光電界センサおよび電磁界計測装置	木島一広 萩原 茂 河西伸一 河野 裕 阿部 治 清水章良 中村 卓
	2016-171295 (H28/9/1)	2018-36209 (H30/3/8)	マイクロ流体デバイス	山田博之 西村通喜 長田和真 阿部 治 尾形正岐 高尾清利
	2017-055305 (H29/3/22)	—	表示具と果実の生産方法	佐藤博紀 萩原榮揮 池田博彦 富田 晃

種別	出願番号 (出願日)	公開番号 (公開日)	名称	発明者
特許	2019-057866 (H31/3/26)	—	ワックス模型及びその作製方法	林 善永 神藤典一 宮川和博 小松利安 有泉直子
	2019-057867 (H31/3/26)	—	ワックス模型の作製方法	林 善永 神藤典一 宮川和博 小松利安 有泉直子
	2019-569988 (H31/4/23)	—	光吸収発熱保温用複合体とその製造方法	上垣良信 阿部 治 塩澤佑一朗
商標	2019-108323 (R1/7/25)	—	 山梨オリジナル Yamanashi ORIGINAL varieties	佐藤博紀

(5) 産業財産権出願中（共同出願）

種別	出願番号 (出願日)	公開番号 (公開日)	名称	発明者	共有権者
特許	2016-15779 (H28/1/29)	2017-133136 (H29/8/3)	ジャカード織物多色織パターン <sup>の</sup> 生成方法、 装置およびプログラム	五十嵐哲也	山梨大学
	2018-042581 (H30/3/9)	—	発酵ゆば食品	小松正和 木村英生 佐藤憲亮	ゆば工房五大
	2019-86340 (H31/4/26)	—	白色革の製造方法	串田賢一 渡辺 誠	レオン・インターナショナル
	2020-12516 (R2/1/29)	—	硬化性樹脂組成物、硬化体、セルロースナノ ファイバー材料、及びセルロースナノファイ バー材料の製造方法	芦澤里樹	山梨大学

(6) 産業財産権出願中（国際特許）

種別	出願番号 (出願日)	公開番号 (公開日)	名称	発明者
特許	PCT/JP2019/ 17121 (H31/4/23)	—	光吸収発熱保温用複合体とその製造方法	上垣良信 阿部 治 塩澤佑一朗

### 3. 課題対応受託研究

企業が新技術・新製品の研究開発等をおこなう際に、実施が困難な課題について、専門知識を持つ職員が、センターの所有する設備や機器を利用し当該課題解決のために研究を行った。

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
件数	0	0	1	0	0	3	0	2	6

### 4. 業績発表

#### (1) 口頭発表 (学会等)

題名	発表者氏名 (所属)	発表学会名	会場	期日
各種製造工程の違いが瓶内二次発酵法によるスパークリング製成に与える影響	恩田匠 (ワイン技術部)	日本食品保蔵科学会 第 68 回大会	中村学園大学	R1/6/22~23
大豆を発酵させた発酵食品の開発	小嶋匡人 (食品酒類・バイオ科)			
X 線回析法による Fe-Ga 合金単結晶の加工影響層評価	八代浩二 (機械電子技術部)・山田博之 (企画・情報科)・尾形正岐・古屋雅章 (機械電子科)・石黒輝雄・早川亮 (素材科)・長田和真 (県企業立地・支援課)・鈴木茂 (東北大学)・上野敏幸 (金沢大学)	日本材料学会 第 53 回 X 線材料強度に関するシンポジウム	エル・おおさか (大阪府立労働センター)	R1/7/11~12
森林作業道における並進速度推定を用いた高精度なスキミングマッチング	中込広幸 (システム開発科)	第 24 回知能メカトロニクスワークショップ IMEC2019	サントミュージゼ、信州大学 繊維学部	R1/8/31~9/2
ロゼスパークリングワイン製造のための様々な原酒ワイン製成について	恩田匠 (ワイン技術部)	日本食品科学工学会 第 66 回大会	藤女子大学	R1/8/29~31
マスカット・ベリーA を原料としたロゼスパークリングワイン製成試験	恩田匠 (ワイン技術部)	令和元年度日本醸造学会	北とびあ	R1/10/16~17
ガラス材への微細ドリル加工時の切削抵抗挙動について	米山陽・萩原義人・坂本智明 (機械技術部)・石黒輝雄 (素材科)・佐野正明 (工業材料科)・清水毅・石井孝明 (山梨大学)	日本機械学会 精密工学会 山梨講演会 2019	山梨大学	R1/10/19
高特性溶射技術を用いたインプラント材料の表面改質 (第 3 報)	佐野正明 (工業材料科)・小林義之 (株) 荏原製作所)・水谷仁 ((株) ミラプロ)	電気加工学会全国大会 (2019)	金沢大学	R1/11/21~22
オークチップを使用した甲州ワインの成分変化およびワイン特性	小松正和・佐藤憲亮・恩田匠 (ワイン技術部)	日本ブドウ・ワイン学会 2019	山梨大学	R1/11/29~30
農業廃棄物を用いた植物由来エポキシ樹脂の強化	埴原俊介・森長久豊 (山梨大学)・芦澤里樹 (化学・燃料電池科)	化学工学会学生発表会	中央大学後楽園キャンパス	R2/3/7



## (2) 口頭発表 (その他)

題名	発表者氏名 (所属)	発表学会名	会場	期日
基板やデバイスにダメージを与えない酸化薄膜の成膜法	阿部治 (工業材料科)	JST 科学技術振興機構 2019 年度新技術説明会 (ものづくり技術)	JST 東京本部 別館	R1/5/23
ロゼスパークリングワインの造りについて	恩田匠 (ワイン技術部)	日本醸造協会 第 35 回ワインセミナー	北とぴあ	R1/7/2~3
電子ビーム照射による金型鋼の表面改質	萩原義人 (機械技術部)	第 225 回電気加工研究会	大阪産業創造館	R1/5/24
市販ドローンを活用した安価な搬送システムの開発	布施嘉裕・中込広幸 (システム開発科)	第 15 回地域交流ワークショップ 2019	広島国際会議場	R1/6/5
山梨のワイン	恩田匠 (ワイン技術部)	企業局 第 49 回中堅幹部職員研修会	ホテル談露館	R1/9/4
産業技術支援の最近の取り組み	吉村千秋 (機械技術部)	第 7 回山梨県産業技術支援交流会	山梨県立図書館	R1/10/9
甲州ワイン高品質化のための各種醸造技術の検証	小松正和 (ワイン技術部)	全国食品技術研究会	つくば国際会議場	R1/10/31
山梨県産ニホンジカ由来の皮・角を素材とした高付加価値製品の開発	串田賢一 (デザイン技術部)	産業技術連携推進会議 ライフサイエンス部会 デザイン分科会	(地独) 東京都立産業技術研究センター	R1/11/14
補正ソフトウェア (RP-Deform) を活用した 3D 器物の補正検証について	萩原義人 (機械技術部)	産業技術連携推進会議 関東甲信越静地域部会 計測技術研究会	TKP ガーデン シティ PREMIUM 秋 葉原	R2/1/24
山梨県における県産小麦と県産パン酵母に関する研究開発とその普及	木村英生 (企画・情報科)	令和元年度食品試験研究推進会議	つくば国際会議場	R2/2/13
山梨のワイン～高品質・多様化する甲州～	恩田匠 (ワイン技術部)	産学公技術交流会	(地独) 東京都立産業技術研究センター	R2/2/15

## (3) ポスター発表 (学会等)

題名	発表者氏名 (所属)	発表学会名	会場	期日
国産ライチ解凍後の変色防止方法に関する検討	樋口かよ (食品酒類・バイオ科)	日本調理科学会 2019 年度大会	中村学園大学	R1/8/26~27
Improving quality of 3D printing using handy measuring tools	萩原義人 (機械技術部)	知的計測技術国際会議 ISMTII2019	朱鷺メッセ	R1/9/1~4

題名	発表者氏名 (所属)	発表学会名	会場	期日
フェノールフタレイン修飾シクロデキストリン担持セルロースナノファイバーフィルムの作製と分子応答色変化	山本紗加・桑原哲夫 (山梨大学)・芦澤里樹 (化学・燃料電池科)	第 36 回シクロデキストリンシンポジウム	神戸学院大学 ポートアイランドキャンパス	R1/9/12~13
ワイン廃棄物を原料としたセルロースナノファイバーの調製	芦澤里樹 (化学・燃料電池科)・遠藤貴士 (産業技術総合研究所)	2019 年繊維学会秋季研究発表会	信州大学繊維学部	R1/11/9~10
森林作業道における U-NET を用いた路面の検出	中込広幸 (システム開発科)	精密工学会 動的画像処理実利用化ワークショップ 2020 (DIA2020)	沖縄工業高等専門学校	R2/3/9~10

#### (4) ポスター発表 (その他)

題名	発表者氏名 (所属)	発表学会名	会場	期日
本県ニホンジカ由来の皮・角を素材とした高付加価値製品の開発	串田賢一 (デザイン技術部)	やまなしサポーターズ倶楽部交流会	日本橋プラザビル	R1/9/5
マスカットベリーA を原料にしたロゼのスパークリングワインの整成	恩田匠 (ワイン技術部)	第 64 回全国製造技術指導機関合同会議	中央合同庁舎	R1/10/18
県産農産物を用いた加工品の品質向上と開発	尾形美貴 (食品酒類・バイオ科)	令和元年度全国食品技術研究会	つくば国際会議場	R1/10/31
本県ニホンジカ由来の皮・角を素材とした高付加価値製品の開発	串田賢一 (デザイン技術部)	第 6 回日本ジビエサミット	東京ビッグサイト	R1/11/20~22

#### (5) 研究論文掲載

題名	発表者氏名 (所属)	誌名	掲載巻・ページ
超音波援用によるガラスの小径ドリル加工に関する研究 第2報	米山陽 (機械技術部)・石黒輝雄 (素材科)・佐野正明 (工業材料)	砥粒加工学会誌	Vol. 63, No. 4, p185-190
不整地面走行時の振動を考慮した 3D スキャンマッチング	中込広幸・布施嘉裕・宮本博永 (システム開発科)・中村卓 (電子応用科)・米山陽 (機械技術部)・保坂秀彦 (産業技術短期大学校)	電気学会論文誌 C	Vol. 139, No. 9, pp1041-1050 (2019)
スパークリングワイン製造のための高酸度果汁からの原酒醸造におけるマロラクティック発酵生起技術	恩田匠 (ワイン技術部)・小嶋匡人・長沼幸多 (食品酒類・バイオ科)	日本醸造協会誌	Vol. 114, No. 5, pp281-286 (2019)
瓶内二次発酵法によるスパークリングワイン製造におけるカルボキシメチルセルロースを用いた酒石安定化	恩田匠 (ワイン技術部)・小嶋匡人・長沼幸多 (食品酒類・バイオ科)	日本醸造協会誌	Vol. 114, No. 7, pp457-461 (2019)
2019 年度国産ワインコンクールについて	恩田匠 (ワイン技術部)	ASEV 日本ブドウワイン学会誌	Vol. 30, No. 3, pp127-136 (2019)

題名	発表者氏名 (所属)	誌名	掲載巻・ページ
製パン用小麦粉の吸水率評価法に関する検討	樋口かよ・尾形美貴・橋本卓也 (食品酒類・バイオ科)・木村英生 (企画・情報科)・佐藤憲亮 (ワイン技術部)・上野直也・加藤知美・石井利幸・向山雄大 (山梨県総合農業技術センター)	日本食品保蔵科学会誌	Vol. 45, No. 4, pp181-185 (2019)
直接圧搾法によるロゼ原酒ワインの製成と瓶内二次発酵法によるロゼスパークリングワイン製成	恩田匠 (ワイン技術部)・小嶋匠人・長沼幸多 (食品酒類・バイオ科)	日本食品科学工学会誌	Vol. 66, No. 12, pp459-468 (2019)

### (6) その他記事掲載

題名	発表者氏名 (所属)	誌名	掲載巻・ページ
燃料電池評価装置の測定信頼性の向上に関する研究	清水章良 (電子応用科)	月刊 JETI	vol. 68, No. 1, pp74-77 (2020)
山梨県産業技術センターにおける水素・燃料電池への取り組み	三神武文 (化学・燃料電池科)	日本における燃料電池の開発 Fuel Cell RD&D in JAPAN 2019	FCDIC 年報, pp33-36 (2019)
高品質・多様化する甲州ワイン	恩田匠 (ワイン技術部)	日本醸造協会	第 155 巻, 第 3 号
甲州ワイン高品質化のための各種醸造技術の検証	小松正和 (ワイン技術部)	食品の試験と研究	第 54 号, p67 (2019)
県産農産物を用いた加工品の品質向上と開発	尾形美貴 (食品酒類・バイオ科)	食品の試験と研究	第 54 号, p66 (2019)
山梨ハタオリ産地発のブランド誕生と情報発信	高須賀文子 ((株)トリッキー)・五十嵐哲也 (技術支援科)	繊維製品消費科学	vol. 60, No. 7, p546-549 (2019)

# 人材育成業務

## 1. 出前技術講座

### (1) 講座一覧

	講座	実施日	担当	受講者数
1	山梨ハタオリ産地の物語	H31/4/6	繊維技術部	35
2	スパークリングワインの製造法について	R1/5/27	ワイン技術部	12
3	山梨学院大「やまなしの食」シリーズ	R1/6/11	ワイン技術部	43
4	富士山学-山梨ハタオリ産地の歴史と現在	R1/6/12	繊維技術部	10
5	H29-30 経常研究「工業部品の洗浄評価」の紹介 ぬれ張力試験による洗浄評価の説明と実技	R1/6/13	化学・燃料電池科	4
6	3D プリンタの基礎学習及び見学①	R1/6/19	機械技術部	6
7	3D プリンタの基礎学習及び見学②	R1/6/19	デザイン技術部	6
8	幾何公差に関する講義	R1/6/20	機械技術部	25
9	燃料電池の仕組み・燃料電池自動車に関する紹介	R1/6/24	化学・燃料電池科	5
10	郡内縞&甲斐絹と山梨ハタオリ産地	R1/7/1	繊維技術部	56
11	D&DEPARTMENT MEETS YAMANASHI HATAORI REGION BUS TOUR PREPARATION LECTURE	R1/7/9	繊維技術部	22
12	ヤマナシ産地のブランド化と国内外市場開拓の取り組み	R1/7/12	繊維技術部	13
13	富士技術支援センター 機械電子関係の研究紹介	R1/7/23	機械電子技術部	24
14	現場における測定実習ならびに図面演習	R1/7/31	機械技術部	25
15	落下菌検査による衛生管理について	R1/8/1	ワイン技術部	16
16	山梨ハタオリ産地と織物の基本	R1/8/1	繊維技術部	25
17	山梨ハタオリ産地と織物の基本	R1/8/24	繊維技術部	20
18	山梨県表面処理研究会 令和元年度勉強会	R1/8/27	研磨・宝飾科	15
19	山梨ハタオリ産地と織物の基本	R1/8/29	繊維技術部	20
20	甲斐絹の歴史とデザイン	R1/8/30	繊維技術部	14
21	山梨のワイン	R1/9/4	ワイン技術部	62
22	失敗から学ぶものづくり	R1/9/4	電子応用科	17
23	Deep Learning の基礎と実習	R1/9/4	電子応用科	17
24	メカトロニクス工学特別講義 研究紹介①	R1/9/18、26	企画・情報科	4
25	メカトロニクス工学特別講義 研究紹介②	R1/9/18、26	繊維技術部	4
26	メカトロニクス工学特別講義 研究紹介③	R1/9/18、26	機械電子技術部	4
27	山梨ハタオリ産地の歴史とブランディング活動	R1/9/30	繊維技術部	37
28	山梨ハタオリ産地の歴史とブランディング活動	R1/10/4	繊維技術部	19
29	わかりやすいイト・テキ織物入門-職人から学ぶ糸と織り-	R1/10/6	繊維技術部	10
30	機械設計図面を正しく解釈するための幾何公差	R1/10/15	機械技術部	19
31	山梨ハタオリ産地ブランド化の取り組み	R1/10/21	繊維技術部	10
32	山梨大学ワインセミナー	R1/10/26	ワイン技術部	110
33	よくある腐食の事例紹介	R1/11/7	機械電子科	13

	講座	実施日	担当	受講者数
34	栄養成分計算ソフトを使用した栄養成分の求め方について	R1/11/13	食品酒類・バイオ科	4
35	産業技術センターで実施している研究について「酒造季節前講話会及び品質向上委員会」	R1/11/22	食品酒類・バイオ科	24
36	富士技術支援センター 繊維技術部の研究紹介	R1/11/22	繊維技術部	18
37	フレーバーのパネラー育成	R1/11/29	食品酒類・バイオ科	7
38	山梨ハタオリ産地の歴史と現在の状況	R1/11/29	繊維技術部	14
39	ワイン・フロンティアリーダー養成プログラム 日本ワイン学	R1/12/5	ワイン技術部	24
40	山梨ハタオリ産地の歴史とブランディング活動	R1/12/6	繊維技術部	42
41	耐摩耗試験に関する研究	R1/12/19	化学・燃料電池科	12
42	電気自動車について	R1/12/19	材料・燃料電池技術部	12
43	富士吉田の取組について	R2/1/16	繊維技術部	50
44	シーケンス制御の基礎知識 ラダープログラムの設計手法	R2/1/16	システム開発科	21
45	シーケンス制御の基礎知識 ラダープログラムの設計手法	R2/1/23	システム開発科	20
46	身体動作シミュレーション技術を活用した製品設計手法の研究	R2/1/28	繊維技術部	25
47	シーケンス制御の実践技術	R2/2/13	システム開発科	21
48	移動ロボットプログラミング入門	R2/2/17	システム開発科	30

※) 派遣先企業は、企業の事業情報につき表示しておりません。

## (2) 担当別実績

部	企画連携 推進部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
件数	4 (1講座)	50 (4講座)	126 (6講座)	33 (4講座)	75 (4講座)	6 (1講座)	267 (6講座)	444 (19講座)	41 (3講座)	1,046 (48講座)

## 2. ものづくり人材育成研修

### (1) 前期

	講座名	講師	担当	実施日	受講者数
1	海外展示会に向けたトレンド勉強会	客員研究員 家安香	繊維技術部	R1/5/7	5
2	熱分析装置の原理と活用方法（座学）（実習）	(株) リガク 増田泰明	機械電子技術部	R1/6/28	4
3	金属組織観察の研磨方法（座学）	(株) 三啓 菅間良孝 関一紀 岡本智 センター職員	工業材料科	R1/7/3	9
4	金属組織観察の研磨方法（実習）	(株) 三啓 菅間良孝 関一紀 岡本智 センター職員	工業材料科	R1/7/3	3
5	超促進耐候（光）性試験機による材料の耐候性評価（座学）（実習）	岩崎電気（株） 小野健一郎	機械電子技術部	R1/7/5	3

	講座名	講師	担当	実施日	受講者数
6	ノギス・マイクロメータの基礎（座学）（実習）	客員研究員 中村哲夫 センター職員	機械技術部	R1/7/10	11
7	FUSION360 を活用した 3D モデリング入門（座学）	オートデスク（株） 関屋多門	デザイン技術部	R1/7/12	8
8	異物分析入門・実習（座学）	センター職員	化学・燃料電池科	R1/7/25	16
9	異物分析入門・実習（実習）	センター職員	化学・燃料電池科	R1/7/25	5

## (2) 後期

	テーマ名	講師	担当	実施日	受講者数
1	測定実習で深める幾何公差の理解（座学）（実習）	客員研究員 中村哲夫 センター職員	機械技術部	R1/10/3	7
2	金属材料の破断面解析の基礎と解析事例（座学）	（独）労働者健康安全 機構労働安全衛生総 合研究所 山際謙太	工業材料科	R1/10/8	24
3	最新のタップ加工技術とその実演（座学）（実習）	オーエスジー（株） 大島英司	機械技術部	R1/10/17	2
4	やさしい品質管理（座学）	客員研究員 神藤典一	研磨・宝飾科	R1/10/29	18
5	音・振動の周波数分析の基礎（座学）（実習）	リオン（株） 菊池哲	機械技術部	R1/11/6	7
6	ものづくりにおける幾何公差 －図面演習による理解－	客員研究員 中村哲夫 センター職員	機械電子技術部	R1/11/7	6
7	MZ プラットフォーム基礎編（座学）	（国研）産業技術総 合研究所 古川慈之	システム開発科	R1/11/13	2
8	現場で使える非破壊検査の基礎と実演	オリンパス（株） 坂本龍一	機械電子技術部	R1/12/3	11
9	2021-2022AW トレンド勉強会	客員研究員 家安香	繊維技術部	R2/2/25	中止
10	オープンイノベーション推進セミナー	（一財） JapanInnovationNet work 常務理事 松本毅 関東経済産業局 産業技術革新課長 門田靖	企画連携推進部	R2/3/3	中止

### (3) 担当別実績

部	企画連携 推進部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	繊維 技術部	機械 電子 技術部	合計
前期・人数 (講座数)	—	—	—	33 (4講座)	11 (1講座)	8 (1講座)	5 (1講座)	7 (2講座)	64 (9講座)
後期・人数 (講座数)	中止	18 (1講座)	2 (1講座)	24 (1講座)	16 (3講座)	—	中止	17 (2講座)	77 (8講座)
合計	—	18 (1講座)	2 (1講座)	57 (5講座)	27 (4講座)	8 (1講座)	5 (1講座)	24 (4講座)	141 (17講座)

### 3. やまなしモノづくりデザイン塾

#### (1) 講座一覧

コース	講座名	講師	実施日	受講者数
実践コース・A 「中小企業のための ブランディング 基礎と実践」	基礎講座	(株) アドハウスパブリック 代表取締役 関本大輔	R1/11/5	17
	人材チーム育成理解ワークショップ「ストレングス ファイnder」		R1/11/6	16
	ブランド事業開発ワークショップ①		R1/11/19	18
	ブランド事業開発ワークショップ②		R1/11/20	17
実践コース・B 「伝える、広げる 広報と SNS の戦 略」	「広報とは何か? 基礎を知ろう」	コンサルタント 五十嵐友美	R1/12/4	23
	広報戦略実践ワークショップ		R1/12/11	21
	SNS の運用戦略と最新動向	テテマーチ (株) ディレク ター 松阪美歩	R2/1/15	25
	Instagram 実践ワークショップ		R2/1/22	24
実践コース・C	「パッケージデザインの価値」	牛島志津子	R2/2/27	中止
			R2/3/6	中止
			R2/3/13	中止
			R2/3/19	中止

#### (2) コース別実績

コース	実践コース・A	実践コース・B	実践コース・C	合計
人数	68 (4講座)	93 (4講座)	中止	161

(担当：デザイン技術部)

### 4. IoT製品関連分野進出支援事業

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
電子応用科	交流会① EMC/EMI 対策入門	(株) TFF テクトロニクス /ケースレーインストルメ ンツ社 アプリケーショ ン・エンジニア 鹿取俊介	R1/11/7	23

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
電子応用科	先進地見学会 神奈川県 ET&IoT Technology2019	—	R1/11/20	11
	交流会② 電子機器組み立ての品質管理 ～国際標準 IPC 規格の概要～	(株) ジャパンユニックス 経営企画室グループ長 河野友作	R1/12/12	39
	IoT 機器品質向上セミナー 「高調波・フリッカ規格について」	菊水電子工業(株) ソリ ューション推進部 SE 課 矢島芳昭	R2/1/28	18
	IoT 機器品質向上研修 「高調波・フリッカ測定(実習)」	菊水電子工業(株) ソリ ューション推進部 SE 課 矢島芳昭	R2/1/28	11
	IoT 機器品質向上セミナー 「オシロスコープ、スペクトラムアナライザの基 礎」	ロード・シュワルツ・ジャ パン(株) T&M 営業本部 営業部 星名雄太	R2/2/5	14
	IoT 機器品質向上研修 「空間電磁界可視化システムを用いた EMI 対策 (実習)」	(株) ノイズ研究所 営業 部 首都圏営業所 五十 嵐靖雄	R2/2/5	6

## 5. 日本酒等品質強化支援事業

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
食品酒類・バイオ科	日本酒製造における IoT 活用事例	東日本電信電話(株) 宮城 事業部 第二ビジネスイノ ベーション部 中里順一	R1/10/23	21
	食品表示制度の最近の動き	(公社)日本消費生活アドバ イザー・コンサルタント・ 相談員協会 専門委員 蒲 生恵美	R2/1/10	102
	先進地見学会 神奈川県 日本酒メーカー2 社	—	R2/3/16	中止
	日本酒製造装置・製麹装置 技術セミナー及び実 習①	センター職員	R2/3/18	中止
	日本酒製造装置・製麹装置 技術セミナー及び実 習②	センター職員	R2/3/25	中止

## 6. 講習会・研修会

### (1) 講座一覧

#### 企画連携推進部

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
企画・情報科	(国研) 産業技術総合研究所 技術セミナー	関東経済産業局 地域振 興課 原山堅 (国研) 産業技術総合研究 所 古屋博秀、西田正浩、 松本成司、澤田浩之	R1/11/7	37



食品酒類・研磨宝飾技術部

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
食品酒類・バイオ科	菓子講習会（Ⅰ） （山梨県菓子工業組合と共催）	群馬製粉（株） 野口彰吾	R1/6/12	18
	製パン技術講習会（Ⅰ） （山梨県パン協同組合と共催）	日清製粉（株） 東部テクニカルセンター 播間良記	R1/6/21	32
	菓子講習会（Ⅱ） （山梨県菓子工業組合と共催）	（株）増田製粉所 技術部 次長特級パン製造技能士 南 正	R1/7/4	23
	菓子講習会（Ⅲ） （山梨県菓子工業組合と共催）	レオン自動機（株） 東京 （営） 所長 渡邊光弘	R1/7/18	17
	学校給食パン講習会 （山梨県学校給食パン協同組合、（公財）山梨県学校給食会と共催）	KO堂 奥石輝夫 吉沢製パン 吉沢秀雄 他	R1/7/26	18
	食品開発講習会 「～日本あんこ協会会長から学ぶ～好きなものや愛する商品を世に広める PR 力とファン創りの方法」	日本あんこ協会 会長 にしいあんこ	R1/8/5	47
	和菓子講習会 （山梨県菓子工業組合と共催）	日本菓子専門学校 岩佐洋一	R1/8/28	15
	研究成果普及講習会	食品酒類・バイオ科	R1/9/4	37
	製パン技術講習会（Ⅱ） （山梨県パン協同組合と共催）	月島食品工業（株） 営業企画部応用開発室 コーポレートシェフ 森浩輔	R1/10/4	17
	洋菓子講習会 （山梨県洋菓子協会と共催）	マテリエル オーナーシェフ 林正明	R1/11/19	33
	食品衛生管理講習会 「HACCP に沿った衛生管理の制度化と衛生物迅速分析法」	（株）HACCP ジャパン 東 日本統括マネージャー 林弘樹	R2/1/10	76
	技術講習会 「味の素の働き方改革ー私が大切にしてきたものー」	味の素食品（株） 代表取締役社長 辻田浩志	R2/1/31	54
研磨・宝飾科	技術講習会 「工芸ハッカソン×地場産業」	有限会社エビファニーワークス代表取締役 林口砂里	R2/3/10	中止

電子・システム技術部

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
電子応用科	電子応用技術セミナーⅠ 「一般電気計測の基礎」	日置電機（株） PM 部 営業企画課 計測アドバイザー 石原日出男	R1/6/12	40
	電子応用セミナーⅡ 「AI を活用した外観検査による照明の役割と重要性」	シーシーエス（株） 国内営業部門 MV ソリューション部 MV ソリューション課 担当課長 大澤茂	R2/1/24	39

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
システム開発科	情報技術講習会 「5G で開く新時代 未来の産業創造と社会変革」	(株)NTTDocomo 5G・IoT ソリューション推進室 山田雄亮	R1/7/30	41
	電子技術講習会 「これなら使える！Raspberry Pi & ESP32 で IoT セミナー」	壱圓慶ロボット研究所 所長 壱圓慶	R1/12/13	37

#### 材料・燃料電池技術部

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
工業材料科	材料技術講習会 「金属材料の硬さ試験」	(株)ミツトヨ 営業本部 東日本営業部 山下勉	R1/11/19	17
	材料技術講習会 「ステンレス鋼の選び方・使い方とトラブル対策」	日本冶金工業 (株) ソリューション営業部 部長 小林裕	R1/12/3	35
	材料技術講習会 「熱処理技術の基礎とトラブル対策」	田原技術士事務所 技術士 (金属) 田原譲	R1/12/10	36
化学・燃料電池科	技術講習会 「蛍光 X 線膜厚計によるめっき膜厚測定の基礎と 測定事例」	日立ハイテクサイエンス (株) アプリケーション 開発センター 応用技術 一課 土屋恒治	R1/11/21	17
	表面技術講習会「トラブル解決とその推理」	元神奈川県産業技術総合 研究所 川口明廣	R2/3/5	中止
	技術講習会 「表面処理における品質管理の考え方」	星野技術士事務所 所長 星野芳明	R2/3/27	中止

#### 機械技術部

講座名	講師	実施日	受講者数
技術講習会 「機械設計図面を正しく解釈するための幾何公差」	客員研究員 中村哲夫	R1/5/22	39
技術講習会 「振動試験活用セミナー」	JFE テクノリサーチ (株) 石野和成	R2/2/13	22

#### デザイン技術部 (デザインセンター)

講座名	講師	実施日	受講者数
繊維情報技術講習会 「繊維・アパレル産業×テクノロジーの未来」	(株)DeepValley 代表取締役/ Tokyo Fashion Technology Lab 講師 深 谷玲人	R1/7/9	19
木材・セルロース技術講習会 「りくうの和紙」	和紙スタジオリくう 代表 佐藤友佳理	R1/9/25	30
デザイン特別講座① 「今、求められるサステイナブルデザイン」	(株) オープンハウス代 表 益田文和	R2/3/4	中止

講座名	講師	実施日	受講者数
デザイン特別講座② 「Graphic Recording～議論を見える化しよう!～」	Design Researcher グラ フィックレコーダー 多摩美術大学専任講師 清水淳子	R2/3/16	中止

#### ワイン技術部

講座名	講師	実施日	受講者数
オレンジワイン官能評価会	センター職員	R1/5/28	77
研究成果普及官能評価会	センター職員	R1/6/5	30
亜硫酸管理技術研修会	センター職員	R1/7/10	18

#### 繊維技術部

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
製品開発科	繊維技術講習会 「織屋番匠さんに習う～織機調整の基礎知識～」	渡辺繊維機械工業 渡邊貞美	R1/11/22	18

#### 機械電子技術部

講座名	講師	実施日	受講者数
講演会（テクノネット「ふじざくら」との共催） 「ウェアラブルセンサの医療・ヘルスケア分野などへの展開について」	TDK（株） 新事業推進セ ンター IoT システムズ ビジネスユニット BU 長 宮 本浩二	R1/7/23	24
講演会（テクノネット「ふじざくら」との共催） 「非接触三次元座標測定機を用いた自動車製造分野に関する活用事例」	東京貿易テクノシステム （株） 国内営業部 東京 営業グループ GL 星憲幸	R1/7/23	24
金属加工用潤滑剤の基礎と応用 (1) 切削油剤の基礎知識 (2) 水溶性切削油剤の上手な使い方 (3) プレス加工における潤滑剤の役割	ユシロ化学工業（株） IL 事業統括本部 プロダク トマネージャー 原田辰 巳	R2/3/10	中止

#### (2) 担当別実績

部	企画連携 推進部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
人数	37 (1講座)	387 (12講座)	157 (4講座)	105 (4講座)	61 (2講座)	49 (2講座)	125 (3講座)	18 (1講座)	48 (2講座)	987 (31講座)

## 7. 技術者研修

### (1) テーマ一覧

	研修テーマ	研修期間	受講者数	受入担当
1	織物基礎及び設計	H31/4/5～R1/6/3(9日間)	7	繊維技術部
2	Solidworks の解説及び使用方法習得	H31/4/8～R1/5/14 (4日間)	1	デザイン技術部
3	CAD (Autodesk Inventor) の基本操作習得	H31/4/15～R1/5/28(3日間)	3	機械技術部
4	Illustrator および Photoshop の使用方法習得	H31/4/19～R1/5/15 (4日間)	4	デザイン技術部
5	ワインの醸造技術	R1/5/13～5/31 (10日間)	3	ワイン技術部
6	Illustrator および Photoshop の使用方法習得	R1/7/24～8/5 (4日間)	3	デザイン技術部
7	亜硫酸管理技術研修	R1/8/15～8/26 (5日間)	1	ワイン技術部
8	ワインの醸造技術	R1/8/21～8/28 (5日間)	1	ワイン技術部
9	精密測定の基礎習得	R1/9/1～12/20 (2日間)	1	機械技術部
10	ワインの醸造技術	R1/9/16～10/11 (5日間)	1	ワイン技術部
11	織物基礎及び設計	R1/12/10～R2/2/20 (16日間)	9	繊維技術部
12	Adobe Illustrator 及び Photoshop を用いた商業印刷用データの作製技術に関する研修	R2/2/14～3/10 (4日間)	2	デザイン技術部

※) 派遣元企業は、企業の事業情報につき表示しておりません。

### (2) 担当別実績

部	食品酒類・ 研磨宝飾技 術部	電子・ システム 技術部	材料・燃料 電池技術部	機械技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維技術部	機械電子 技術部	合計
件数	0	0	0	4	10	6	16	0	36

## 8. 夏休み親子ものづくり体験

児童のものづくりに対する関心を高め、併せてセンターを一般県民にPRする「ものづくり体験・見学会」を開催した。

- 開催日 : 令和元年8月1日 (木)
- 開催場所: 甲府技術支援センター
- 内容 : (1) ものづくり体験  
ボイスチェンジャーを作ろう!  
(2) センター見学  
・糖の甘さを感じてみよう ・宝石の硬さを測ってみよう ・透視カメラで見てみよう  
・振動の不思議をさぐってみよう
- 参加者数: 16組35名

## 9. その他

高等学校課題研究サポート  
県立吉田高等学校が実施する、同校理数科生徒を対象とした課題研究をサポートした。

- テーマ : 「発色化学反応吸光度分析法を用いた生活用品に潜む微量化学物質の検査」
- 実施日 : 令和元年 7月24日～25日、8月31日
- 参加人数: 2名

# 情報提供業務

## 1. 研究成果発表

- (1) 産業技術センター研究成果発表会
  - ・開催日：平成 31 年 4 月 25 日
  - ・会場：甲府技術支援センター
  - ・発表テーマ：口頭発表 12 件、ポスター発表 33 件
  - ・受講者数：90 人
- (2) やまなし産学官連携研究交流事業
  - ・開催日：令和元年 10 月 10 日
  - ・会場：ベルクラシック甲府
  - ・発表テーマ：口頭発表 3 件、ポスター発表 28 件
- (3) 山梨テクノICTメッセ 2019
  - ・開催日：令和元年 11 月 7 日
  - ・会場：アイメッセ山梨
  - ・発表テーマ：研究成果発表 5 件、技術シーズ紹介 3 件

## 2. 展示会への出展

- (1) 山梨テクノICTメッセ 2019
  - ・開催日：令和元年 11 月 7 日～9 日
  - ・会場：アイメッセ山梨

## 3. 刊行物の発行

- (1) 研究成果速報
  - ・発行日：平成 31 年 4 月 25 日
  - ・発行部数：1,300 部
- (2) 年報（平成 30 年度）
  - ・発行日：令和元年 7 月 22 日
  - ・発行部数：400 部
- (3) 研究報告（平成 30 年度 No. 02 号）
  - ・発行日：令和元年 7 月 31 日
  - ・発行部数：400 部
- (4) センターニュース
  - ・発行部数：各 1,500 部
  - ①センターニュースVol. 7
    - ・発行日：令和元年 6 月 28 日
  - ②センターニュースVol. 8
    - ・発行日：令和元年 10 月 31 日
  - ③センターニュースVol. 9
    - ・発行日：令和 2 年 2 月 28 日

- (5) デザイン情報紙 DESIGN YAMANASHI Vol.32～37  
 ものづくりのアイデアの誘因を目的として、ポストカードの形式で情報紙を年間6回発行  
 ・発行日：令和元年5月～令和2年3月  
 ・発行部数：各1,600部

#### 4. センター利用の手引きおよびメールマガジンの発行

- (1) センター利用の手引き：適宜発行
- (2) メールマガジン  
 ・発行回数：35回（No.19-001～035）  
 ・内容：講習会・研修会案内、設備機器案内等

#### 5. その他

- (1) ホームページによる情報提供  
 センターの研究や設備を紹介したプロポーザルページを作成：9回  
 (<https://www.pref.yamanashi.jp/yitc/>)
- (2) 甲斐絹ミュージアムホームページによる情報発信  
 郡内織物産地のルーツ、山梨県が誇る伝統織物『甲斐絹』を紹介  
 (<https://www.pref.yamanashi.jp/kaiki/>)
- (3) ブログ・フェイスブック「シケンジョテキ」による情報発信  
 富士技術支援センターに所蔵するビンテージテキスタイルをはじめ、産地企業の職人や技の魅力などを紹介  
 (ブログ <https://www.shikenjyo.blogspot.jp>)  
 (フェイスブック <https://www.facebook.com/シケンジョテキ-969866283101120>)  
 発信数：ブログ9回、フェイスブック18回

#### (4) 公報・書籍・学会誌収集

区分	内容
書籍類	工学・デザイン専門誌（学会誌35、協会誌14、その他45 合計94種 [購入・寄贈]） 工学・デザイン専門書（購入140冊、寄贈8冊 合計148冊）
研究報告	国・大学・公設試（58種）
各種情報	JIS、法規集（23種）、新聞（17種）、国・公設試ニュース、その他

- (5) YAMANASHI DESIGN ARCHIVEの運用  
 山梨県に伝わる過去の優れた物品の造形や模様、自然から得られる色彩、今に伝わる昔話・伝説を産業上で使用することのできるデザインソースとしてデジタル化して配信  
 (<https://design-archive.pref.yamanashi.jp/>)  
 ・掲載デザインソース数1059点（内訳：形状103点／模様365点／色彩148点／昔話443点）

# 技術交流

## 1. 研究機関連絡会議

会議名	期日	会場	出席者		
産業技術連携推進会議 総会	R2/1/20	イノホール	手塚 伸	萩原義人	
産業技術連携推進会議					
情報通信・エレクトロニクス部会					
第15回地域交流ワークショップ	R1/6/5	広島国際会議場	布施嘉裕	中込広幸	
情報技術分科会第13回音・振動研究会	R1/10/17~18	(地独)鳥取県産業技術センター	坂本智明		
第15回電子技術分科会 第20回実装・信頼性技術研究会 第20回高機能材料・デバイス研究会	R1/11/21~22	サンメッセ鳥栖 (公社)佐賀県地域産業支援センター 九州シンクロトン光研究センター	中村 卓		
情報技術分科会組込み技術研究会	R1/11/14~15	長崎県庁	永田靖貴		
製造プロセス部会					
第26回表面技術分科会	R1/5/30~31	米子コンベンションセンター	塩澤佑一朗		
第3回IoTものづくり分科会	R1/7/25	(地独)東京都立産業技術研究センター	萩原 茂	山田博之	
精密微細加工分科会 第59回金型・材料研究会	R1/11/14~15	山形テルサ	鈴木大介	深澤郷平	
ライフサイエンス部会					
第25回デザイン分科会	R1/7/9~10	じばさん三重	佐藤博紀		
第26回デザイン分科会	R1/11/14~15	(地独)東京都立産業技術研究センター	串田賢一		
ナノテクノロジー・材料部会					
第57回高分子分科会・見学会	R1/11/14~15	阿波観光ホテル	尾形正岐		
素形材分科会 総会・第60回金型・材料研究会	R1/11/14	(国研)産業技術総合研究所中部センター	石田正文		
素形材技術担当者会議	R1/11/15	川崎重工岐阜工場	石田正文		
繊維分科会 関東・東北地域部会 総会	R1/5/17	栃木県産業技術センター 繊維技術支援センター	一瀬富房		
繊維分科会 総会	R1/6/5~6	富士Calm	手塚 伸 中村聖名 上垣良信	一瀬富房 五十嵐哲也 宮澤航平	渡辺 誠 鈴木文晃
繊維分科会 繊維技術研究会	R1/10/10~11	石川県工業試験場	中村聖名		
繊維分科会 デザイン研究会	R1/11/7~8	ネストホテル那覇	鈴木文晃		
繊維分科会 生産・測定研究会	R1/11/8	伝国の社	宮澤航平		
繊維分科会 幹事会	R2/1/23	(地独)東京都立産業技術研究センター墨田支所	一瀬富房		
知的基盤部会					
第24回電磁環境分科会 第29回EMC研究会	R1/10/10~11	(地独)北海道立総合研究機構	清水章良		
計測分科会	R1/12/4~6	北九州国際会議場	萩原義人 望月陽介	米山 陽	石黒輝雄
分析分科会	R1/12/12	神奈川産業振興センター	三神武文	尾形正岐	
総会	R1/12/13	〃	三神武文	尾形正岐	
見学会	R1/12/13	JFEスチール(株)東日本製鉄所	三神武文	尾形正岐	
電磁環境分科会 第17回関東甲信越静EMC研究会交流会及びMTEP EMCパートナーグループ会	R2/1/31	(国研)産業技術総合研究所つくば中央	中村 卓		
関東甲信越静地域部会					
第52回関東甲信越静食品・バイオ分科会 産総研・産技連LS-BT合同発表会	R1/5/28~29	(国研)産業技術総合研究所	橋本卓也		
関東甲信越静地域産業技術連携推進会議との合同総会	R1/10/30~31	ホテルテラスザガーデン水戸	佐野照雄		
計測技術研究会	R2/1/24	TKPガーデンシティPREMIUM秋葉原	手塚 伸	萩原義人	

会議名	期日	会場	出席者		
産総研戦略予算プロジェクト(3D3PJ)					
産技連活動状況報告会議	R2/1/20	(国研)産業技術総合研究所東京サテライトオフィス	萩原義人		
首都圏公設試連携会議(TKF)					
第13回TKFオープンフォーラム及びTIRIクロスミーティング	R1/7/4	(地独)東京都立産業技術研究センター	手塚 伸 木村英生	高尾清利	宮川理恵
第58回首都圏公設試連携推進会議	R1/10/10	東葛テクノプラザ	阿部正人	木村英生	
JST2019年度新技術説明会(ものづくり技術)	R1/5/23	JST東京本部別館	阿部 治		
広域首都圏輸出製品技術センター(MTEP)					
第13回事務局会議	R1/10/10	東葛テクノプラザ	阿部正人	木村英生	
地域未来投資の活性化のための基盤強化事業(農業IoT)					
4県連絡委員会	R1/10/10	東葛テクノプラザ	阿部正人	木村英生	
公立鉦工業試験研究機関長協議会					
第92回公立鉦工業試験研究機関長協議会総会	R1/7/25~26	岩手県民情報交流センターアリーナ (株)ミクニ	手塚 伸		
令和元年度全国公設鉦工業試験研究機関事務連絡会議 関東甲信越静岡ブロック会議	R1/11/22	静岡県工業技術研究所	志村和哉		
第64回全国酒造技術指導機関合同会議	R1/10/18	中央合同庁舎	恩田 匠		
令和元年度関東甲信越地区食品醸造研究会	R1/8/1~2	デンカビックスワンスタジアム(株)渋谷商店 佐藤食品工業(株)	長沼孝多	橋本卓也	
全国食品技術研究会及び農研機構研究成果展示会	R1/10/31~11/1	つくば国際会議場	小松正和	尾形美貴	
第5回地方公設試験研究機関金属AM技術担当者会議	R2/1/30	(地独)東京都立産業技術研究センター	萩原義人	寺澤章裕	
全国食品関係試験研究場所長会総会・食品試験研究推進会議	R2/2/13~14	つくば国際会議場	手塚 伸 宮川理恵	恩田 匠	木村英生

## 2. 学会等の会議

会議名	期日	開催場所	出席者		
2019年度宝石学会	R1/6/9	東洋大学	宮川和博		
日本食品保蔵科学会第68回大会	R1/6/22~24	中村学園大学	恩田 匠	小嶋匡人	
第27回品質工学研究発表大会	R1/6/28	タワーホール船堀	宮川和博		
バイオメカニズム学会シンポジウム2019in八ヶ岳	R1/7/5~7	ロイヤルホテル八ヶ岳	河西伸一	串田賢一	
日本材料学会第53回X線材料強度に関するシンポジウム	R1/7/11~12	大阪府立労働センター	八代浩二	尾形正岐	望月陽介
日本調理科学会2019年度大会	R1/8/26~27	中村学園大学	樋口かよ		
日本食品科学工学会大会	R1/8/29	藤女子大学	恩田 匠		
2019電気化学会秋季大会	R1/9/5~6	山梨大学甲府キャンパス	大丸明正	三神武文	
日本家政学会食品組織部会2019年度講演・実習会	R1/9/13	日立ハイテクサイエンス	樋口かよ		
一般社団法人溶接学会令和元年度秋季全国大会	R1/9/17~19	東北大学 青葉山東キャンパス	宮川和幸		
令和元年度日本醸造学会大会	R1/10/16~17	北とびあ	恩田 匠		
2019年繊維学会秋季研究発表会	R1/11/9~10	信州大学	芦澤里樹	宮澤航平	
日本ブドウ・ワイン学会	R1/11/29~30	山梨大学	恩田 匠	小松正和	佐藤憲亮
第60回電池討論会	R1/11/12	京都国際会館	大丸明正	三神武文	
電気加工学会全国大会(2019)	R1/11/21~22	金沢大学サテライトプラザ	佐野正明		
日本材料学会 第57回X線材料強度に関する討論会	R1/12/6	東京国際交流館プラザ平成	八代浩二		



### 3. 職員派遣

会議名	期日	依頼者	派遣場所	出席者		
地域イノベーションコーディネータ会議						
第5回本会議、交流会	R1/6/4	(国研)産業技術総合研究所 地域連携企画室	(国研)産業技術総合研究所 北海道センター	萩原 茂	吉村千秋	高尾清利
				八代浩二		
ラボツアー	R1/6/5	"	"	萩原 茂	吉村千秋	高尾清利
				八代浩二		
第6回本会議、交流会	R2/2/12	"	(国研)産業技術総合研究所 つくばセンター	手塚 伸	萩原 茂	吉村千秋
				高尾清利	八代浩二	
ラボツアー	R2/2/13	"	"	萩原 茂		
テクノブリッジフェアinさいたま	R1/8/2	(国研)産業技術総合研究所 イノベーション推進本部	ラフレさいたま	手塚 伸	萩原 茂	吉村千秋
				八代浩二	高尾清利	
テクノブリッジフェアinつくば	R1/10/24	(国研)産業技術総合研究所 イノベーション推進本部	(国研)産業技術総合研究所 つくばセンター	吉村千秋		
	R1/10/25	"	"	萩原 茂	高尾清利	
ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金に係る山梨県地域採択審査委員会委員への就任および第1回山梨県地域採択審査委員会	R1/6/10	山梨県中小企業団体中央会	山梨県中小企業団体中央会	阿部正人		
山梨テクノICTメッセ2019						
オープニングセレモニー	R1/11/7	山梨テクノICTメッセ2019 実行委員会	アイメッセ山梨	手塚 伸	内藤裕利	一瀬富房
				阿部正人	佐野照雄	萩原 茂
研究成果発表	R1/11/7	"	"	吉村千秋	河西伸一	
				八代浩二	阿部 治	米山 陽
技術シーズ紹介	R1/11/7	"	"	寺澤章裕	中込広幸	
山梨テクノICTメッセ2019	R1/11/7～9	"	"	佐野正明	阿部 治	三神武文
山梨県関係職員				関係職員		
山梨みらいファンド事業審査会	R1/12/2	(公財)やまなし産業支援機構	アイメッセ山梨	吉村千秋	渡辺 誠	
中小企業外国出願支援事業						
第1回審査会	R1/7/8	(公財)やまなし産業支援機構	アイメッセ山梨	萩原 茂		
第2回審査会	R1/9/10	"	"	萩原 茂		
公益財団法人やまなし産業支援機構 設備貸与事業						
第1回審査委員会	H31/4/26	(公財)やまなし産業支援機構	アイメッセ山梨	西村通喜		
第2回審査委員会	R1/5/31	"	甲府技術支援センター	西村通喜		
第3回審査委員会	R1/6/28	"	"	西村通喜		
第4回審査委員会	R1/7/31	"	アイメッセ山梨	西村通喜		
第5回審査委員会	R1/8/30	"	"	西村通喜		
第6回審査委員会	R1/9/27	"	"	西村通喜		
第7回審査委員会	R1/10/31	"	"	西村通喜		
第8回審査委員会	R1/11/28	"	"	西村通喜		
第9回審査委員会	R1/12/20	"	"	西村通喜		
第10回審査委員会	R2/2/4	"	"	西村通喜		
第11回審査委員会	R2/3/4	"	"	西村通喜		
山梨県発明協会理事会						
第1回理事会	R1/5/27	(一社)山梨県発明協会	甲府技術支援センター	内藤裕利		
通常総会	R1/6/7	"	"	内藤裕利		
山梨県ものづくり発明研究会						
山梨県発明協会表彰事業選考委員会における選考委員会推薦と選考委員会	H31/4/10	(一社)山梨県発明協会	甲府技術支援センター	萩原 茂		
第1回研修委員会	R1/7/25	"	やまなし産業支援機構	吉村千秋		
第1回山梨県ものづくり発明研究会	R1/9/4	"	山梨県中小企業人材開発センター	萩原 茂	吉村千秋	
第2回山梨県ものづくり発明研究会	R1/11/14	"	"	吉村千秋		
合同交流会	R1/12/3	"	ベルクラシック甲府	吉村千秋		
山梨県産業技術支援交流会2019	R1/10/9	(公社)日本技術士会	山梨県立図書館	吉村千秋		
先進地視察研修	R2/1/23～24	NPO法人山梨情報通信研究所	岐阜県テクノプラザ	山田博之	佐藤貴裕	

会議名	期日	依頼者	派遣場所	出席者		
工業系高校生実践的技術力向上事業						
第1回担い手育成委員会	H31/4/11	教育委員会	甲府技術支援センター	高尾清利		
第2回担い手育成委員会	R1/5/7	"	"	高尾清利		
第3回担い手育成委員会	R1/7/4	"	"	高尾清利		
第4回担い手育成委員会	R1/10/3	"	"	高尾清利		
第5回担い手育成委員会	R2/2/7	"	"	高尾清利		
第1回連携推進委員会	R1/5/16	"	"	手塚 伸	高尾清利	
第2回連携推進委員会	R2/2/14	"	"	手塚 伸	高尾清利	
甲府工業高校スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール事業						
第1回運営指導委員会	R1/6/7	教育委員会	甲府工業高等学校	手塚 伸		
生徒研究発表会及び第2回運営指導委員会	R2/1/10	"	"	手塚 伸		
山梨県研究推進委員会						
第1回研究推進会議	H31/4/19	総合理工学研究機構	甲府技術支援センター	手塚 伸		
臨時研究推進会議	R1/8/26	"	"	手塚 伸		
第2回研究推進会議	R1/10/17	"	"	手塚 伸		
第3回研究推進会議	R1/12/23	"	"	手塚 伸		
第1回ワーキンググループ	R1/5/14	"	"	望月威夫		
第2回ワーキンググループ	R1/9/13	"	"	望月威夫		
第3回ワーキンググループ	R2/1/31	"	"	望月威夫		
中小企業経営革新サポート事業「中小企業サポート連携拠点会議」						
第1回委員会	H31/4/16	新事業・経営革新支援課	山梨県防災新館	高尾清利		
第3回委員会	R1/6/19	"	"	望月威夫		
第5回委員会	R1/8/20	"	"	望月威夫		
テーマ別会議	R1/9/17	"	"	手塚 伸 吉村千秋	内藤裕利 高尾清利	阿部正人
第7回委員会	R1/10/15	"	"	佐藤貴裕		
第9回委員会	R1/12/17	"	"	望月威夫		
第11回委員会	R2/2/18	"	"	望月威夫		
やまなしイノベーション創出事業費補助金						
第1回審査会	R1/11/11	産業労働部	甲府技術支援センター	高尾清利 木村英生	八代浩二	望月威夫
第2回審査会	R1/12/18	"	"	高尾清利 木村英生	八代浩二	望月威夫
山梨県IoT推進ラボ(やまなしIoTラボ)						
全体会議	R1/6/11	産業労働部	恩賜林記念館	高尾清利		
技能検定試験						
ダイカスト	R1/7/20	山梨県職業能力開発協会	(株)メツ身延工場	佐野正明		
金属熱処理	R1/9/1	"	人材開発センター	深澤郷平		
機械加工・フライス盤作業(基礎級)	R1/9/4	"	(株)ユニオン・テック	石黒輝雄	勝又信行	
	R1/9/27	"	(株)ダイワロックス	鈴木大介		
	R1/10/29	"	(株)竹田精機製作所	石黒輝雄		
機械加工・普通旋盤作業(基礎級)	R1/11/25	"	(有)大中精機製作所	石黒輝雄	勝又信行	
めっき(基礎2級)	R1/6/7	"	(株)MFP古守	三井由香里		
	R1/8/28	"	(株)三ツ矢	三井由香里		
機械製図 CAD	R1/12/1	"	人材開発センター	坂本智明		
	R2/1/26	"	(株)ミラプロ	坂本智明		
	R2/1/29	"	人材開発センター	坂本智明		
パン製造	R2/2/6~7	"	甲府技術支援センター	橋本卓也		
第59回水晶彫刻新作展						
審査会	R1/10/24	山梨県水晶美術彫刻協同組合	甲府市役所	内藤裕利		
開会式・表彰式	R1/10/25	"	"	阿部正人		
第70回ジュエリストンフェア in KOFU	R1/7/10	山梨県水晶宝飾協同組合	かいてらす	手塚 伸		
山梨県ジュエリーマスター認定制度						
第1回認定委員会	R1/7/12	ジュエリーマスター認定委員会	宝石美術専門学校	内藤裕利		
第2回認定委員会	R1/11/8	"	"	内藤裕利		
第3回認定委員会	R1/12/9	"	"	内藤裕利		
第1回試験実施委員会	R1/8/2	地域産業振興課	"	佐野照雄	宮川和博	鈴木文晃
第2回試験実施委員会	R1/10/4	"	"	佐野照雄	鈴木文晃	
認定試験	R1/12/7	"	"	佐野照雄	宮川和博	鈴木文晃

会議名	期日	依頼者	派遣場所	出席者		
山梨ジュエリープロジェクト						
第1回委員会	H31/4/16	山梨ジュエリープロジェクト委員会	甲府商工会議所	秋本梨恵		
第2回委員会	R1/6/5	"	"	秋本梨恵		
第3回委員会	R1/8/6	"	"	秋本梨恵		
第4回委員会	R1/11/7	"	"	秋本梨恵		
第5回委員会	R2/1/29	"	"	秋本梨恵		
第6回委員会	R2/3/18	"	"	秋本梨恵		
打ち合わせ会議	R1/5/14	"	"	秋本梨恵		
	R1/5/23	"	エデルコートイースト(株)	秋本梨恵		
	R1/7/12	"	甲府商工会議所	秋本梨恵		
第1回メンバーミーティング	R1/9/13	"	"	秋本梨恵		
第2回メンバーミーティング	R1/9/27	"	"	秋本梨恵		
第3回メンバーミーティング	R1/10/17	"	"	秋本梨恵		
第4回メンバーミーティング	R1/11/6	"	"	秋本梨恵		
第5回メンバーミーティング	R1/11/21	"	"	秋本梨恵		
第6回メンバーミーティング	R1/12/9	"	"	秋本梨恵		
第7回メンバーミーティング	R2/1/29	"	"	秋本梨恵		
第8回メンバーミーティング	R2/3/16	"	"	秋本梨恵		
キックオフセミナー	R1/8/23	"	"	秋本梨恵		
展示販売会「New Jewelry」	R1/11/29	"	スパイラル	秋本梨恵		
SIMPRICH・Koo-fu 発表会	R2/2/7	"	代官山ヒルサイドテラス	秋本梨恵		
ジュエリー・ブランド力向上検討会議						
第1回	R1/9/6	地域産業振興課	県庁	内藤裕利		
第2回	R1/11/14	"	"	内藤裕利		
日本ジュエリー協会 甲府懇親会	R1/10/18	(一社)日本ジュエリー協会	サドヤ シャトー・ド・プロヴァンス	手塚 伸		
モデル工場認定審査委員会						
認定審査会	R2/2/25	山梨県商工会連合会	山梨県商工会連合会	宮川和幸		
美味しい甲斐開発プロジェクトチーム						
第1回会議	H31/4/22	農政部	防災新館	阿部正人		
第2回会議	R1/7/17	"	"	串田賢一		
第3回会議	R2/1/27	"	"	阿部正人		
山梨県ニホンジカ有効活用協議会						
第1回協議会	R1/6/18	畜産課	防災新館	串田賢一		
第2回協議会	R1/11/1	"	"	串田賢一		
第3回協議会	R2/2/27	"	"	串田賢一		
産総研イノベーションコーディネーター マッチング						
第1回会議	R1/8/20	(国研)産業技術総合研究所	(国研)産業技術総合研究所 つくばセンター	萩原 茂		
第2回会議	R2/2/27	"	"	萩原 茂		
「第43回ボランティア・NPO 活動推進月間」ポスター図案審査会	R1/11/26	県民生活・男女参画課	防災新館	秋本梨恵		
第17回富士さんへ謹賀新年～富士山あて年賀状～						
予備審査	R2/1/24	富士山憲章山梨県推進会議	富士山世界遺産センター	鈴木文晃		
本審査	R2/1/30	"	"	五十嵐哲也		
ハタオリマチのハタ印						
ハタオリマチのハタ印会議	R1/5/24	富士吉田市	富士吉田商工会議所	五十嵐哲也	鈴木文晃	
	R1/6/21	"	"	五十嵐哲也	鈴木文晃	
	R1/7/22	"	"	五十嵐哲也	鈴木文晃	
	R1/9/20	"	"	五十嵐哲也	鈴木文晃	
	R1/10/28	"	"	五十嵐哲也	鈴木文晃	
	R1/11/15	"	"	五十嵐哲也	鈴木文晃	
	R2/1/17	"	FUJIHIMURO	五十嵐哲也	鈴木文晃	
R2/2/19	"	富士吉田商工会議所	五十嵐哲也	鈴木文晃		
フジヤマテキスタイルプロジェクト						
キックオフミーティング	R1/6/6	東京造形大学 産地織物企業	D&DEPARTMENT TOKYO	五十嵐哲也	鈴木文晃	秋本梨恵
プロジェクト発会式	R1/7/21	"	富士吉田商工会議所	一瀬富房	五十嵐哲也	鈴木文晃
丹後プレテキスタイル産地ネットワーク	R1/9/13～14	COS KYOTO(株) クスカ(株)	京都府織物・機械金属振興センター	五十嵐哲也		
テキスタイル産地ネットワーク2019 in 有松	R1/10/19～20	徳山大学 (同)ありまつ中心家守会社	ヤフー(株)名古屋オフィス	五十嵐哲也		

会議名	期日	依頼者	派遣場所	出席者		
富士吉田ブランド評議委員会						
第1回評議委員会	R1/8/23	富士吉田商工会議所	富士吉田商工会議所	五十嵐哲也		
第2回評議委員会	R1/10/2	"	"	五十嵐哲也		
2次審査会	R1/10/30	"	"	五十嵐哲也		
山梨県クリーニング師試験						
第1回試験委員会	R1/7/17	福祉保健部	防災新館	渡辺 誠		
第2回試験委員会	R1/10/23	"	びゅあ総合	渡辺 誠		
山梨県高等学校農業科教員と関係部局職員の意見交換会						
県立笛吹高等学校	R1/9/10	山梨県高校教育課	笛吹高等学校	樋口かよ		
県立農林高等学校	R1/9/19	"	農林高等学校	橋本卓也		
東京国税局酒類鑑評会	R1/9/24, R1/9/27	東京国税局	東京国税局	長沼孝多	橋本卓也	
令和元事務年度全国市販酒類調査品質評価(清酒部門)	R2/2/4	"	"	長沼孝多		
令和元事務年度全国市販酒類調査品質評価(果実酒部門)	R2/2/5	"	"	恩田 匠	佐藤憲亮	
令和元年度清酒貯蔵出荷管理技術相談(呑切)及び県産清酒統一銘柄推奨審査会	R1/7/18	山梨県酒造組合	山梨県酒造組合	長沼孝多	橋本卓也	
山梨県原産地呼称日本酒認証官能審査会						
第3回審査会	R1/12/20	山梨県酒造組合	山梨県酒造組合	長沼孝多	橋本卓也	
第4回審査会	R2/3/13	"	"	長沼孝多	橋本卓也	
第51回山梨県新酒鑑評会	R2/3/13	"	"	長沼孝多	橋本卓也	
第3回山梨県原産地呼称日本酒管理委員会	R2/3/19	山梨県酒造組合	ホテル談露館	内藤裕利		
甲州市ワイン品質審査会						
第27回甲州市ワイン品質審査会	R1/6/12	甲州市	甲州市ブドウの丘イベントホール	恩田 匠	佐藤憲亮	
赤, ロゼ, 発砲ワインの部	R1/6/19	"	"	恩田 匠	小松正和	
2019年度第1回ヌーヴォーワイン	R1/9/26	"	"	恩田 匠	佐藤憲亮	
令和元年度第2回ヌーヴォーワイン	R1/10/29	"	"	恩田 匠	小松正和	
第28回甲州市ワイン品質審査会	R1/12/11	"	"	恩田 匠	佐藤憲亮	
Japan Wine Competition(日本ワインコンクール)2018						
準備作業	R1/7/16	地域産業振興課	アイメッセ山梨	小松正和	佐藤憲亮	渡辺雅樹
審査会	R1/7/17~18	"	"	恩田 匠	小松正和	佐藤憲亮
				渡辺雅樹	三科浩仁	
第1回運営委員会	R1/6/27	日本ワイン実行委員会	ワインセンター	恩田 匠	小松正和	佐藤憲亮
表彰式・公開テイスティング	R1/9/1	地域産業振興課	甲府記念日ホテル	恩田 匠	小松正和	佐藤憲亮
第2回運営委員会	R1/12/19	"	ワインセンター	小松正和	佐藤憲亮	
合同会議	R2/2/4	"	防災新館	恩田 匠		
勝沼ワイナリーズクラブ審査会						
第60回	R1/8/19	勝沼ワイナリーズクラブ	ワインセンター	恩田 匠	小松正和	佐藤憲亮
ワインフロンティアリーダー養成プログラム						
ワイン科学士認定委員会	H31/4/23	山梨大学	山梨大学	恩田 匠		
第12回山梨大学ワイン科学士認定証書授与式	R1/5/29	"	"	手塚 伸	恩田 匠	
第2回推進委員会	R2/3/3	"	"	恩田 匠		
山梨学院大学健康栄養学部管理栄養学科「やまなしの食」	R1/6/11	山梨学院大学	山梨学院大学	恩田 匠		
地理的表示「山梨」審査会						
第59回	H31/4/22	山梨県ワイン酒造組合	かいてらす	恩田 匠		
第60回	R1/7/11	山梨県ワイン酒造組合	"	恩田 匠		
第61回	R1/9/25	山梨県ワイン酒造組合	"	恩田 匠		
第62回	R1/12/4	山梨県ワイン酒造組合	"	恩田 匠		
第63回	R2/1/29	山梨県ワイン酒造組合	"	恩田 匠		
山梨ワイン産地確立推進連絡会議						
第10回	R1/7/31	果樹・6次産業振興課	果樹試験場	恩田 匠	小松正和	
第47回山梨ワイナリー協会定期総会	R1/8/20	山梨ワイナリー協会	勝沼ぶどうの丘	内藤裕利	小松正和	
(公財)日本醸造協会第35回ワインセミナー	R1/7/2	(公財)日本醸造協会	北とびあ スカイホール	恩田 匠		
山梨大学ワインセミナー	R1/10/26	山梨大学	フクラシア品川クリスタルスクエア	小松正和		
ラグビーワールドカップレセプション	R1/9/17	知事政策局	ホテル鐘山苑	恩田 匠	望月陽介	

会議名	期日	依頼者	派遣場所	出席者		
地理的表示取得に向けた勉強会						
第1回	R1/9/9	山梨県酒造組合	山梨県酒造組合	手塚 伸	有泉直子	長沼孝多
第2回	R1/11/11	"	"	有泉直子	長沼孝多	
葡萄酒技術研究会セミナー(後期講演会)	R1/12/12	(一社)葡萄酒技術研究会	談露館	恩田 匠	小松正和	
令和元年度「生徒研究発表会」及び「韮崎工業高校企業情報交換会」	R2/2/8	韮崎工業高校	韮崎工業高校	手塚 伸		
(一社)日本溶接協会東部地区溶接技術検定委員会						
第484回	H31/4/9	(一社)日本溶接協会東部地区溶接技術検定委員会	東部地区溶接技術委員会中央検定場	宮川和幸		
第485回	R1/5/14	"	"	宮川和幸		
第486回	R1/6/4	"	"	宮川和幸		
第487回	R1/6/21	"	"	宮川和幸		
第488回	R1/7/9	"	"	宮川和幸		
第489回	R1/8/6	"	"	宮川和幸		
第490回	R1/9/10	"	"	宮川和幸		
第491回	R1/10/8	"	"	宮川和幸		
第492回	R1/11/12	"	"	宮川和幸		
第493回	R1/12/10	"	"	宮川和幸		
第494回	R2/1/9	"	"	宮川和幸		
第495回	R2/2/12	"	"	宮川和幸		
第496回	R2/3/10	"	"	宮川和幸		
溶接技能者評価試験	H31/4/13	(一社)山梨県鉄構溶接協会	ポリテクセンター山梨	宮川和幸		
	R1/5/11	"	"	宮川和幸		
	R1/6/15	"	"	宮川和幸		
	R1/7/12	"	"	宮川和幸		
	R1/8/10	"	"	宮川和幸		
	R1/9/14	"	"	宮川和幸		
	R1/10/5	(一社)東京都溶接協会	(一社)東京都溶接協会	宮川和幸		
	R1/10/19	(一社)山梨県鉄構溶接協会	ポリテクセンター山梨	宮川和幸		
	R1/10/25	(一社)東京都溶接協会	(一社)東京都溶接協会	宮川和幸		
	R1/11/9	(一社)山梨県鉄構溶接協会	ポリテクセンター山梨	宮川和幸		
R1/12/7	"	"	宮川和幸			
R2/1/24	"	"	宮川和幸			
R2/2/15	"	"	宮川和幸			
山梨県溶接技術競技大会						
溶接技術競技大会	R1/6/1	(一社)山梨県鉄構溶接協会	ポリテクセンター山梨	内藤裕利 阿部 治	宮川和幸 石田正文	佐野正明 深澤郷平
第1回審査会	R1/6/3	"	"	宮川和幸 石田正文	佐野正明 深澤郷平	阿部 治
最終審査会	R1/7/10	"	"	宮川和幸 石田正文	佐野正明 深澤郷平	阿部 治
表彰委員会	R1/7/16	"	山梨県鉄構会館	内藤裕利	宮川和幸	佐野正明
第1回審査規定等改訂委員会	R1/9/5	"	"	宮川和幸	佐野正明	
表彰式	R1/9/6	"	"	手塚 伸	宮川和幸	佐野正明
第1回合同会議(審査実行委員会)	R2/2/12	"	"	佐野正明		
ロボコンやまなし2019						
第1回実行委員会	R1/6/11	ロボコンやまなし2019実行委員会	アイメッセ山梨	河野 裕	宮本博永	布施嘉裕
				永田靖貴	中込広幸	
第2回実行委員会	R1/7/29	"	"	河野 裕	宮本博永	中村 卓
				永田靖貴	中込広幸	
第3回実行委員会	R1/10/28	"	"	宮本博永	中込広幸	
審査委員会	R1/11/9	"	"	手塚 伸		
大会	R1/11/9	"	"	河野 裕	宮本博永	中村 卓
				永田靖貴	布施嘉裕	中込広幸
マス類新魚「富士の介」ロゴマーク製作業務委託審査委員会	R2/1/17	花き農水産課	防災新館	佐藤博紀		
若年世代移住セミナー(第4回やまなしおしゃべりカフェ)	R2/2/7	総合政策部 地域創生人口対策課	東京交通会館	長沼孝多		
令和2年度山梨県広報誌「ふれあい」及び広報誌「ふれあい月刊号(仮)」制作・編集業務 企画提案コンペに係る審査会	R2/3/25	総合政策部 広報課	防災新館	串田賢一		

4. その他会議

会議名	期日	会場	出席者		
<b>産学官連携・国関連事業</b>					
総合理工学研究機構					
第1回運営・評価委員会	R1/7/26	甲府技術支援センター	佐藤博紀		
第2回運営・評価委員会	R1/10/24	甲府技術支援センター	宮本博永		
総理研研究員研修会(第1回)	R1/6/21	果樹試験場	一瀬富房	阿部正人	萩原 茂
			高尾清利	有泉直子	宮川和幸
			中村聖名	木村英生	宮川理恵
			布施嘉裕	上垣良信	宮澤航平
総理研研究員研修会(第2回)	R2/2/7	畜産酪農技術センター長坂支所	金丸勝彦	中村聖名	木村英生
			宮川理恵	尾形美貴	布施嘉裕
			宮澤航平		
地域イノベーション・エコシステム形成プログラム「水素社会に向けた『山梨燃料電池バレー』の創成」					
地域イノベ総会	R1/5/22	ベルクラシック甲府	阿部正人	高尾清利	
FCyFINEシンポジウム	R1/5/22	〃	阿部正人	高尾清利	
A会議	H31/4/23	山梨大学	阿部正人		
A会議	R1/6/5	〃	阿部正人		
A会議	R2/2/6	〃	阿部正人		
A会議	R2/3/11	〃	阿部正人		
B会議	H31/4/18	〃	高尾清利		
B会議	R1/5/28	〃	高尾清利		
B会議	R1/6/24	〃	高尾清利		
B会議	R1/8/22	〃	高尾清利		
B会議	R1/11/21	〃	高尾清利		
FCyFINE B会議	R1/12/23	〃	高尾清利		
B会議	R2/2/4	〃	高尾清利		
やまなし産学官連携研究交流事業	R1/10/10	ベルクラシック甲府	関係職員		
<b>県関連事業</b>					
医療機器設計開発人材養成講座					
燃料電池関連製品開発及び医療機器設計開発人材養成講座開講式	H31/4/10	山梨大学	手塚 伸		
2020年度機械振興補助事業説明会(JKA)	R1/8/9	TKPカンファレンスセンター	宮川理恵		
医療機器設計開発人材養成講座夏期情報交換会	R1/8/28		手塚 伸		
<b>組合関連事業</b>					
第47回甲府ジュエリーフェアオープニングセレモニー	H31/4/10	アイメッセ山梨	手塚 伸	内藤裕利	阿部正人
			有泉直子	宮川和博	
山梨県ワイン鑑評会	H31/4/16	ワインセンター	恩田 匠	小松正和	佐藤憲亮
山梨青年工業会定期総会	H31/4/17	常磐ホテル	手塚 伸		
山梨県味噌醤油工業協同組合 第71期通常総会	R1/5/16	魚保	手塚 伸	内藤裕利	
都留機械金属工業協同組合 第48回通常総会	R1/5/18	都留市 ふるや	一瀬富房		
富士吉田織物協同組合 第69期通常総代会	R1/5/22	富士技術支援センター	一瀬富房	渡辺 誠	
大月織物工業協同組合 第69回通常総会	R1/5/23	大月織物会館	一瀬富房	渡辺 誠	
西桂織物工業協同組合 第47回通常総会	R1/5/24	西桂町産業会館	一瀬富房	渡辺 誠	
山梨県水晶宝飾協同組合 令和元年度第66回通常総会及び懇親会	R1/5/24	かいてらす	内藤裕利	宮川和博	
山梨県絹人織物工業組合 第54回通常総代会	R1/5/27	富士技術支援センター	手塚 伸	一瀬富房	渡辺 誠
山梨県水晶宝飾協同組合 理事会	R1/10/4	かいてらす	宮川和博		
宝石貴金属協会 令和元年度定時総会	R1/5/28	甲府技術支援センター	手塚 伸		
山梨県菓子工業組合 通常総会(第83回定期総代会)	R1/5/29	かいてらす	内藤裕利	長沼孝多	
山梨県水晶美術彫刻協同組合 第67回通常総会	R1/5/31	〃	内藤裕利		
(一社)山梨県発明協会 平成31年度総会	R1/6/7	甲府技術支援センター	内藤裕利		
(一社)山梨県機械電子工業会 令和元年度通常総会に伴う表彰式典及び懇親会	R1/6/13	ベルクラシック甲府	手塚 伸	内藤裕利	一瀬富房
			阿部正人	佐野照雄	萩原 茂
			吉村千秋	河西伸一	
山梨県ワイン酒造組合 第65回通常総会	R1/6/21	かいてらす	内藤裕利	小松正和	
Laffort・マザーバインズセミナー	R1/5/21	Laffort・マザーバインズ	小松正和	渡辺雅樹	
杜氏研究会・山梨県酒造組合主催 視察研修	R1/9/3~4	(株)せんきん (株)松井酒造店	橋本卓也		
山梨県水晶宝飾協同組合理事会	R1/7/1	かいてらす	宮川和博		
	R1/10/4	〃	宮川和博		
	R2/2/3	〃	宮川和博		
プラスチック代替品開発支援事業費補助金事業検討委員会	R1/10/7	防災新館	高尾清利		

会議名	期日	会場	出席者		
山梨県水晶宝飾協同組合 令和2年新年互礼会	R2/1/8	ホテル談露館	手塚 伸		
富士吉田商工会議所 令和2年新年賀詞交歓会	R2/1/8	ハイランドリゾートホテル&スパ	手塚 伸	一瀬富房	
山梨県商工会連合会 新年互礼会	R2/1/9	アビオ甲府	手塚 伸		
(一社)山梨県鉄構溶接協会 2020年新年互礼会	R2/1/22	アビオ甲府	手塚 伸	宮川和幸	佐野正明
(一社)山梨県機械電子工業会 令和2年新春トップセミナー及び新年賀詞交歓会	R2/1/28	ベルクラシック甲府	手塚 伸	内藤裕利	一瀬富房
			阿部正人	萩原 茂	吉村千秋
			河西伸一		
山梨県漬物協同組合 新春賀詞交歓会	R2/1/28	古名屋ホテル	内藤裕利	長沼孝多	
<b>その他</b>					
燃料電池関連					
燃料電池関連製品開発及び医療機器設計開発人材養成講座開講式	H31/4/10	山梨大学	手塚 伸		
燃料電池関連製品開発人材養成講座 施設見学会	R1/8/29	千代田化工建設子安事業所 川崎マリエン	高尾清利		
やまなし水素・燃料電池ネットワーク協議会WG合同会議	R1/9/30	山梨大学	吉村千秋	高尾清利	
やまなし水素・燃料電池ネットワーク協議会	R1/10/9	山梨大学	手塚 伸		
「水素社会に向けた「山梨燃料電池バレー」の創成」第27回運営・開発会議	R2/2/6	山梨大学燃料電池ナノ材料研究センター	阿部正人		
令和元年度燃料電池関連製品開発人材養成講座修了式	R2/2/12	山梨大学	阿部正人		
NEDO「固体高分子型燃料電池利用高度化技術開発事業/MEA性能創出技術開発」					
燃料電池MEA試作	R1/5/8	(株)エーシングテクノロジーズ	大丸明正	三神武文	
第25回FCDIC燃料電池シンポジウム	R1/5/23～24	タワーホール船堀	大丸明正	三神武文	清水章良
			荻野敏一	藤巻利幸	加賀爪広
検討会	R1/6/10	信州大学 上田キャンパス	大丸明正	三神武文	
NEDO水素・燃料電池プロジェクト評価・課題共有ウィーク	R1/6/20	経済産業省本館	大丸明正	三神武文	
2019年度NEDO 次世代電池・水素成果報告会	R1/7/18～19	東京ビッグサイト	大丸明正	三神武文	清水章良
			荻野敏一	藤巻利幸	加賀爪広
燃料電池MEA試作	R1/8/1	(株)エーシングテクノロジーズ	大丸明正	三神武文	
NEDO事後評価に伴う現地調査会	R1/8/19	甲府技術支援センター	内藤裕利	阿部正人	萩原 茂
			吉村千秋		
FCCJ要素・基盤技術WG PEFC技術SWGリーダー会議	R1/9/10	航空会館	三神武文		
NEDO研究評価委員会(事後評価)	R1/9/12	WTCコンファレンスセンター	三神武文		
NEDOフォローアップ検査	R1/9/18	甲府技術支援センター	萩原 茂	吉村千秋	長田弘毅
検討会	R1/11/12	産総研関西センター	大丸明正	三神武文	
第17回燃料電池基盤技術研究懇話会	R1/11/19～20	湘南国際村センター	三神武文		
次期NEDOプロ意見交換	R1/11/25	本田技術研究所	大丸明正	三神武文	
燃料電池解析評価技術 課題共有フォーラム	R2/1/7	NEDO川崎本部	大丸明正	三神武文	
分析セミナー	R2/1/17	アジレント・テクノロジー(株)	三神武文		
第7回FC-Cubic技術交流会	R2/1/23	東京国際交流館	萩原 茂	吉村千秋	宮川和幸
			三神武文	大丸明正	荻野敏一
			藤巻利幸	加賀爪広	清水章良
粒径分布評価装置確認	R2/1/24	堀場製作所	三神武文	清水章良	
戦略的基盤技術高度化支援事業					
先進企業視察	R1/5/20	(株)タツノ	宮川和幸		
令和元年度春期講演会	R1/5/24	都市センターホテル	宮川和幸		
第3回X線・CTテクニカルセミナー	R1/7/5	TKPガーデンシティPREMIUMみなとみらい	宮川和幸		
水素ステーション静岡見学	R1/7/25	水素ステーション静岡	宮川和幸		
2019年度水素関係会議(H <sub>2</sub> EM2019)	R1/9/25	ホテルニューオータニ	宮川和幸		
しが水素エネルギー推進セミナー	R1/10/17	長浜バイオ大学ドーム	宮川和幸		
検討会	R1/10/18	大阪大学吹田キャンパス	宮川和幸		
KHK水素セミナー	R1/12/2～3	KFC Hall & Rooms	宮川和幸		
九州水素・燃料電池フォーラム&水素先端世界フォーラム2020	R2/1/29	電気ビルみらいホール	宮川和幸		
技術情報調査	R2/2/4	三菱化工機(株)	宮川和幸		
2020水素ビジネス参入セミナー	R2/2/6	名古屋市中企業振興会館吹上ホール	宮川和幸		

会議名	期日	会場	出席者		
戦略的省エネルギー技術革新プログラム					
第1回全体会議	R1/8/13	(一社)日本マグネシウム協会	佐野正明	八代浩二	鈴木大介
第2回全体会議	R1/12/4	茨城県産業技術イノベーションセンター	八代浩二	鈴木大介	三井由香里
第3回全体会議	R2/2/20~21	戸畑ターレット 戸畑製作所	佐野正明		
第3回全体会議	R2/2/20~21	戸畑ターレット 戸畑製作所	八代浩二	鈴木大介	佐野正明
鑄造実験	R1/9/10~11	茨城県産業技術イノベーションセンター	鈴木大介		
第1回鑄造試験	R1/10/1~2	"	佐野正明	鈴木大介	八代浩二
第2回鑄造試験	R1/10/28~30	"	鈴木大介		
第3回鑄造試験	R1/11/18~19	"	佐野正明		
第4回鑄造試験	R1/12/3~4	"	八代浩二	鈴木大介	
第5回鑄造試験	R1/12/16~17	"	佐野正明		
日本マグネシウム協会第4回技術講演会「不燃・難燃マグネシウム合金の特性と開発・応用の現状」	R1/12/20	京橋区民館	佐野正明		
第6回鑄造試験	R2/2/13~14	"	佐野正明		
技術情報調査	R1/10/15~16	エスペック(株)神戸R&Dセンター	佐野正明	三井由香里	
合金開発評価会議	R2/3/6	産総研中部センター名古屋駅前サイト	佐野正明		
若手醸造家・農家研究会					
総会・セミナー	R1/5/29	山梨市市民会館	小松正和	渡辺雅樹	
セミナー	R1/6/6	"	佐藤憲亮	渡辺雅樹	
テクノネット「ふじざくら」					
幹事会	R1/5/14	富士技術支援センター	一瀬富房	八代浩二	石黒輝雄
			勝又信行		
総会	R1/7/23	"	一瀬富房	八代浩二	石黒輝雄
			勝又信行		
講演会	R1/7/23	"	一瀬富房	佐野照雄	八代浩二
			石黒輝雄	勝又信行	早川 亮
			尾形正岐	古屋雅章	望月陽介
第15回視察研修	R1/11/27~28	Honda Collection Hall メディカルクリエーションふくしま2019 福島医療機器開発センター	一瀬富房	八代浩二	石黒輝雄
見学会	R2/2/13	東京ビッグサイト	八代浩二	石黒輝雄	古屋雅章
やまなしの純米酒拡大委員会					
委嘱状交付式並びに第1回委員会	R1/7/24	甲府商工会議所	串田賢一		
URUSHINASHIKAブランドの推進					
第1回推進会議	H31/4/15	甲府印伝商工業協同組合	手塚 伸	阿部正人	串田賢一
第2回推進会議	R1/5/24	甲府技術支援センター	手塚 伸	内藤裕利	阿部正人
			金丸勝彦	串田賢一	
第3回推進会議	R1/5/27	かいてらす	阿部正人	串田賢一	
第4回推進会議	R1/9/6	甲府印伝商工業協同組合	手塚 伸	串田賢一	
第5回推進会議	R1/11/8	"	手塚 伸	串田賢一	
第6回推進会議	R1/12/24	甲府技術支援センター	手塚 伸	金丸勝彦	串田賢一
第7回推進会議	R2/1/17	"	手塚 伸	金丸勝彦	串田賢一
第8回推進会議	R2/3/4	スターバックスコーヒージャパン(株)	手塚 伸	串田賢一	
第9回推進会議	R2/3/10	甲府印伝商工業協同組合	手塚 伸	串田賢一	
ニホンジカ有効活用キャラバン					
富士河口湖町編	R1/12/5	精進活性化センター	串田賢一		
北杜市明野編	R1/12/16	北杜市明野総合支所	串田賢一		
早川町編	R2/1/28	早川町民会館	串田賢一		
やまなしジビエ&URUSHINASHIKA探訪ツアー					
2019年度JKA補助金事業事務手続き説明会	H31/4/11	TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター	宮川理恵		
第10回関東甲信越高校生溶接コンクール	H31/4/27	神鋼溶接センター	宮川和幸	深澤郷平	
平成31年度医療機器等開発テーマ説明会	R1/5/21	山梨大学	高尾清利		
山梨科学アカデミー交流大会	R1/5/27	山梨大学	萩原 茂		
大阪府立環境農林水産総合研究所の視察	R1/6/25	大阪府立環境農林水産総合研究所	恩田 匠		
やまなし水素エネルギー社会実証ミーティング	R1/7/12	県立図書館	阿部正人	高尾清利	
Interior Lifestyle TOKYO 2019	R1/7/18	東京国際展示場	串田賢一		
JASIS 2019	R1/9/4	幕張メッセ	三神武文		
やまなしサポーターズ倶楽部交流会	R1/9/5	日本橋プラザビル	恩田 匠		



会議名	期日	会場	出席者		
第36回シクロデキストリンシンポジウム	R1/9/12~13	神戸学院大学	芦澤里樹		
製造業経営革新ネットワーク会議	R1/9/17	防災新館	内藤裕利	萩原 茂	吉村千秋
			高尾清利		
日本電子SEMユーザーズミーティングおよび日本電子EPMA・表面分析ユーザーズミーティング	R1/10/1~2	浅草橋ヒューリックホール	石田正文		
森林環境部プラ代替品開発補助金審査会	R1/10/7	防災新館	高尾清利		
日本ワインの製造に関する技術情報交換会	R1/10/18	国税庁中央合同庁舎	恩田 匠		
全国酒造技術指導機関合同会議	R1/10/18	国税庁中央合同庁舎	恩田 匠		
令和元年東京国税局酒類鑑評会 製造技術研究会	R1/10/29	東京国税局	長沼孝多	橋本卓也	
第6回知的財産に係る分科会	R1/11/7~8	三重県工業研究所	望月威夫		
富士山麓産学官金連携フォーラム2019	R1/11/14	プラザヴェルデ	手塚 伸	阿部正人	山田博之
			勝又信行		
IoT見学会	R1/11/20	パシフィコ横浜	高尾清利		
IoT講演会	R1/11/25	防災新館	内藤裕利	阿部正人	
「第7期オープン・イノベーション推進者交流会」プレセミナー	R1/11/28	厚生会館	手塚 伸	吉村千秋	山田博之
オープンイノベーション推進セミナーに関する打合せ	R1/11/28	関東経済産業局	手塚 伸	吉村千秋	山田博之
第2回メディカル・デバイス・コリドー計画検討会議	R1/11/29	ホテル談露館	手塚 伸		
2019winterオープンイノベーション推進者交流会	R1/12/6	東京中小企業投資育成(株)	山田博之		
地域新成長産業創出促進事業費補助金(地域イノベーション基盤整備事業費)に係る説明会	R2/1/16	関東経済産業局	山田博之		
理研シンポジウム「重イオンビーム育種技術の実用化20年」	R2/1/23~24	国立研究開発法人 理化学研究所和光事務所	長沼孝多		
市川三郷町生涯学習センター竣工式	R2/1/24	市川三郷町生涯学習センター	金丸勝彦		
「(一社) 大学アライアンスやまなし」設立記念式典及び祝賀会	R2/1/27	ベルクラシック甲府	手塚 伸		
第3回メディカル・デバイス・コリドー計画検討会議	R2/2/6	ホテル談露館	手塚 伸		
第6回デジタルヒューマン技術協議会・総会	R2/2/18	産業技術総合研究所 臨海副都心センター	鈴木文晃		

# 報道関係

## 1. テレビ等

	題目	名称等	年月日
1	「オレンジワイン」初の評価会	NHK 甲府放送局	R1/5/28
2	色・味・香り？オレンジワイン	NHK 甲府放送局	R1/5/28
3	オレンジワイン県内で初の評価会	UTY 甲府放送局	R1/5/28
4	オレンジワインの官能評価	YBS 甲府放送局	R1/5/28
5	第27回甲州市ワイン品質審査会 白ワインの部	YBS 甲府放送局	R1/6/12
6	オレンジワイン	UTY 甲府放送局	R1/10/14
7	ワイン県の新たな扉開く	UTY 甲府放送局	R1/10/18
8	ハタオリマチのChristmas 番組名「terminal」	FM FUJI ラジオ	R1/12/19
9	前進！やまなし 山梨デザイン×地場産業＝新商品	UTY 甲府放送局	R2/2/21
10	シケンジョと産地の歴史	エフエムふじごころラジオ	R2/3/21

## 2. 新聞・情報誌等

	題目	名称等	年月日
1	高品質な出来栄え 59社の県産ワイン審査	山梨日日新聞	H31/4/17
2	94点丹念に審査 県ワイン鑑評会	朝日新聞	H31/4/17
3	捕獲シカの角 装飾品に	山梨日日新聞	H31/4/20
4	18年度研究成果 12テーマを発表	山梨日日新聞	H31/4/26
5	ワインの澱 紫染料に 郡内織物と連携 商品化目指す 県産業技術センターが研究	山梨日日新聞	R1/5/19
6	シカの角で指輪やピアス 食害対策と一石二鳥	毎日新聞	R1/5/29
7	ワインにオレンジ新風 甲州で品評会	読売新聞	R1/5/29
8	オレンジワイン鮮やか 初の品評会 甲州種に新たな味わい	山梨日日新聞	R1/5/29
9	シカの角で、指輪やピアス 山梨・地場産業の技術活用	産経フォト	R1/5/30
10	甲州市産白ワイン 85点が審査に合格	山梨日日新聞	R1/6/13
11	捕獲シカ食肉活用 4.5% 「純白」なめし革 印伝にも	読売新聞	R1/6/19
12	ワイン製造副産物を活用 山梨県が染色技術確立	日本農業新聞	R1/7/3
13	欧州素材見本市 20～21年秋冬 注目された日本の生地	織研新聞	R1/7/23
14	科学の面白さに触れる 「声が変わった！」親子で体験	読売新聞	R1/8/7
15	食品製造業者対象に商品化の基準を解説	山梨日日新聞	R1/8/8
16	食品会社へPR法伝授	読売新聞	R1/8/10
17	片山さつき地方創生相が来県 ワイン醸造施設視察	山梨日日新聞	R1/8/21
18	地方創生相ワイン施設視察	読売新聞	R1/8/21
19	和菓子講習会	山梨日日新聞	R1/8/29
20	新酒ワイン品質審査 20点合格し市推奨に	山梨日日新聞	R1/9/27
21	榎田商店が新製品 傘地バッグに写真表現 技術生かし生地を応用	山梨日日新聞	R1/10/9
22	勝機をつかめ日本のワイン	農業共済新聞	R1/10/3
23	長雨乗り越えた秋の恵み	山梨日日新聞	R1/10/30
24	縄文の文様 スカーフに	山梨日日新聞	R1/11/20
25	酒造りの技術 講話会で学ぶ	山梨日日新聞	R1/11/24
26	縄文土器の文様、商品化ご自由に	日経産業新聞	R1/12/19
27	発泡日本酒に認定制度	山梨日日新聞	R1/12/21
28	燃料電池 甲府で研究開発 県 技術組合と協定	山梨日日新聞	R1/12/24
29	「紅白でオモテナシ」	山梨日日新聞	R2/1/1
30	副産物 残さず活用	読売新聞	R2/1/8
31	特許技術で立体的に やまなし縄文シルクスカーフ	山梨新報	R2/2/21
32	知名度なくした OEM産地がインナーブランディングで復活するまで	日経クロストrend	R2/2/26
33	山梨県原産地呼称日本酒認証官能審査会	山梨日日新聞	R2/3/14
34	「県産日本酒」10銘柄お披露目	山梨日日新聞	R2/3/20
35	郡内地域 知名度をなくした OEM産地が復活	日経デザイン	R2/3/24

# 職員の資質向上

## 1. 派遣研修

所属・職・氏名	研修テーマ	研修先	期間
国立試験研究機関等			
機械技術部 研究員 鈴木大介	ダイカスト成形条件が機械的特性及び耐食特性に与える影響の調査	茨城県産業技術イノベーションセンター	R1/12/9～12/20, R2/1/14～1/24, 2/10～2/19, 2/25～2/28
山梨大学との共同研究			
繊維技術部 製品開発科 主任研究員 上垣良信	繊維および和紙の高付加価値化のための表面処理技術研究	山梨大学	R1/10/1～R2/3/31
知的財産権研修			
企画連携推進部 企画・情報科 主任研究員 宮川理恵	知的財産権研修（初級）	TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター	R1/10/28～10/31
中小企業支援担当者等研修			
ワイン技術部 主任研究員 小松正和	地域活性化のための地域分析手法と戦略	(独) 中小企業基盤整備機構 経営基盤支援部 中小企業大学校東京校	R1/6/10～6/14
食品酒類・研磨宝飾技術部 研磨・宝飾科 研究員 林 善永	新商品開発支援の進め方 (1)	(独) 中小企業基盤整備機構 経営基盤支援部 中小企業大学校東京校	R1/8/6～8/9
電子・システム技術部 電子応用科 研究員 中村 卓	公設試験研究機関研究職員研修	(独) 中小企業基盤整備機構 経営基盤支援部 中小企業大学校東京校	R1/10/8～10/11
機械電子技術部 機械電子科 主任研究員 勝又信行	製造業の新市場への参入支援	(独) 中小企業基盤整備機構 経営基盤支援部 中小企業大学校東京校	R1/12/4～12/6
基礎技術研修			
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 主任研究員 尾形美貴	令和元年度（第26回）清酒官能評価セミナー	(独) 酒類総合研究所	R1/9/10～9/13
電子・システム技術部 システム開発科 研究員 永田靖貴	実践的PLC制御技術 PLC制御応用技術	ポリテクセンター山梨	R1/6/13～6/14, 6/24～6/25
機械電子技術部 素材科 研究員 望月陽介	形状偏差の測定技術	ミットヨ計測学院	R1/7/24～7/25
材料・燃料電池部 工業材料科 研究員 深澤郷平	能力開発セミナー 「ダイカストにおける鋳造欠陥改善法」	高度ポリテクセンター	R1/8/28～8/30
機械技術部 主任研究員 米山 陽	マシニング加工・CAM加工 業務改善のツボとコツ	(株) 日刊工業新聞社 東京本社	R2/2/3
山梨大学大学院工学研究科博士後期課程研修			
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 主任研究員 長沼孝多	—	—	H31/4/1～R2/3/31
電子・システム技術部 システム開発科 研究員 中込広幸	—	—	H31/4/1～R2/3/31

## 2. その他研修

所属・職・氏名	研修テーマ	研修先	期間
繊維技術部 製品開発科 技師 宮澤航平	新任職員研修	自治会館他	H31/4/5, 4/10, 4/15, 4/18, 4/22, R1/5/20~5/21, 6/12~6/14, 7/22, 8/2, 9/12, 9/27, 10/25, 12/17
材料・燃料電池技術部 化学・燃料電池科 研究員 塩澤佑一朗	第38回分析化学基礎セミナー (無機分析編)	(株) 島津製作所 東京支社	R1/6/24~6/25
富士技術支援センター 副センター長 佐野照雄 総務課 主任 植村幸弘	会計事務研修会	南都留合同庁舎	R1/6/28
企画・情報科 主任研究員 木村英生	知的財産権制度説明会	アイメッセ山梨	R1/7/23
繊維技術部 製品開発科 技師 宮澤航平	Xeフラッシュアナライザーによる熱拡散率の測定手法と情報収集	東京都産業技術研究センター	R1/7/24, 9/25
材料・燃料電池部 工業材料科 研究員 深澤郷平	塑性加工技術セミナー 「伸線(引抜き)加工の基礎技術」	関西大学100周年記念会館	R1/9/3~9/4
産業技術センター職員	IoTリテラシー向上 「SAITECにおける中小企業のIoT/AI導入支援の取り組み」	産業技術センター	R1/10/28
機械技術部 研究員 寺澤章裕	「AM技術・ネットワーキング」セミナー	経済産業省	R1/10/29
材料・燃料電池技術部 工業材料科 主任研究員 阿部 治	リガク X線回折スクール・粉末 X線回折定期講習会 (一般クラス)	(株) リガク東京工場	R1/10/29~10/30
企画連携推進部 企画・情報科 主幹研究員 山田博之 研究員 佐藤貴裕 食品酒類・研磨宝飾技術部 研磨宝飾科 主任研究員 宮川和博 食品酒類・バイオ科 研究員 小嶋匡人 材料・電池燃料技術部 工業材料科 主任研究員 阿部 治 デザイン技術部 部長 金丸勝彦 研究員 佐藤博紀 ワイン技術部 部長 恩田 匠 機械技術部 主任研究員 米山 陽 機械電子技術部 機械電子科 主任研究員 勝又信行 素材科 主任研究員 石黒輝雄	IoT道場 (基礎編)	産業技術総合研究所臨海副都心センター	R1/10/31
デザイン技術部 研究員 佐藤博紀	IoT道場 (応用編)	産業技術総合研究所臨海副都心センター	R1/10/31~11/1
研究管理幹・機械技術部 部長 吉村千秋	IoT講演会	防災新館	R1/11/25
材料・燃料電池技術部 工業材料科 研究員 石田正文 深澤郷平	技術者育成セミナー「水素専門コース」	九州大学伊都キャンパス	R1/11/27~11/28

所属・職・氏名	研修テーマ	研修先	期間
産業技術センター職員	IoTリテラシー向上 「東京都が推進する中小企業のIoT化 支援事業と支援事例の紹介」	産業技術センター	R1/11/28
材料・燃料電池技術部 化学・燃料電池科 研究員 芦澤里樹	CNF技術を活用した素材開発	産業技術総合研究所中国センター	R1/12/2～12/6, R2/1/20～1/24
繊維技術部 製品開発科 主任研究員 上垣良信	ボイラー実技講習会	日本ボイラ協会 東京支部	R1/12/3～12/5
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 主任研究員 長沼孝多	日本酒等品質強化支援事業に係る研修	山梨銘醸（株）	R1/12/11～12/18

## 学会・協会等からの表彰

テーマ名	学会・協会等名	受賞名	受賞者名	受賞日
マスト発酵中のカルボニル化合物について	日本醸造協会	技術賞	渡辺正平 乙黒親男 加々美久	S56/9/10
酸素吸収剤による食品の鮮度保持技術とその評価	日本包装技術協会	優秀包装文献賞	小宮山美弘	S60/6/14
スモモ果実の品質保持及び利用に関する生化学的研究	日本食品工業学会	研究奨励賞	小宮山美弘	S61/4/18
スモモ果実の成熟、貯蔵、利用における成分特性とその挙動に関する研究	日本果汁協会	技術賞	小宮山美弘	S63/6/10
建築鉄骨用多層溶接ロボットの開発（名称：勘助）	(社)溶接協会	溶接技術奨励賞	古屋重彦 中山信一 清水誠司 斎藤 修	H1/4/24
建築鉄骨用多層溶接ロボットの開発（名称：勘助）	平成6年度関東地方発明表彰	関東通商産業局長賞	古屋重彦 中山信一 清水誠司 斎藤 修	H6/10/20
ツーピース	第32回全国繊維技術展	通商産業省生活産業局長賞	ニット・縫製科	H6/10/30
ニットスーツ	第32回全国繊維技術展	技術振興賞	ニット・縫製科	H6/10/30
形状モデリングシステム	ニコグラフ展	プロセス賞	清水誠司 河西伸一 平川寛之 萩原 茂 阿部正人 井上陽介	H6/11/15
小ウメ果実の塩蔵中における硬度保持機構に関する研究	日本食品保蔵科学会	学会賞	乙黒親男	H7/6/3
梅漬けの硬度保持機構とその製造技術の開発	(財)山梨科学アカデミー	奨励賞	乙黒親男	H8/6/5
婦人ニットキュロットスーツ	第34回全国繊維技術展	工業技術院賞	ニット・縫製科	H8/6/19
表面処理金型鋼の残留応力に及ぼす熱サイクルの影響	日本ダイカスト協会	小野田賞	日原政彦 八代浩二 佐野正明 増沢隆久	H9/5/22
スモモ果実の高温下での品質保持に関する研究	日本食品保蔵科学会	奨励賞	辻 政雄	H9/5/24
ワッシャー加工婦人アンサンブル	第36回全国繊維技術展	工業技術院物質工学工業研究所賞	ニット・縫製科	H10/10/26

テーマ名	学会・協会等名	受賞名	受賞者名	受賞日
セラミックスと活性金属ろうとの 接合界面挙動解析	(財)山梨科学アカデミー	奨励賞	斎藤 修	H11/11/29
Influence of re-nitriding for thermal fatigue properties on nitrided hot work die steel	2001 DENVER X-RAY CONFERENCE XRD Poster Award	Poster Award	八代浩二 佐野正明 日原政彦 倉元眞實	H13/8/1
ICP-MS、CVおよびEQCM法を用いた 極微量アトム触媒の析出状態	(社)表面技術協会	平成14年度表面技術協会進歩 賞	有泉直子	H14/2/27
高速ツーリング焼きバメ用誘導加熱装置 (MEGA HEATER)	(財)あさひ中小企業財団・ (株)日刊工業新聞社	第14回中小企業新技術・新製 品賞	橋田鉄雄	H14/6/10
食品の品質管理への近赤外分光分 析法の応用に関する研究	日本食品保蔵科学会	奨励賞	恩田 匠	H14/6/28
耐食性貴金属素材及びその製造方 法とその貴金属製品	全国中小企業団体中央会	奨励賞	中山信一 佐野照雄 宮川和博	H14/9/27
ラピッドプロトタイプングによる 義肢ソケットの直接造形	第4回日本福祉工学会	論文賞	萩原 茂 河西伸一 石田正文 清水誠司 木島一広 大柴勝彦	H14/11/30
山梨県の新しいデザイン産業・ビ ジネスモデルづくり	(財)日本産業デザイン振興会	新領域部門グッドデザイン賞	工業技術センター	H15/10/30
レーザーソグラフィを用いた模型 の造形装置	(社)発明協会	平成15年度関東地方発明表彰 山梨県知事賞	萩原 茂	H15/11/5
安全かつ高品質味噌醸造のための 微生物学的解析とバクテリオンシ ン産生乳酸菌に関する研究	(財)山梨科学アカデミー	奨励賞	恩田 匠	H18/5/29
フォトリソグラフィとアノード酸 化を利用したAl薄膜の表面加工	(社)表面技術協会	平成20年度表面技術協会進歩 賞	勝又信行	H20/2/27
甲州種ワインの高品質化に関する 研究	全国食品関係試験研究所長会	平成19年度優良研究・指導業 績表彰	原川 守	H20/3/6
宝石の精密加工方法の考案	文部科学省	平成21年度科学技術分野の文 部科学大臣表彰創意工夫功勞 者賞	坂本正純	H21/5/27
3次元アルミニウムマスクを用い たシリコン基板の反応性イオン エッチング加工技術の開発	日本真空協会	第35回真空技術賞	勝又信行 石田正文	H22/11/5
ワイン醸造工程における炭酸ガス 使用手法の改善	文部科学省	平成24年度科学技術分野の文 部科学大臣表彰創意工夫功勞 者賞	中山忠博	H24/4/17
大型高強度溶接ペローズの開発等	(一社)溶接学会	平成23年度溶接技術普及賞	宮川和幸	H24/5/18

テーマ名	学会・協会等名	受賞名	受賞者名	受賞日
高品質な国産赤ワインの製造方法の開発	全国食品関係試験研究所長会	平成25年度優良研究・指導業績表彰	恩田 匠	H26/2/28
山梨県固有のデザインソースの編集とアーカイブ構築	日本デザイン学会	第62回春季研究発表大会グッドプレゼンテーション賞	佐藤博紀	H27/6/25
瓶内二次発酵法によるスパークリングワイン製造についての技術情報普及および基礎的研究	日本ブドウ・ワイン学会	日本ブドウワイン学会技術賞	恩田 匠	H28/11/26
金型鋼の耐熱疲労特性評価をはじめとしたX線応力測定技術の素形材産業への展開	日本材料学会	平成28年度日本材料学会X線材料強度部門委員会業績賞	八代浩二	H29/1/27
山梨県における県産小麦と県産パン酵母に関する研究開発とその普及	全国食品関係試験研究所長会	令和元年度優良研究・指導業績表彰	木村英生	R2/2/13



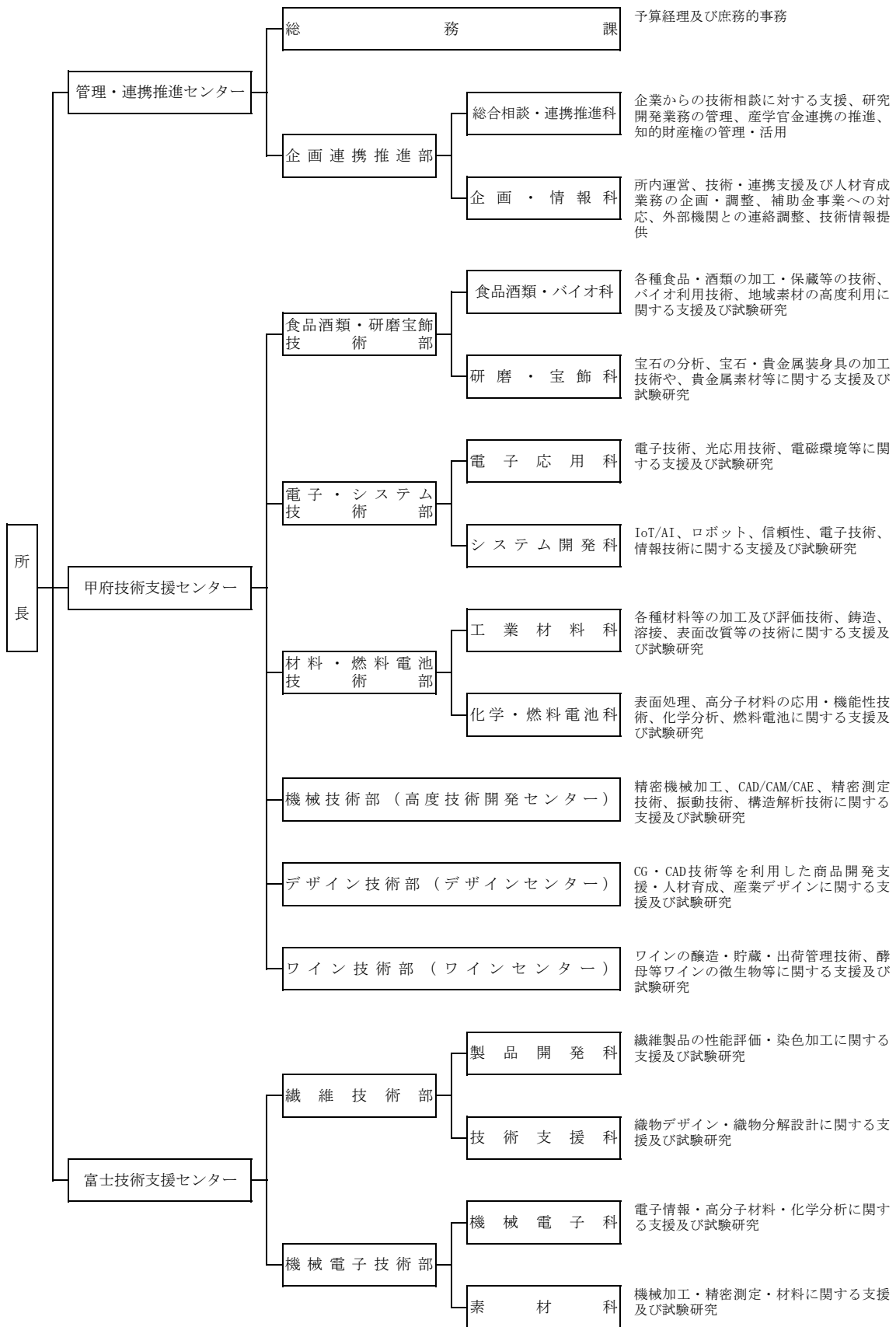
## 加入学会・協会等

学会名	所在地	電話番号
(一社)山梨県発明協会	甲府市大津町2192-8 アイメッセ3階	055-243-6145
(公社)日本食品科学工学会	つくば市観音台2-1-12 農研機構 食品研究部門内	029-838-7980
全国食品関係試験研究場所長会	つくば市観音台2-1-13 農研機構 食品研究部門内	029-838-8116
(公社)日本農芸化学会	東京都文京区弥生2丁目4番16号 学会センタービル2階	03-5803-9561
(公財)日本醸造協会	東京都北区滝野川2-6-30	03-3910-3853
(公社)砥粒加工学会	東京都新宿区百人町2-22-17 セラミックビル	03-3362-4195
宝石学会(日本)	東京都台東区上野 3-20-8 小島ビル	03-3834-7057
(一社)繊維学会	東京都品川区上大崎3-3-9-208	03-3441-5627
(一社)日本繊維製品消費科学会	大阪市北区天満橋2-2-7-403	06-6358-1441
(一社)日本繊維機械学会	大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センタービル内	06-6443-4691
(公社)日本木材加工技術協会	東京都文京区後楽1丁目7-12 林友ビル 2F	03-3816-8081
(一社)日本熱処理技術協会	東京都中央区日本橋茅場町3-2-10 鉄鋼会館6階	03-6661-7167
(一社)日本非破壊検査協会	東京都江東区亀戸2-25-14 立花アネックスビル10階	03-5609-4011
(一社)型技術協会	神奈川県横浜市中区太田町6-79 アブソルート横濱馬車道ビル201	045-224-6081
(一社)溶接学会	東京都千代田区神田佐久間町4丁目20番地 溶接会館6F	03-5825-4073
(公社)日本鑄造工学会	東京都港区芝浦4-15-33 芝浦清水ビル2F	03-6809-2303
(公社)日本金属学会	仙台市青葉区1番町1丁目14番32号	022-223-3685
(一社)表面技術協会	東京都千代田区神田岩本町4-9 サンディスク神田ビル2F	03-3252-3286
(公社)高分子学会	東京都中央区入船3-10-9 新富町ビル6F	03-5540-3770
(公社)日本分析化学会	東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304	03-3490-3351
(公社)精密工学会	東京都千代田区九段北 1-5-9 九段誠和ビル2F	03-5226-5191
(一社)電気加工学会	東京都新宿区大久保2丁目4番地12号 新宿ラムダックスビル	03-5291-6231
(一社)日本機械学会	東京都新宿区信濃町35番地 信濃町煉瓦館5階	03-5360-3500
日本工芸技術協会	東京都渋谷区千駄ヶ谷5-2-3エルビラ402 (財)工芸財団内	03-3356-4966
ASEV 日本ブドウ・ワイン学会(アメリカ・日本)	甲府市北新1丁目13-1 山梨大学ワイン科学研究センター内	055-220-8658
(公社)日本ジュエリーデザイナー協会	東京都中央区八丁堀4-11-7 アライビル8F	03-3523-7344
(一社)日本デザイン学会	東京都杉並区西荻北3-21-15 ベルフォート西荻703	03-3301-9318
NPO法人ヒューマンインターフェイス学会	京都府京都市下京区中堂寺粟田町93番地 京都リサーチパーク6号館3階	075-315-8475
(一社)日本人間工学会	東京都港区赤坂2-10-16 赤坂スクエアビル2F	03-3587-0278
(一社)日本色彩学会	東京都杉並区阿佐谷南1-16-9 平野ビル3階	03-5913-7079
(公社)日本インダストリアルデザイナー協会	東京都港区六本木5-17-1 AXISビル4F	03-3587-6391
(公社)日本クラフトデザイン協会	東京都渋谷区千駄ヶ谷4-5-15 ストックメイジユ408	03-6455-5533
日本感性工学会	東京都中央区日本橋浜町2-55-5 グランドハイツ1003	03-3666-8000
(公財)日本デザイン振興会	東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー5F	03-6743-3772
(一社)KEC関西電子工業振興センター	京都府相楽郡精華町光台3-2-2	0774-93-4563
(公社)日本化学会	東京都千代田区神田駿河台1-5	03-3292-6161
(一社)プラスチック成形加工学会	東京都品川区大崎5-8-5 グリーンプラザ五反田第2 205号室	03-5436-3822
(一社)情報処理学会	東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F	03-3518-8370
(公社)応用物理学会	東京都文京区根津1-21-5応物会館2F	03-3828-7722
(一社)電気学会	東京都千代田区五番町6-2 HOMAT HORIZONビル8階	03-3221-7312
(一社)レーザ加工学会	大阪府茨木市美穂ヶ丘11-1 大阪大学 接合科学研究所	06-6879-8642
(一社)芸術科学会	東京都文京区大塚2-1-1 お茶の水女子大学 理学部情報科学科	-

(令和2年3月31日現在)

付-1 組織と業務

(令和2年4月1日現在)



付-2 職員名簿

(令和2年4月1日現在)

所 長	初鹿野 晋一	[研磨・宝飾科]	デザイン技術部	
管理・連携推進センター		主任研究員 宮川 和博	部 長	金丸勝彦
センター長(兼2)	雨宮俊彦	主任研究員 小松利安		
特別研究員	萩原 茂	研究員 林 善永	主任研究員	串田賢一
研究管理幹	吉村千秋	会計年度任用職員 山本季彦	研究員	秋本梨恵
研究管理幹(兼1)	河西伸一	会計年度任用職員 鶴田裕太	研究員	佐藤博紀
			会計年度任用職員	数野真裕美
			会計年度任用職員	岡 治美
総務課		電子・システム技術部	ワイン技術部	
課長(事務取扱)	雨宮俊彦	部 長 河野 裕	主幹研究員・部長	恩田 匠
主 幹(兼1)	武藤 完	[電子応用科]		
副 主 査	阿部 純	主任研究員 平川寛之	主任研究員	小松正和
専 門 員	若林貴義	主任研究員 清水章良	研究員	佐藤憲亮
主 任	志村和哉	研究員 中村 卓	会計年度任用職員	三科浩仁
会計年度任用職員	小俣紀子	会計年度任用職員 和光順子	会計年度任用職員	窪田 守
会計年度任用職員	井上清美			
会計年度任用職員	中込真美	[システム開発科]	富士技術支援センター	
		主任研究員 宮本博永	センター長	柏木隆伸
企画連携推進部		主任研究員 布施嘉裕	副センター長	佐野照雄
部長(事務取扱)	吉村千秋	研究員 永田靖貴		
		研究員 中込広幸		
[総合相談・連携推進科]			繊維技術部	
主任研究員	望月威夫	材料・燃料電池技術部	主幹研究員・部長	渡辺 誠
主任研究員(兼2)	木村英生	主幹研究員・部長 八代浩二		
研究員(兼2)	佐藤貴裕	[工業材料科]	[製品開発科]	
		主幹研究員 佐野正明	主幹研究員	中村聖名
[企画・情報科]		主任研究員 阿部 治	主任研究員	上垣良信
主幹研究員	山田博之	研究員 石田正文	技 師	宮澤航平
主任研究員	木村英生	研究員 深澤郷平	主任研究員(兼2)	木村英生
主任研究員	宮川理恵		専門員(兼2)	若林貴義
研究員	佐藤貴裕	[化学・燃料電池科]	会計年度任用職員	渡邊直子
会計年度任用職員	望月美菜	主任研究員 三井由香里	会計年度任用職員(兼2)	小俣紀子
		主任研究員 三神武文	[技術支援科]	
甲府技術支援センター		研究員 芦澤里樹	主幹研究員	五十嵐 哲也
センター長	雨宮俊彦	研究員 塩澤佑一朗	主任研究員	鈴木文晃
副センター長	阿部正人		研究員(兼2)	秋本梨恵
			会計年度任用職員	勝俣久美
			会計年度任用職員	高山美和
食品酒類・研磨宝飾技術部		機械技術部	機械電子技術部	
主幹研究員・部長	有泉直子	主幹研究員・部長 高尾清利	主幹研究員・部長	宮川和幸
[食品酒類・バイオ科]		主任研究員 萩原義人		
主任研究員	長沼孝多	主任研究員 西村通喜	[機械電子科]	
主任研究員	尾形美貴	主任研究員 早川 亮	主任研究員	勝又信行
主任研究員	橋本卓也	主任研究員 米山 陽	研究員	尾形正岐
研究員	小嶋匡人	主任研究員 鈴木大介	研究員	古屋雅章
研究員	樋口かよ	研究員 坂本智明		
		会計年度任用職員 神澤隆彦	[素材料]	
			主任研究員	石黒輝雄
			研究員	寺澤章裕
			研究員	望月陽介

(兼1)：総合理工学研究機構と兼務

(兼2)：所内担当兼務（事務取扱を含む）

付-3 職員配置

(令和2年4月1日現在)

	行政職							研究職							会計年度任用職員	合計		
	所長	センター長	課長	主任	副主任	専門員	主任	副センター長	特別研究員	研究管理幹	主幹研究員・部長	部長	主幹研究員	主任研究員			研究員	技師
所長	1																1	
管理・連携推進センター		(1) <sup>2</sup>							1	1(1) <sup>1</sup>							2 (2)	
総務課			(1) <sup>2</sup>	(1) <sup>1</sup>	1	1	1										3 6 (2)	
企画連携推進部											(1) <sup>2</sup>						0 (1)	
総合相談・連携推進科													1(1) <sup>2</sup>	(1) <sup>2</sup>			1 (2)	
企画・情報科												1	2	1		1	5	
甲府技術支援センター		1						1									2	
食品酒類・研磨宝飾技術部										1							1	
食品酒類・バイオ科													3	2			5	
研磨・宝飾科													2	1		2	5	
電子・システム技術部											1						1	
電子応用科													2	1		1	4	
システム開発科													2	2			4	
材料・燃料電池技術部										1							1	
工業材料科												1	1	2			4	
化学・燃料電池科													2	2			4	
機械技術部										1			5	1		1	8	
デザイン技術部											1		1	2		2	6	
ワイン技術部										1			1	1		2	5	
富士技術支援センター		1						1									2	
繊維技術部										1							1	
製品開発科						(1) <sup>2</sup>						1	1(1) <sup>2</sup>		1	1(1) <sup>2</sup>	4 (3)	
技術支援科												1	1	(1) <sup>2</sup>		2	4 (1)	
機械電子技術部										1							1	
機械電子科													1	2			3	
素材科													1	2			3	
合計	1	2 (1) <sup>2</sup>	(1) <sup>2</sup>	(1) <sup>1</sup>	1	1 (1) <sup>2</sup>	1	2	1	1 (1) <sup>1</sup>	6	2 (1) <sup>2</sup>	4	26 (2) <sup>2</sup>	19 (2) <sup>2</sup>	1	15 (1) <sup>2</sup>	83 (11)

(括弧)<sup>1</sup>: 総合理工学研究機構と兼職

(括弧)<sup>2</sup>: 所内兼務 (事務取扱を含む)

## 付-4 令和2年度予算

(令和2年4月1日現在)

区分	予算額 (単位:千円)	備考
<b>技術支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機器整備 ((公財)JKAによる補助事業)</li> <li>・保有機器の保守・校正・修繕</li> <li>・やまなし地場産品ブランド化支援事業</li> </ul>	90,185	
<b>研究開発</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経常研究</li> <li>・重点化研究</li> <li>・総理研研究</li> <li>・成長戦略研究</li> <li>・競争的資金研究</li> <li>・受託研究</li> <li>・客員研究員事業費</li> <li>・技術情報取得</li> </ul>	71,838	
<b>人材育成</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ものづくり人材育成研修</li> <li>・やまなしモノづくりデザイン塾</li> <li>・講習会</li> <li>・親子ものづくり体験</li> </ul>	4,733	
<b>情報提供</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究報告、研究成果速報、年報、業務報告、センターニュース、デザイン情報誌の発行</li> </ul>	1,298	
<b>技術移転・事業化支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フォローアップ、企業ニーズ対応試作開発</li> </ul>	2,038	
<b>職員職務発明特許出願費</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特許等出願費、維持管理費</li> </ul>	1,155	
<b>地方創生推進交付金事業</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・IoT製品関連分野進出支援事業費</li> <li>・日本酒等品質強化支援事業</li> <li>・オープンイノベーション推進事業</li> </ul>	58,204	事業期間R1～R3 (IoT、日本酒) 事業期間R2～R4 (オープンイノベーション)
<b>高度技術開発棟移設事業費</b>	182,708	事業期間R2～R4
<b>その他 管理費 (臨時職員等人件費、庁舎管理費 など)</b>	236,901	
<b>計</b>	649,060	

※正規職員人件費を除く



# 2020

---

## 令和元年度年報

発行日 令和2年6月30日

発行 山梨県産業技術センター

〒400-0055  
山梨県甲府市大津町2094  
Tel 055-243-6111  
Fax 055-243-6110

印刷 (株)少國民社

〒400-0851  
山梨県甲府市住吉1-13-1  
Tel 055-226-2125  
Fax 055-231-2100